

図 表

表 2-1 調査項目及び数量表.

表 2-2 探査仕様.

表 2-3 層序表.

表 2-4 福井平野東縁断層帯／主部（海域部）における年代測定結果.

表 3-1 (a) 福井平野東縁断層帯主部の特性.

表 3-1 (b) 福井平野東縁断層帯西部の特性.

図 1-1 地震調査研究推進本部による福井平野東縁断層帯（地震調査研究推進本部，2004）.

図 2-1 福井平野東縁断層帯の調査位置図.

図 2-2 福井平野東縁断層帯周辺の地質構造図

図 2-3 (a) 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録による層序区分（No. 66 測線（海上保安庁海洋情報部の記録））. 上段：反射断面，下段：解釈断面

図 2-3 (b) 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録による層序区分（続き）（No. 66 測線（海上保安庁海洋情報部の記録））. 上段：反射断面，下段：解釈断面

図 2-4 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録による層序区分（FKI 101 測線）.
上段：反射断面，下段：解釈断面

図 2-5 福井平野東縁断層帯（海域部）のマルチチャンネル音波探査記録（FKI 8M 測線）.
上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-6 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 1 測線）.
上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-7 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 2 測線）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-7 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 2 測線北東部）.
上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-7 (c) 福井平野東縁断層帯（西部）の高分解能音波探査記録（FKI 2 測線南西部）.
上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-8 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 3 測線）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-8 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 3 測線北東部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-8 (c) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 3 測線中央部）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-8 (d) 福井平野東縁断層帯（西部）の高分解能音波探査記録（FKI 3 測線南西部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-9 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 4 測線）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-9 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 4 測線北東部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-9 (c) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 4 測線中央部）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-9 (d) 福井平野東縁断層帯（西部）の高分解能音波探査記録（FKI 4 測線南西部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-10 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 5 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-10 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 5 測線北東部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-11 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 6 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-11 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 6 測線北東部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-12 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 7 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-12 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 7 測線北東部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-13 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 8 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-13 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 8 測線北東部）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-14 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 9 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-14 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 9 測線北東部）

（その 1）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-14 (c) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 9 測線北東部）

（その 2）. 上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-15 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 201 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-16 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 202 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面.

図 2-17 福井平野東縁断層帯（海域部）の断層位置図.

図 2-18 福井平野東縁断層帯（海域部）の断層分布図.

図 2-19 精密地形調査による海底地形図.

図 2-20 海底地形と断層の関係.

図 2-21 底質採取位置図.

図 2-22 底質採取コアの柱状図.

図 3-1 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録（海上保安庁海洋情報部の No. 11 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面

図 3-2 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録（海上保安庁海洋情報部の No. 25 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面

図 3-3 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録（海上保安庁海洋情報部の No. 12 測線）.

上段：反射断面，下段：解釈断面

表 2-1 調査項目及び数量表.

調査項目	測線数 (採泥地点数)	距離
マルチチャンネル 音波探査(エアガン)	1 測線	35km
高分解能マルチチャンネル 音波探査	12 測線	184km
精密地形調査	約 1.8 × 2.9km	4.5km ²
柱状採泥	7 地点	—

表 2-2 探査仕様.

	調査手法	高分解能マルチチャンネル 音波探査	マルチチャンネル 音波探査
送信部	音源	ブーマー(電磁誘導振動素子)	エアガン (圧縮空気放出式) (460cu-in)
	発振エネルギー	約 200 J	約 11 MPa
	発振周波数	500~5,000 Hz	~140 Hz (中心周波数: 60Hz)
	音源の深度	0.5 m	5 m
	船尾と音源の距離	25 m	40 m
	発振点間隔	2.5m	12.5 m
受信部	受信器	圧電型振動素子 (ストリーマー)	圧電型振動素子 (ストリーマー)
	チャンネル数	12 ch	48 ch
	チャンネル間隔	2.5 m	12.5 m
	受信器の深度	0.5 m	5 m
	船尾とニアチャンネルの距離	30 m	115m
収録部	探鉱機	24bit (GEODE)	24bit (GEODE)
	記録方式	SEG-Y	SEG-Y
	重合数	6	24
	サンプリング間隔	0.125 msec.	1.0 msec.
	記録長	0.42 sec (プレトリガー: 0.02sec)	4.0 sec.
測点間隔(CMP 間隔)		1.25 m	6.25 m
測位		DGPS	DGPS
船速		約 3 ノット	約 3 ノット

表 2-3 層序表.

時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	産業総合研究所 「ゲンタツ瀬」	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	鳥取沖層群 T2層	A層
	更新世	段丘堆積物	II		B1-1層
					B1-2層
			III		B1-3層
					T1層
新第三紀	鮮新世		IV	浜坂沖層群 H2層 H1層	C層 ^{*1}
	中新世		V	香住沖層群 K2層	D1 層
		VI	D2 層		
			山中層 糸生層	VII	K1層

*1: 本調査範囲では認められない。

表 2-4 福井平野東縁断層帯／主部（海域部）における年代測定結果.

試料名	深度(cm) (海底面下)	試料の種類	測定方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	^{14}C 年代* (yBP)	未補正 ^{14}C 年代 (yBP)
FI2a-3-103	103	植物片	AMS	-23.4	8,810±50	8,790±50
FI2a-3-108	108	植物片	AMS	-28.7	8,030±50	7,970±50
FI2a-3-122	122	植物片	AMS	-26.0	7,810±50	7,840±50
FI10-157	157	植物片	AMS	-25.3	9,030±50	9,030±50

* 補正した年代

表 3-1（a） 福井平野東縁断層帯主部の特性.

項目	従来評価		海域部の調査結果	
1. 断層帯の位置・形態				
(1)断層帯を構成する断層	加賀市沖の断層、剣ヶ岳(けんがだけ)断層、見当山(けんとうやま)断層、細呂木(ほそろぎ)断層、瓜生(うりゅう)断層、篠岡断層、松岡断層		加賀市沖の断層、前面の分岐断層	
(2)断層帯の位置・形状	地表における断層帯の位置・形状 断層帯の位置(両端の緯度・経度) (北端)北緯36° 26′ 東経136° 16′ (南端)北緯36° 01′ 東経136° 19′ 長さ 約45km		加賀市沖の断層 (北端)北緯36° 25′ 28.078″、東経136° 15′ 23.770″ *1 (南端)北緯36° 20′ 21.613″、東経136° 17′ 23.348″ *2 前面の分岐断層 (北西端)北緯36° 24′ 58.721″、東経136° 12′ 21.216″ *1 (分岐点)北緯36° 22′ 40.362″、東経136° 16′ 14.509″ *3 約11.4km(海域部のみ) 全体では約45km	
	地下における断層面の位置・形状 長さ及び上端の位置 地表での長さ・位置と同じ 上端の深さ 0 km 一般走向 N-S 傾斜 50° 東傾斜—ほぼ垂直(地表付近) 20° —40° 東傾斜(篠岡断層、地下150m以浅) 幅 15km程度		反射断面図で得られた長さ・位置と同じ 0km(後期更新世以降の堆積層が薄い) N15° W(加賀市沖の断層) N50° W(前面の分岐断層) ほぼ垂直 不明	
	(3)断層のずれの向きと種類		左横ずれ、かつ東側隆起の逆断層	
横ずれを伴う東側隆起の逆断層				
2. 断層の過去の活動				
(1)平均的なずれの速度	0.1-0.3m/千年程度 (上下成分) 左横ずれ成分については不明(活動度はB-C級)		0.04～0.08m/千年(A層基底1.8万年として) 横ずれについては不明	
(2)過去の活動時期	活動1(最新活動) 約3千4百年前以後、約2千9百年前以前 活動2(1つ前の活動) 約1万3千年前以後、9千7百年前以前		最終氷期以降に活動あり	
(3)1回のずれの量と平均活動間隔	1回のずれの量 3-4 m程度(左横ずれ成分および上下成分の総和) 1m程度(上下成分) 平均活動間隔 約6千3百-1万年		A層基底面に最大1.5mの見かけ垂直変位量 不明	
(4)過去の活動区間	断層帯全体で1区間		加賀市沖の断層はFKI5測線より南東側は最終氷期以降の活動が推定されるが、FKI6測線より北西側は最終氷期以降の活動は確認できない。前面の分岐断層はFKI7測線より南東側では最終氷期以降の活動が推定されるが、FKI8測線より北西側は最終氷期以降の活動は確認できない。そのため、沖側では断層活動は前面にシフトしている可能性が高い。	
3. 断層帯の将来の活動				
(1)将来の活動区間及び活動時の地震の規模	活動区間 地震の規模 ずれの量	断層帯全体で1区間 マグニチュード7. 6程度 3-4m程度(左横ずれ成分および上下成分の総和) 1m(上下成分)	断層帯全体で1区間 マグニチュード7. 6程度 不明	
備考				
*1: 断層が確認された測線の隣の測線の直近まで延長した位置を表す。 *2: 断層を海岸線まで延長した、断層の延長と海岸線の交点の位置を表す。 *3: FKI6測線で確認された断層を延長して「加賀市沖の断層」の直近まで延長した位置を表す。				

表 3-1（b） 福井平野東縁断層帯西部の特性.

項目	従来評価	海域部の調査結果
1. 断層帯の位置・形態		
(1) 断層帯を構成する断層	1948年福井地震断層、三国町沖の断層、青ノ木断層	三国町沖の断層
(2) 断層帯の位置・形状	地表における断層帯の位置・形状 断層帯の位置(両端の緯度・経度) (北西端)北緯36° 18′ 東経136° 08′ (南東端)北緯36° 01′ 東経136° 17′ 長さ 約33km	(北西端)北緯36° 18′ 24.791″、東経136° 08′ 17.406″ *1 (南東端)北緯36° 15′ 31.125″、東経136° 06′ 14.806″ *1 約5.5km(海域部のみ) 全体で約33km
	地下における断層面の位置・形状 長さ及び上端の位置 地表での長さ・位置と同じ 上端の深さ 0 km 一般走向 N20° W 傾斜 高角、東傾斜—ほぼ垂直 幅 15km程度	反射断面図で得られた長さ・位置と同じ 0km(後期更新世以降の堆積層が薄い) N20° W ほぼ垂直(海底付近) 不明
(3) 断層のずれの向きと種類	左横ずれ断層 (中部—北部では東側隆起成分、南部では西側隆起成分を伴う。)	横ずれで東側隆起の断層
2. 断層の過去の活動		
(1) 平均的なずれの速度	0.1-0.2m/千年程度 (上下成分) 左横ずれ成分については不明	不明
(2) 過去の活動時期	活動1(最新活動) 1948年(昭和23年)福井地震	最終氷期以降に活動あり
(3) 1回のずれの量と平均活動 間隔	1回のずれの量 最大2 m程度 (左横ずれ成分) 最大0. 9m程度 (東側隆起成分)	A層基底面に最大0.4mの見かけ垂直変位量
	平均活動間隔 不明	不明
(4) 過去の活動区間	断層帯全体で1区間	FKI3測線にA層基底の変位・変形が認められる。
3. 断層帯の将来の活動		
(1) 将来の活動区間及び活動 時の地震の規模	活動区間 断層帯全体で1区間 地震の規模 マグニチュード7. 1程度 (断層の長さから推定すると7. 4程度) ずれの量 2m程度 (左横ずれ成分) 0. 9m程度 (東側隆起成分)	断層帯全体で1区間 マグニチュード7.4程度(断層の長さから推定) 不明
備考		*1: 断層が確認された測線の隣の測線の直近まで延長した位置を表す。



1 : 中川地点 2 : 丸岡地点 3 : 吉野塚地点 4 : 田島川地点
 ● : 断層帯の両端 ○ : 1948年福井地震の地表地震断層
 基図は国土地理院発行数値地図200000「金沢」「岐阜」を使用。

図 1-1 地震調査研究推進本部による福井平野東縁断層帯（地震調査研究推進本部，2004）。

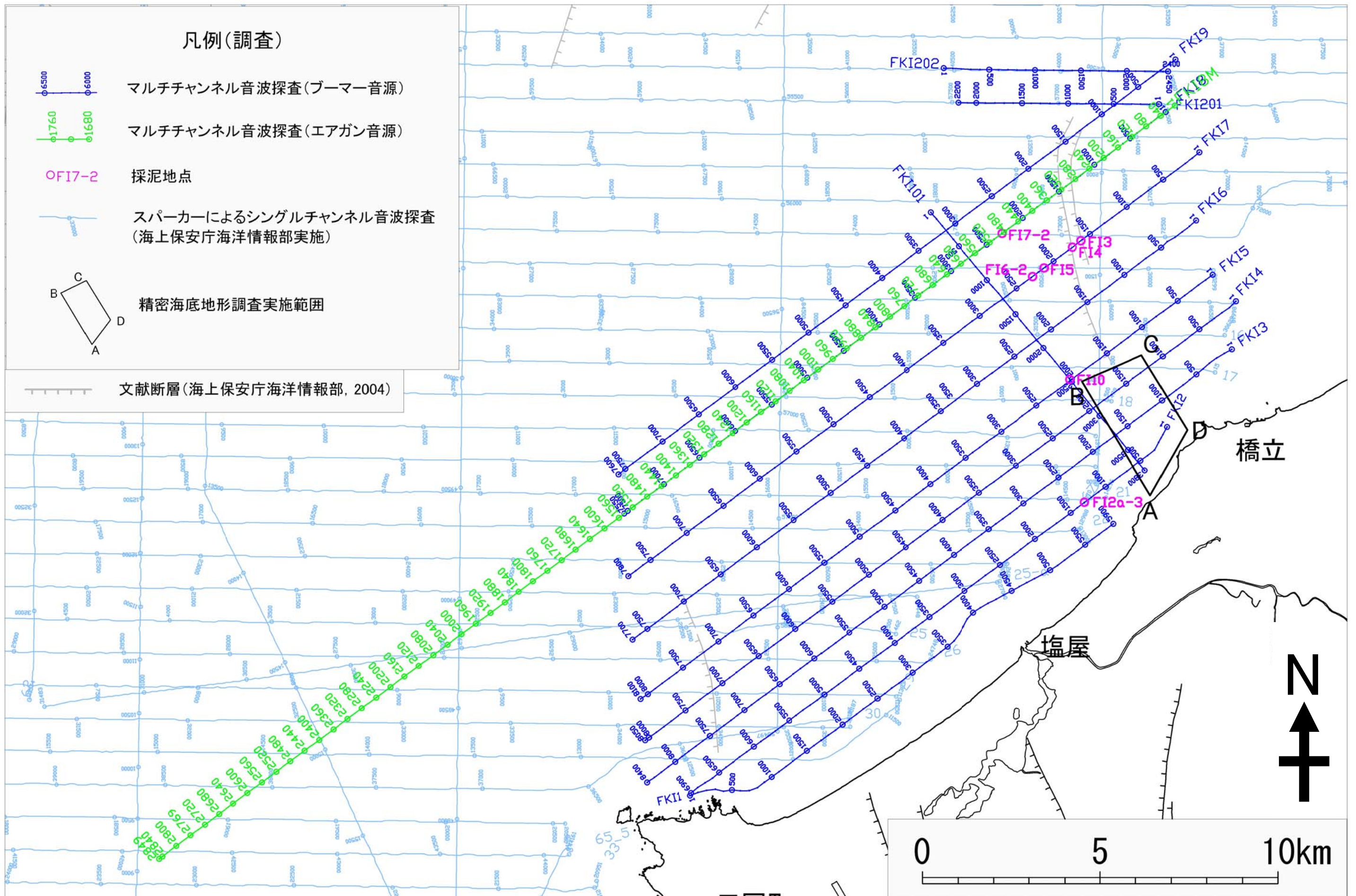


図 2-1 福井平野東縁断層帯の調査位置図.

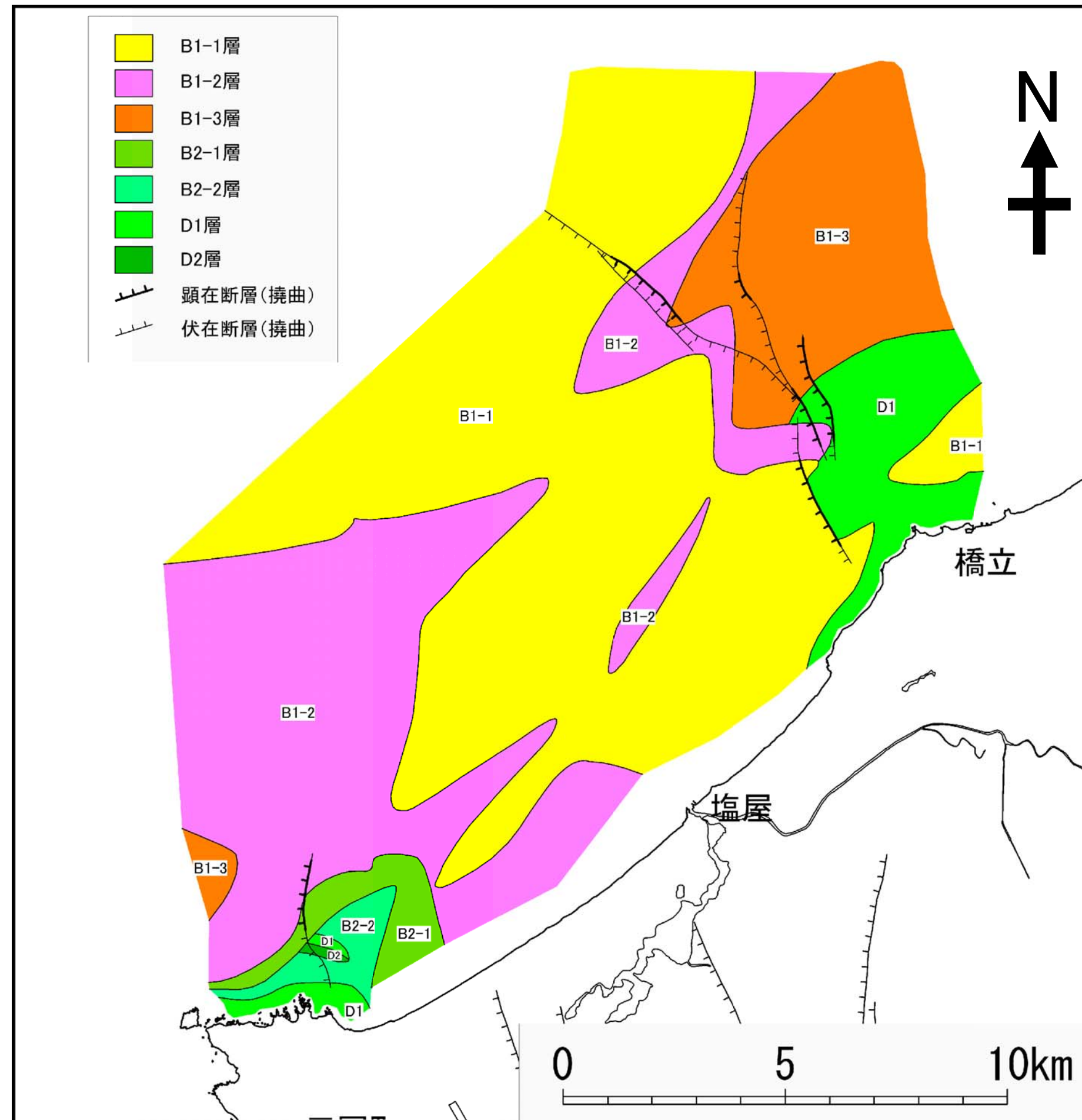
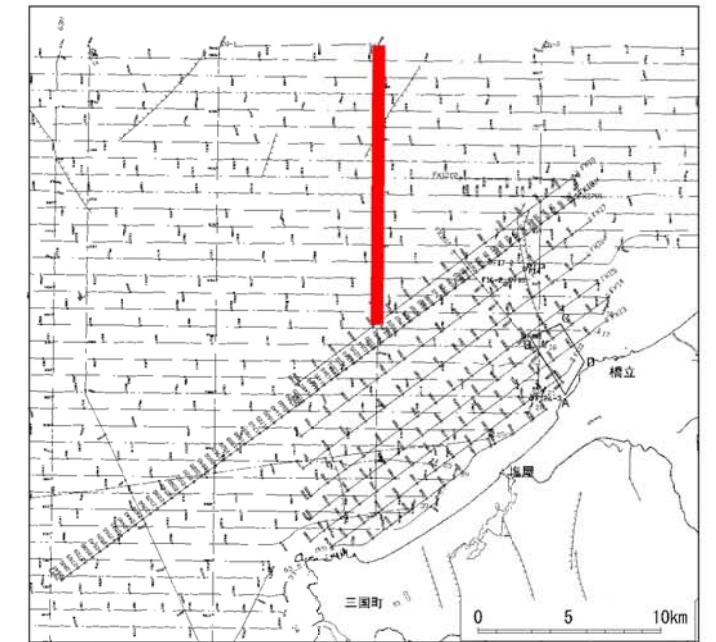
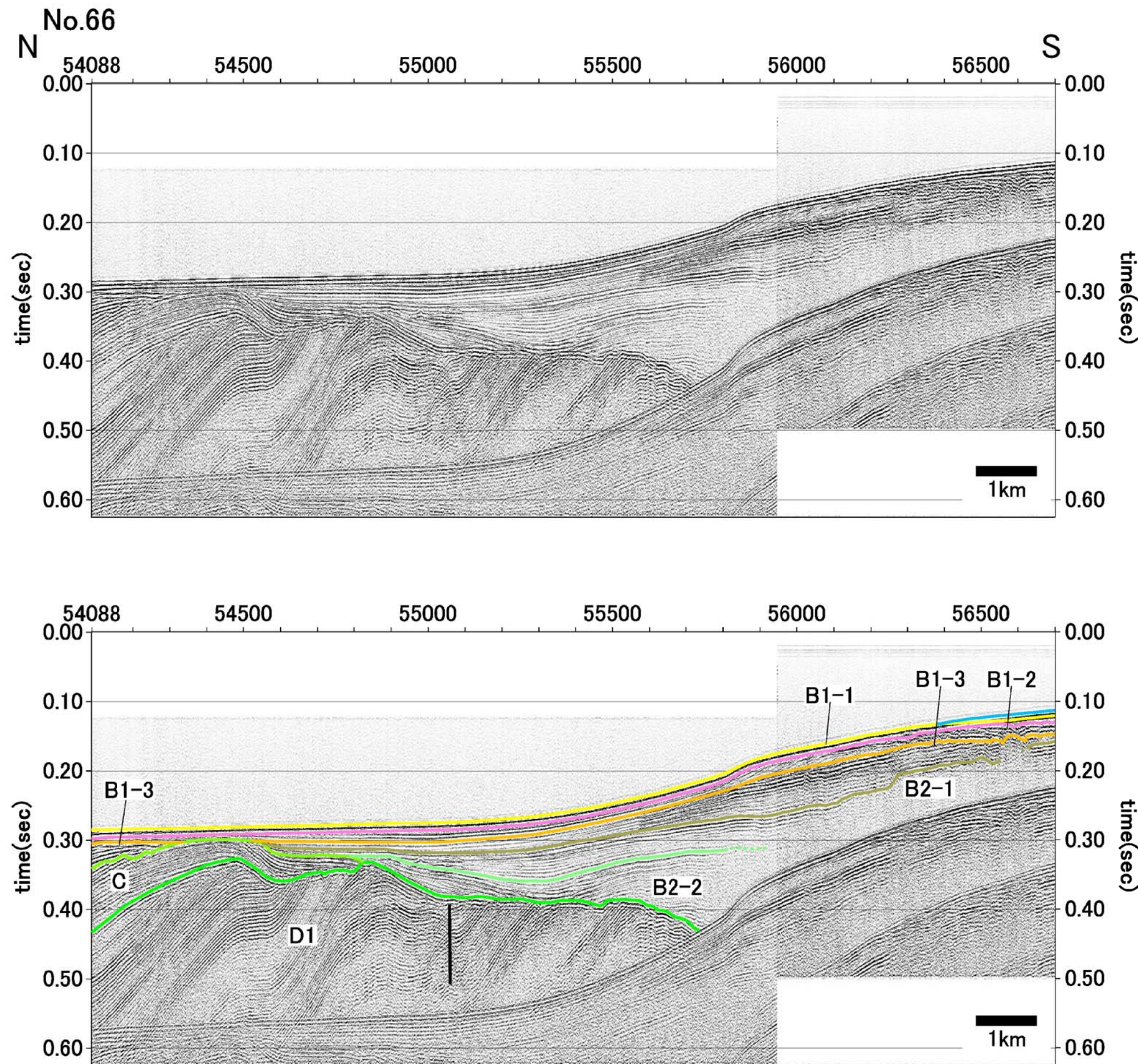


図 2-2 福井平野東縁断層帯周辺の地質構造図.



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層	V	D1 層
			VI	D2 層
			山中層 糸生層	VII

*1: 本調査範囲では認められない。

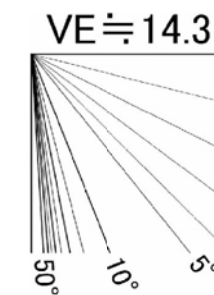
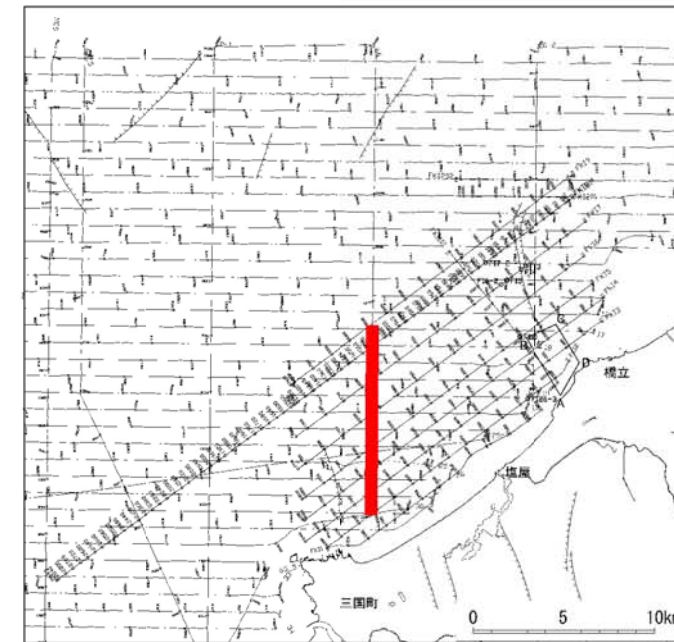
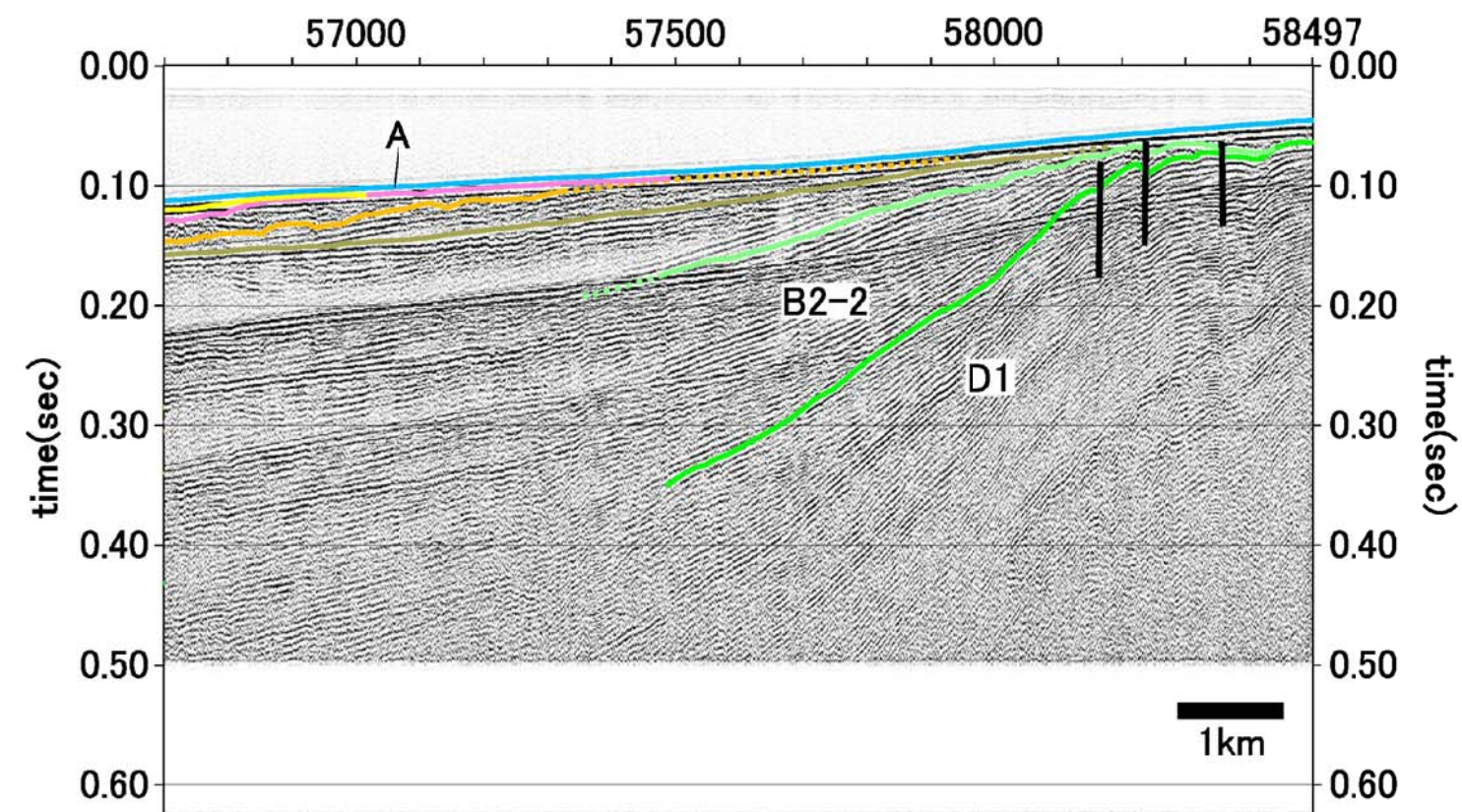
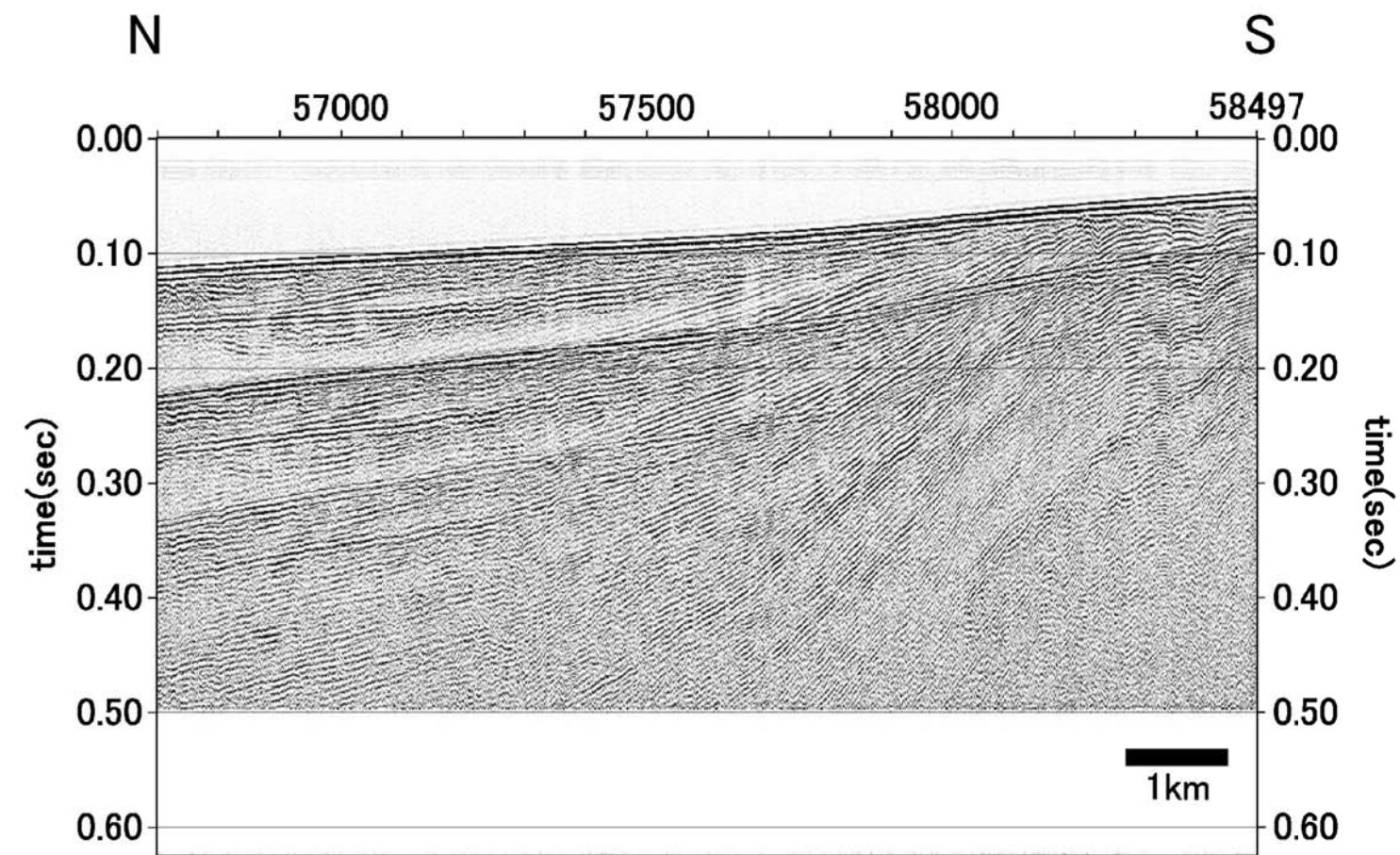


図 2-3 (a) 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録による層序区分 (No. 66 測線 (海上保安庁海洋情報部の記録)).

上段：反射断面，下段：解釈断面



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層	VII	D3層 ^{*1}

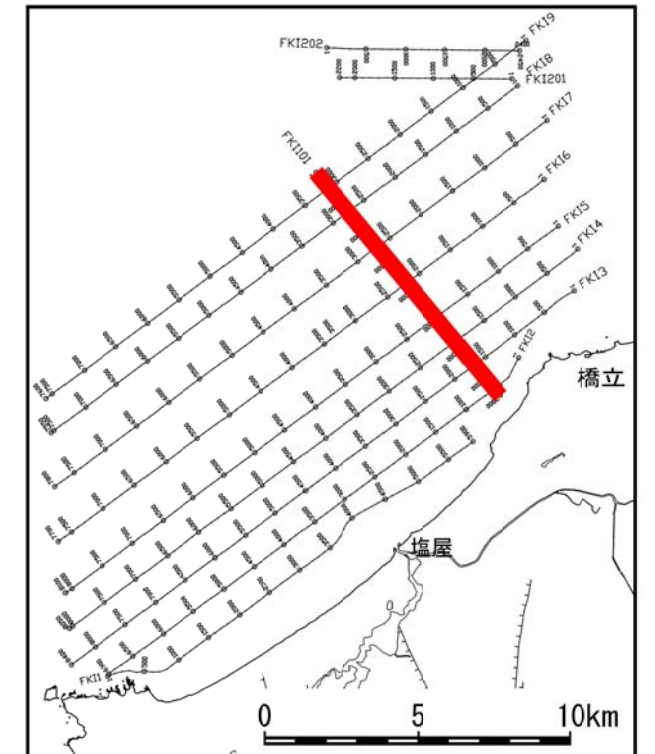
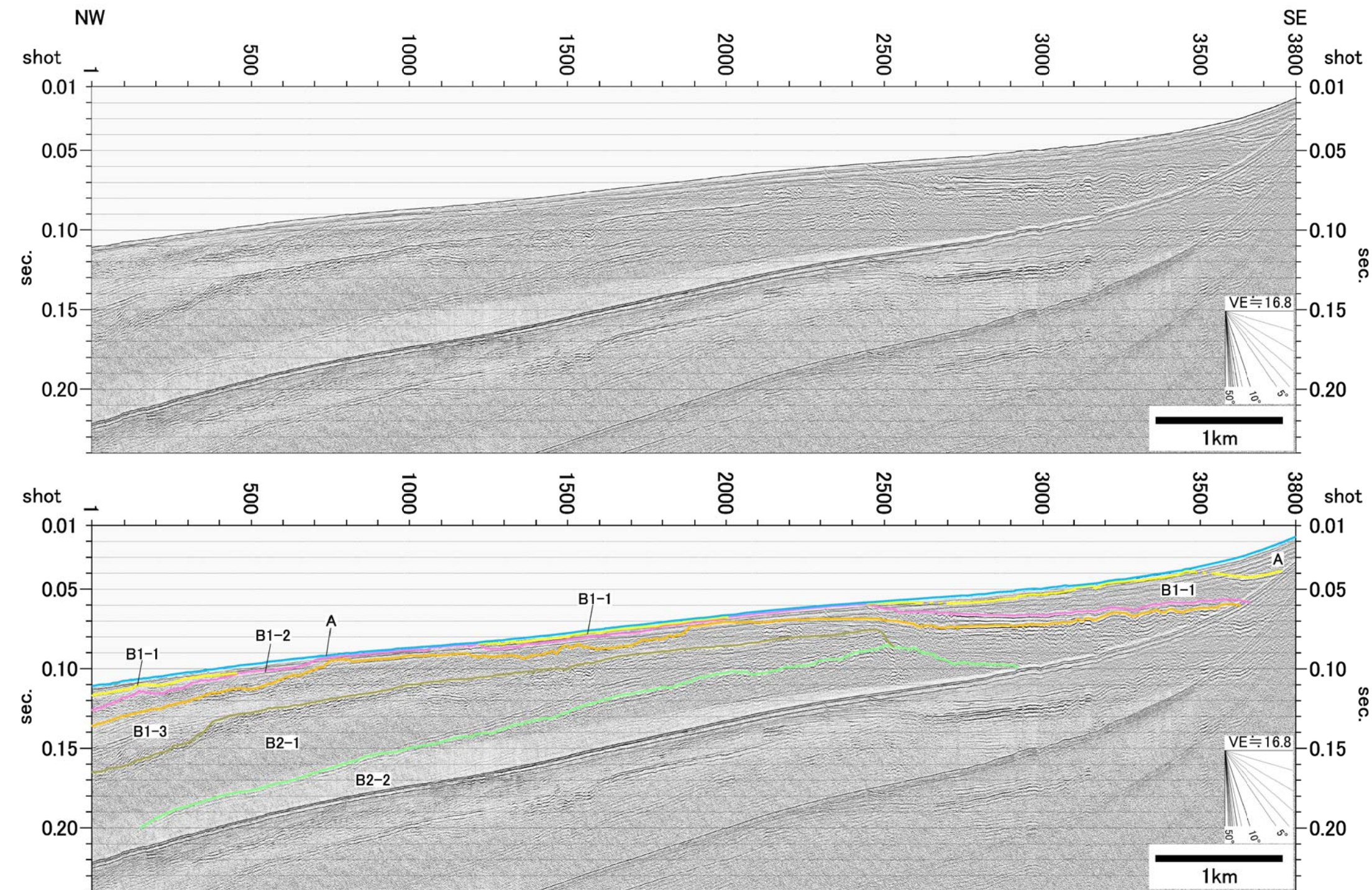
*1: 本調査範囲では認められない。



図 2-3 (b) 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録による層序区分 (続き) (No. 66 測線 (海上保安庁海洋情報部の記録)).

上段：反射断面，下段：解釈断面

FKI101



sec.

時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層	IV	C層 ^{*1}
	中新世		V	D1 層
			VI	D2 層
		山中層 糸生層	VII	D3 層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-4 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録による層序区分 (FKI 101 測線)。

上段：反射断面，下段：解釈断面

FKI 8M

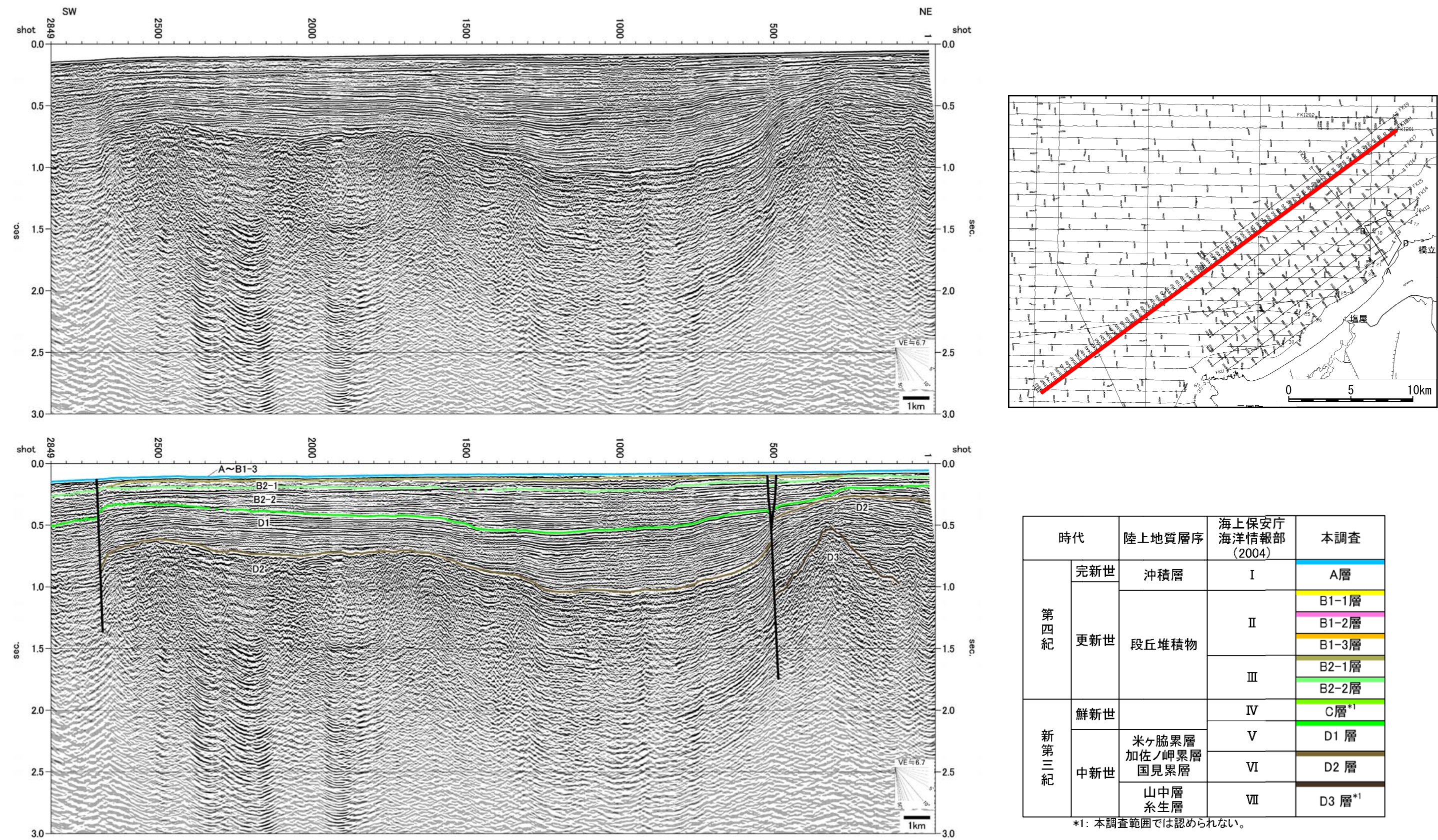
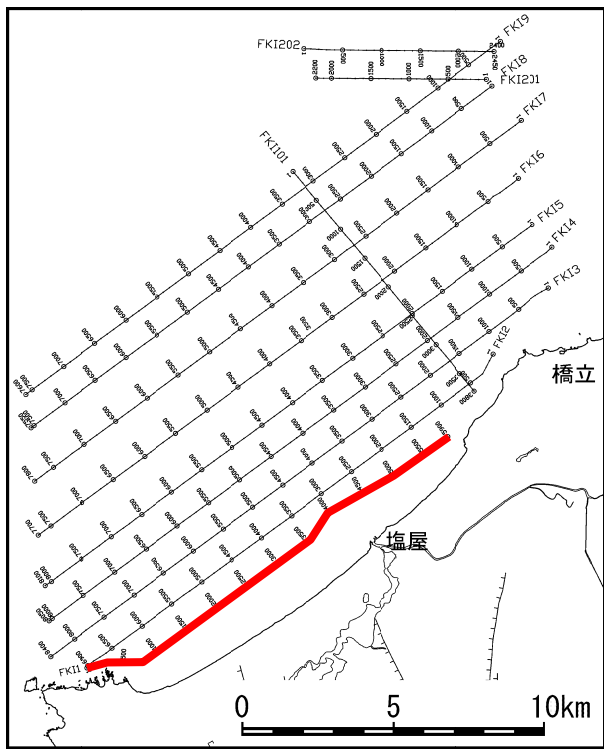
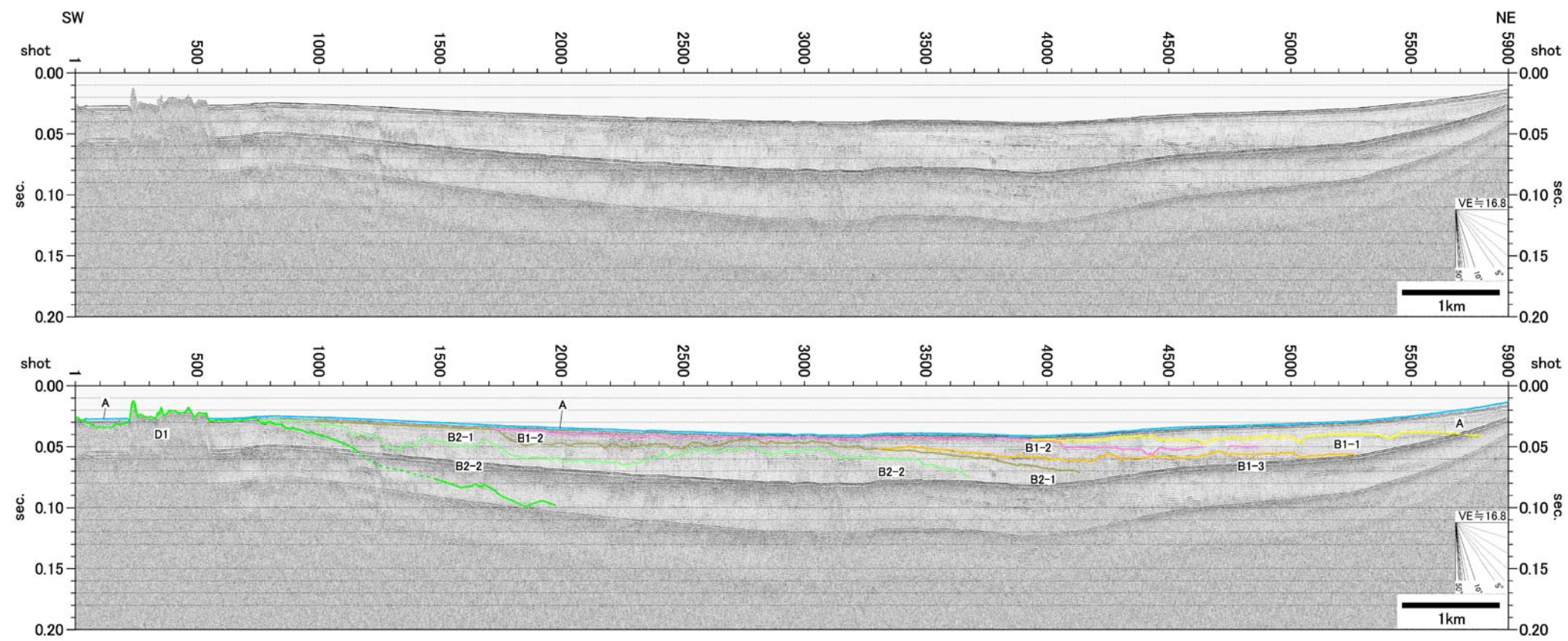


図 2-5 福井平野東縁断層帯（海域部）のマルチチャンネル音波探査記録（FKI 8M 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

FKI 1



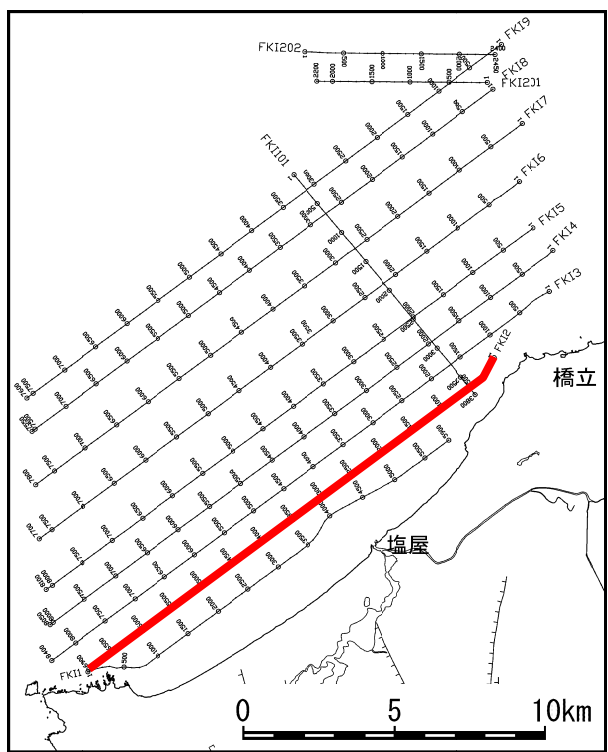
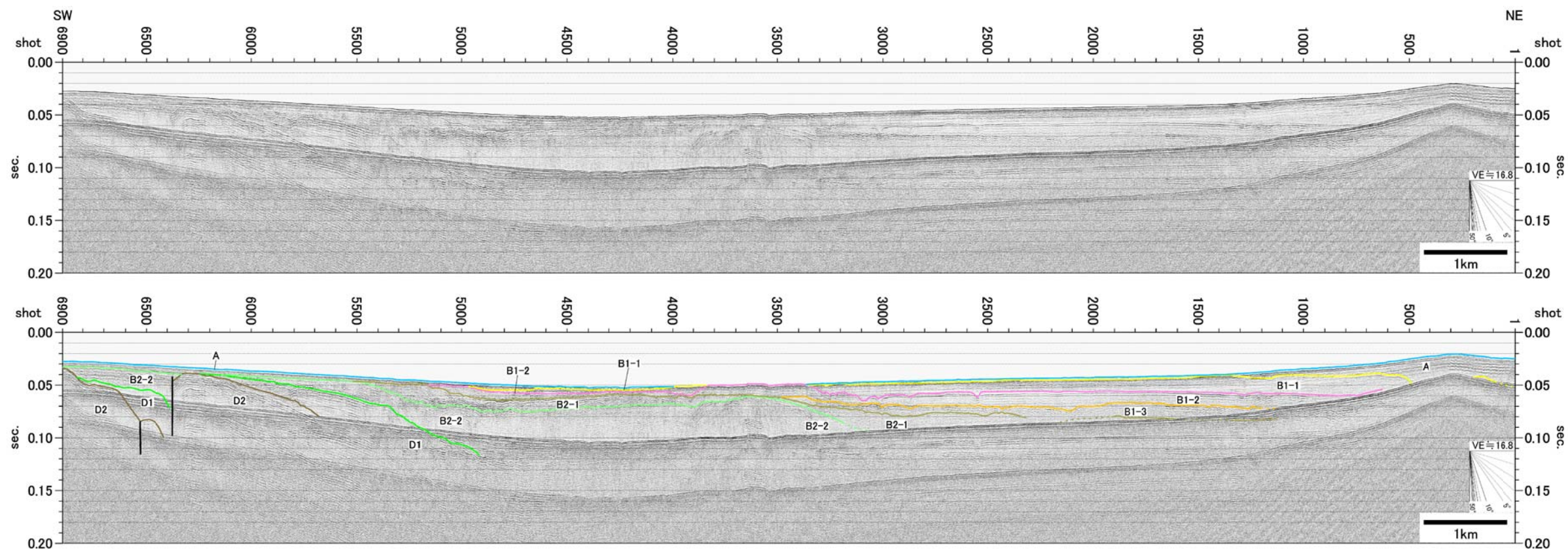
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層 山中層 糸生層	V	D1 層
			VI	D2 層
			VII	D3 層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-6 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 1 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

FKI 2

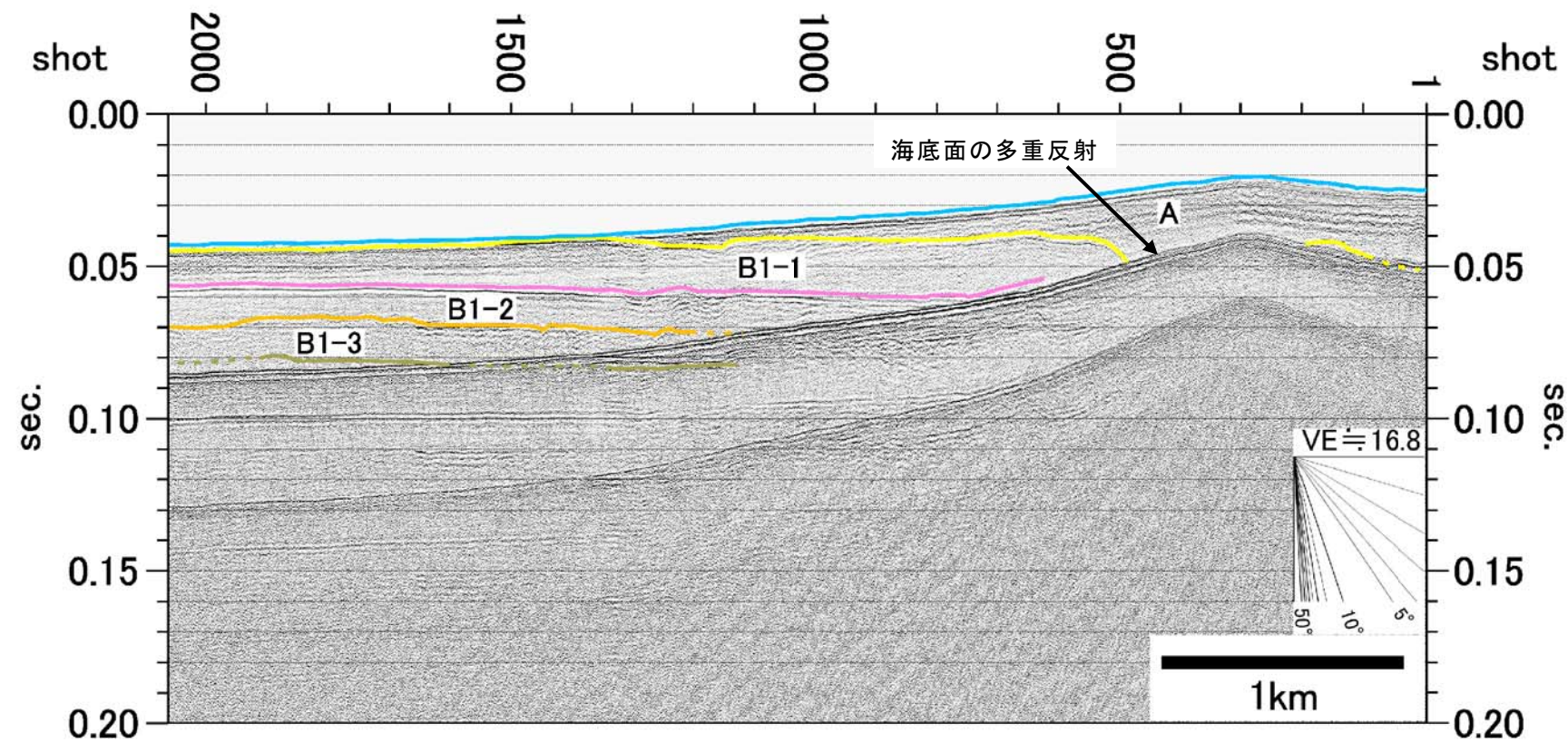
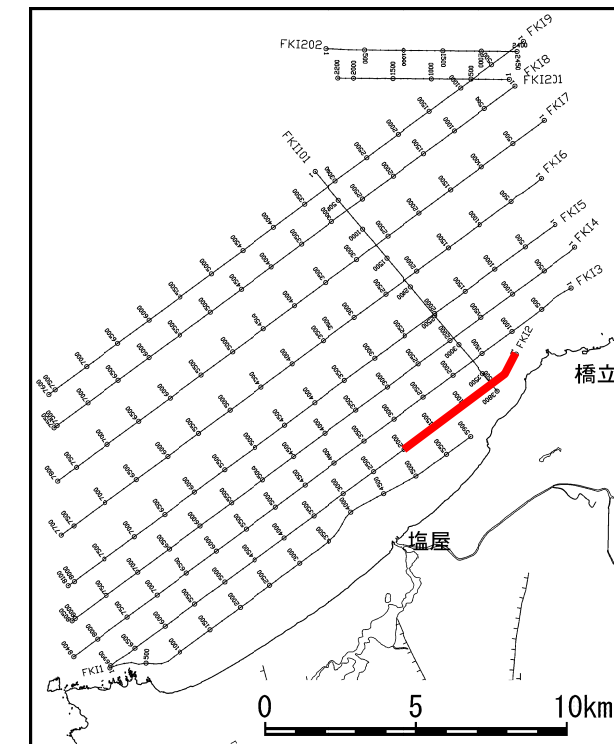
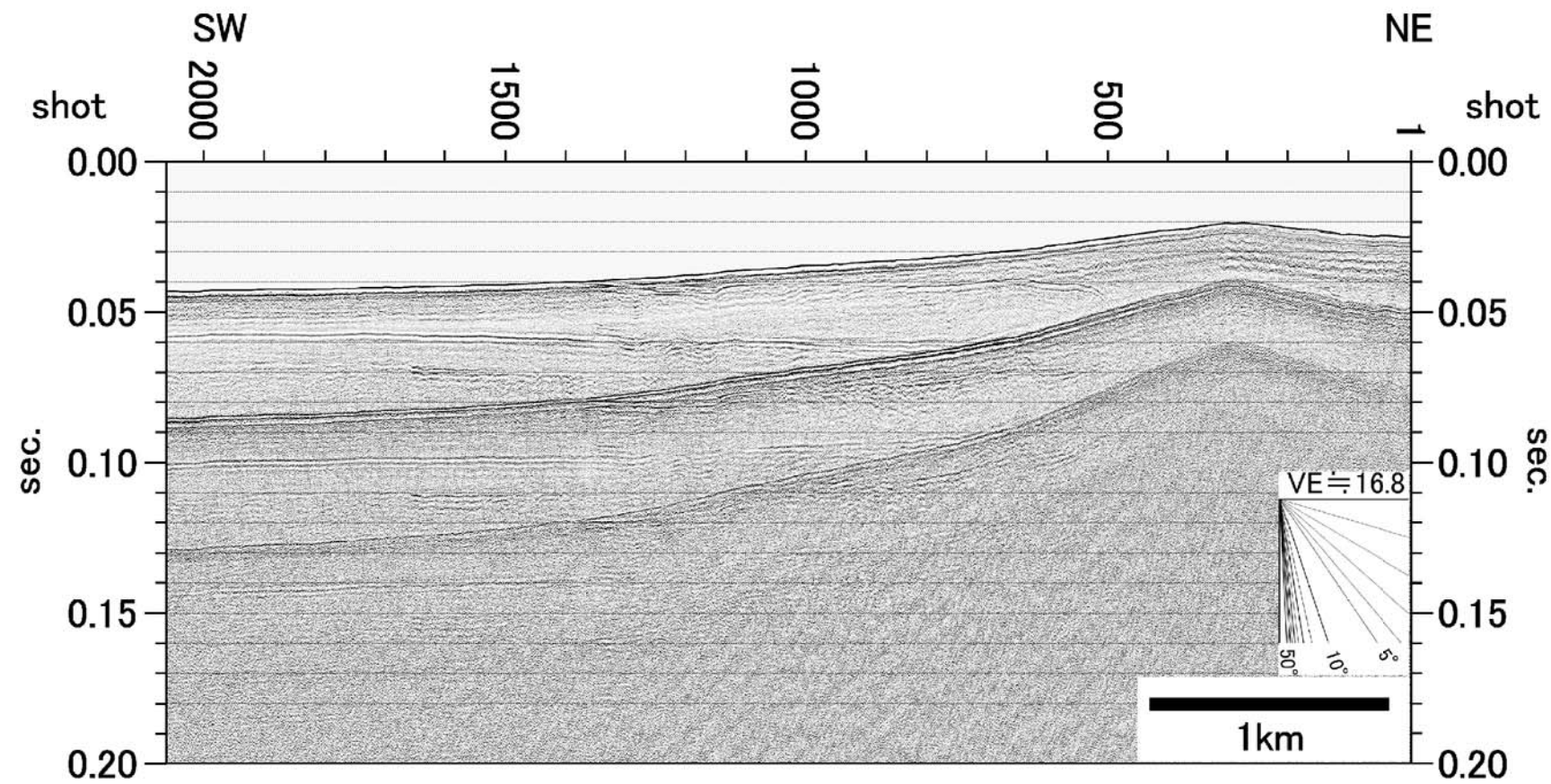


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		山中層 糸生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-7 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 2 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

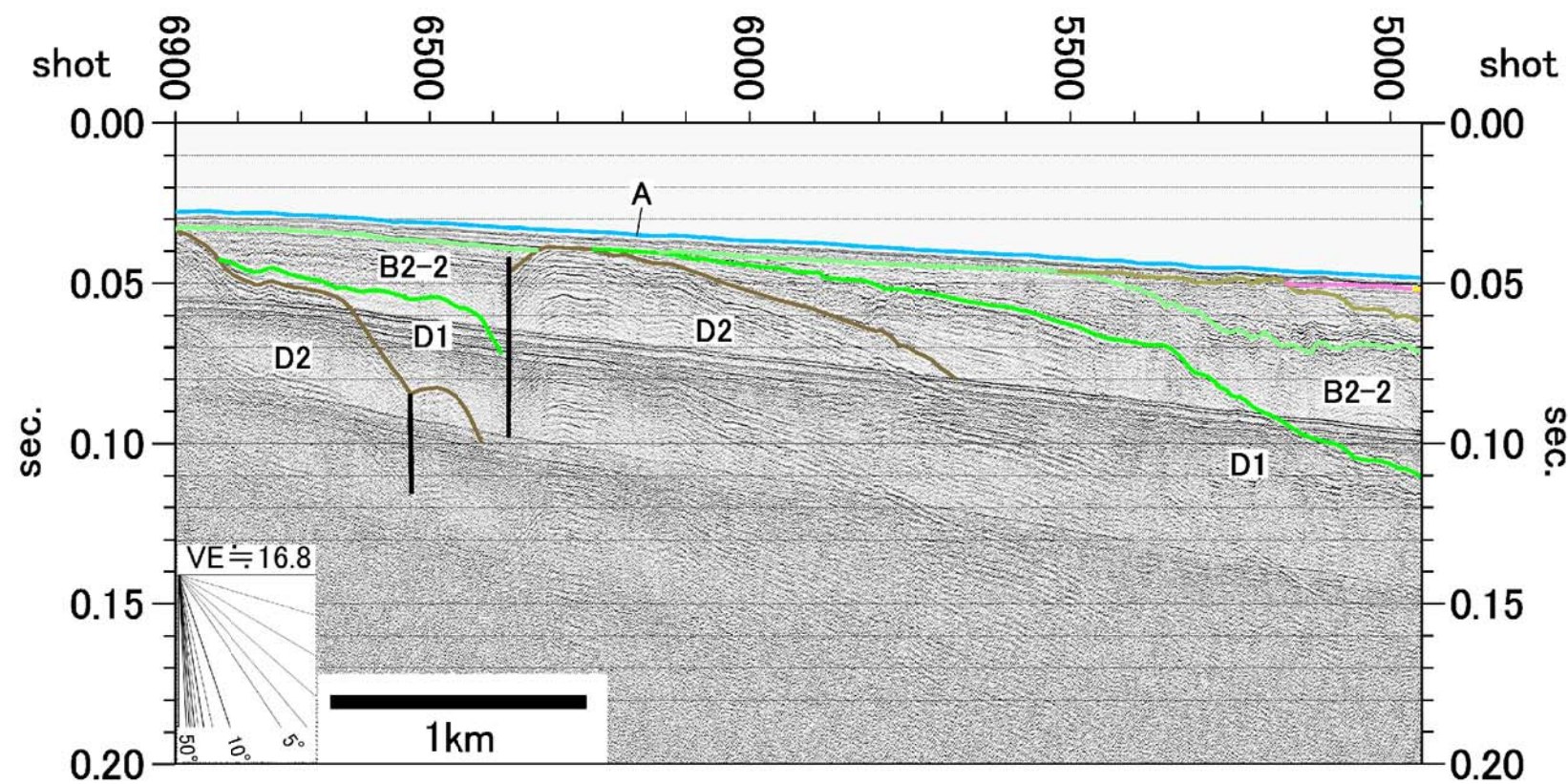
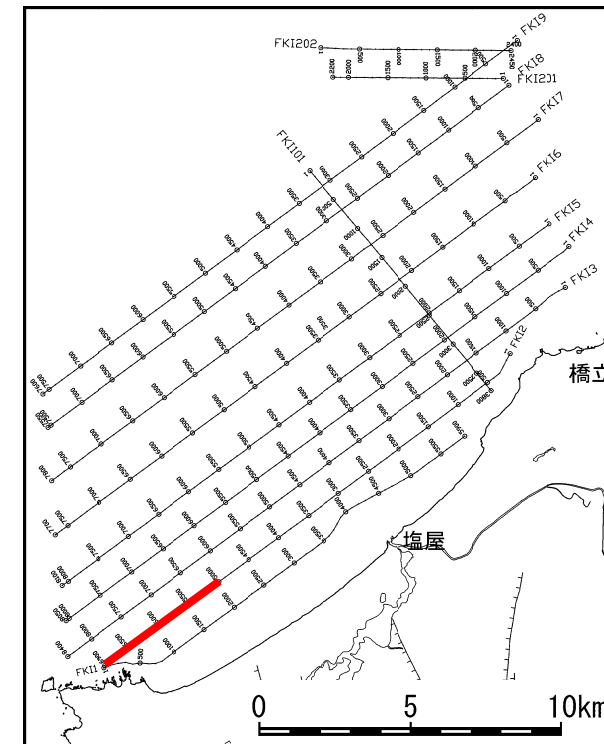
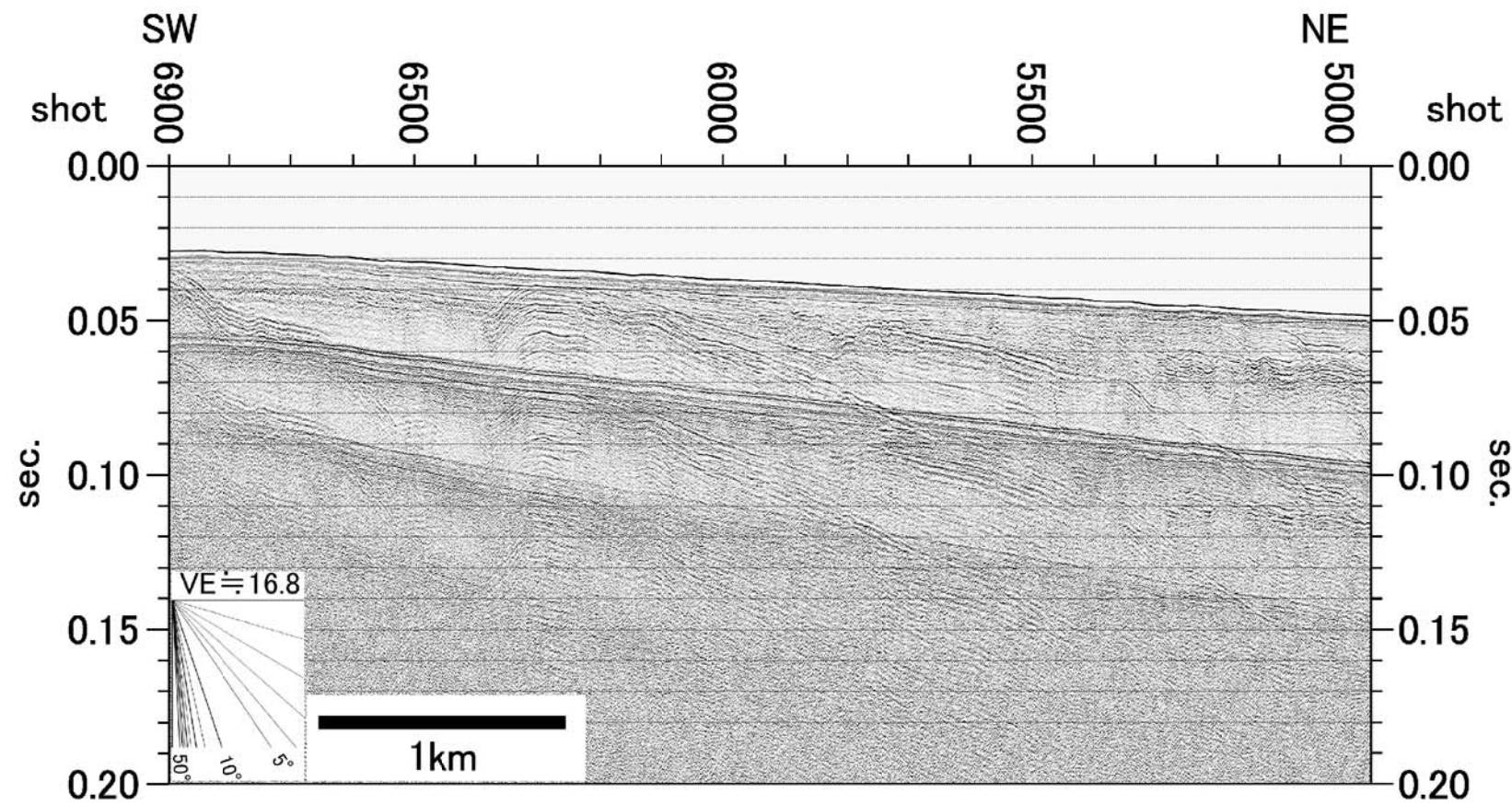


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
			III	B1-3層
				B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層		
		山中層 糸生層	VII	D3層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-7 (b) 福井平野東縁断層帯 (主部) の高分解能音波探査記録 (FKI 2 測線北東部)。

上段: 反射断面, 下段: 解釈断面。



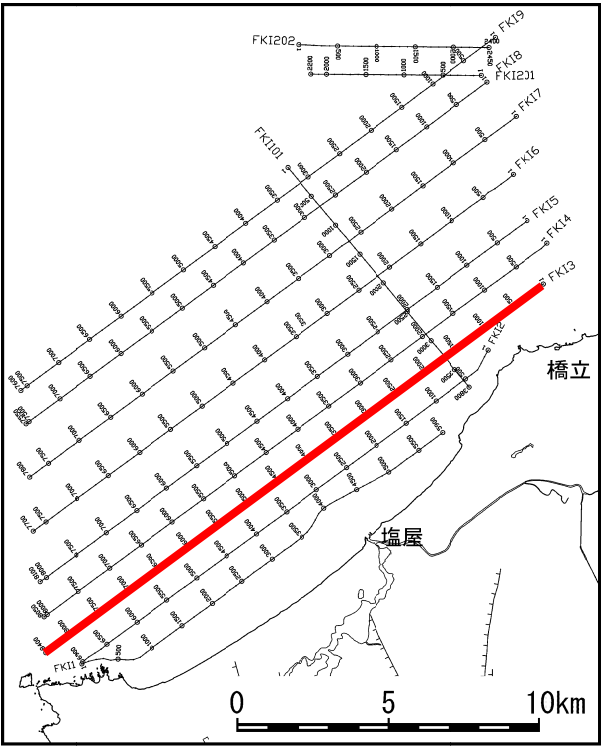
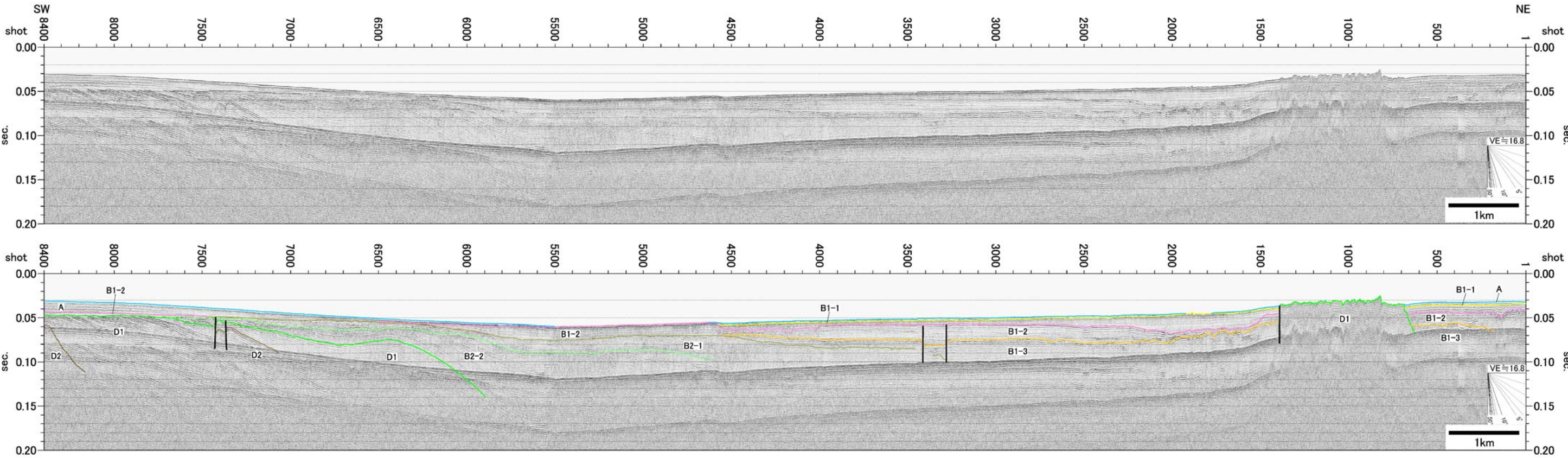
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		山中層 糸生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-7 (c) 福井平野東縁断層帯 (西部) の高分解能音波探査記録 (FKI 2 測線南西部)。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

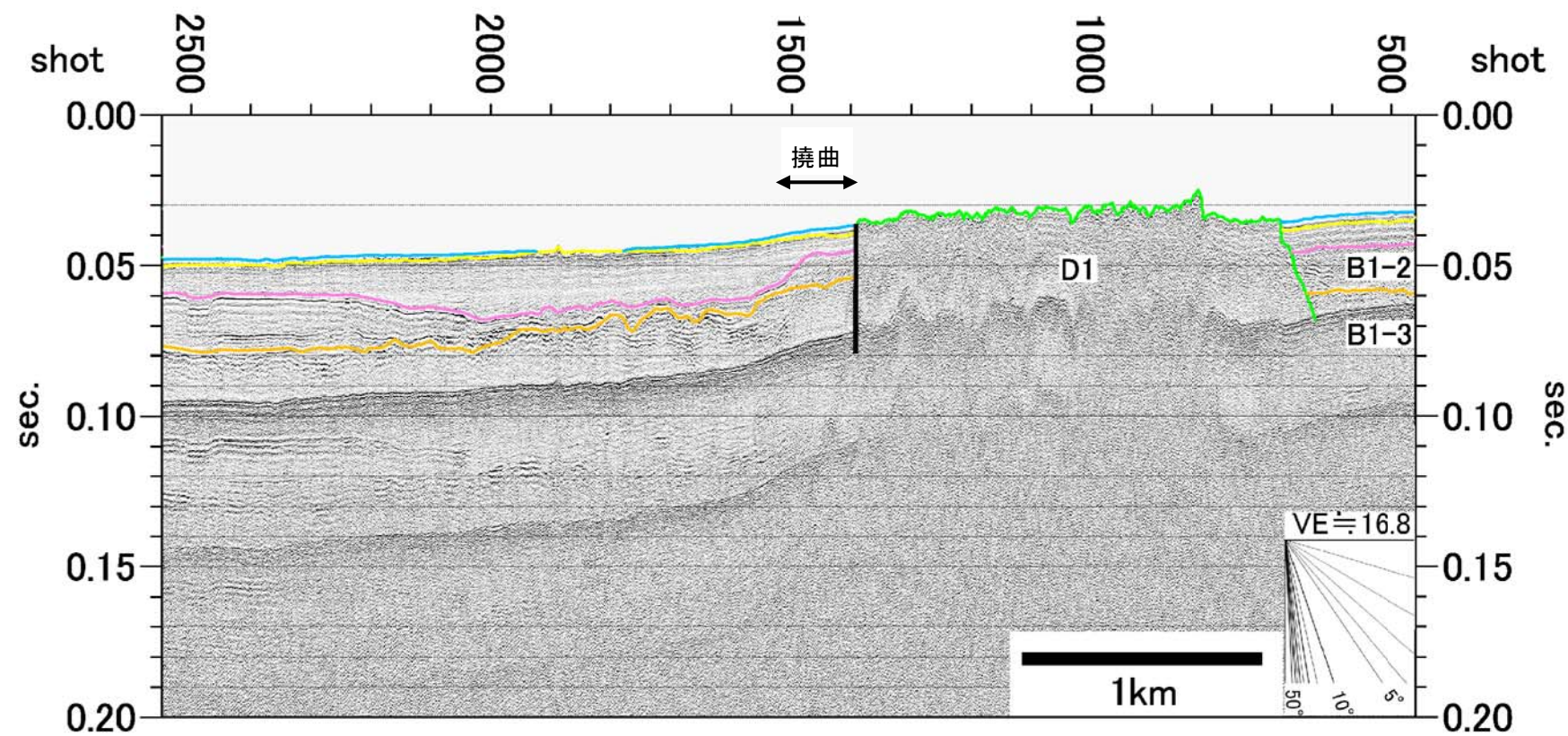
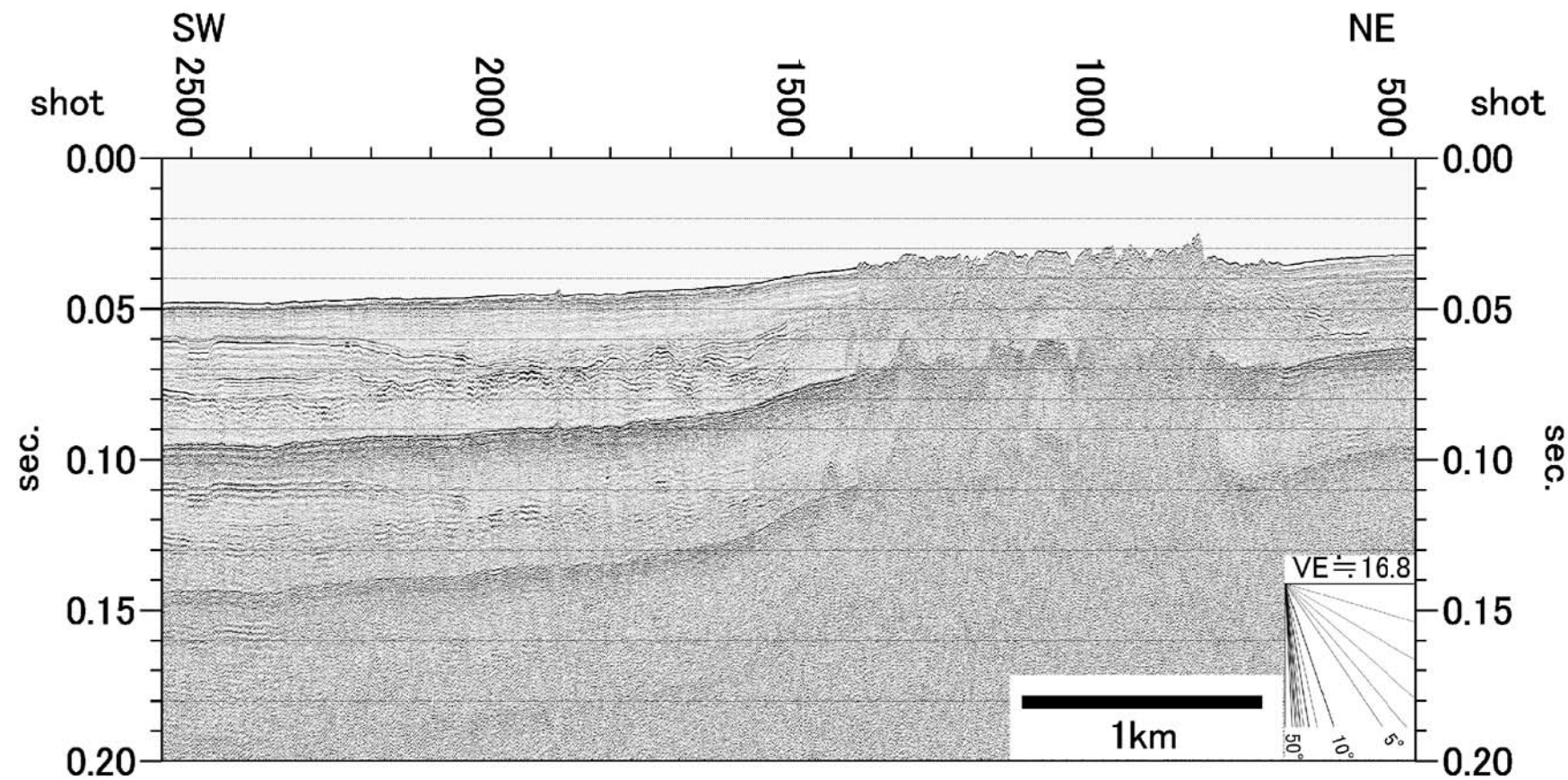
FKI 3



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1 層
		加佐ノ岬累層	VI	D2 層
		山中層 糸生層	VII	D3 層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-8 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 3 測線）。
上段：反射断面，下段：解釈断面。

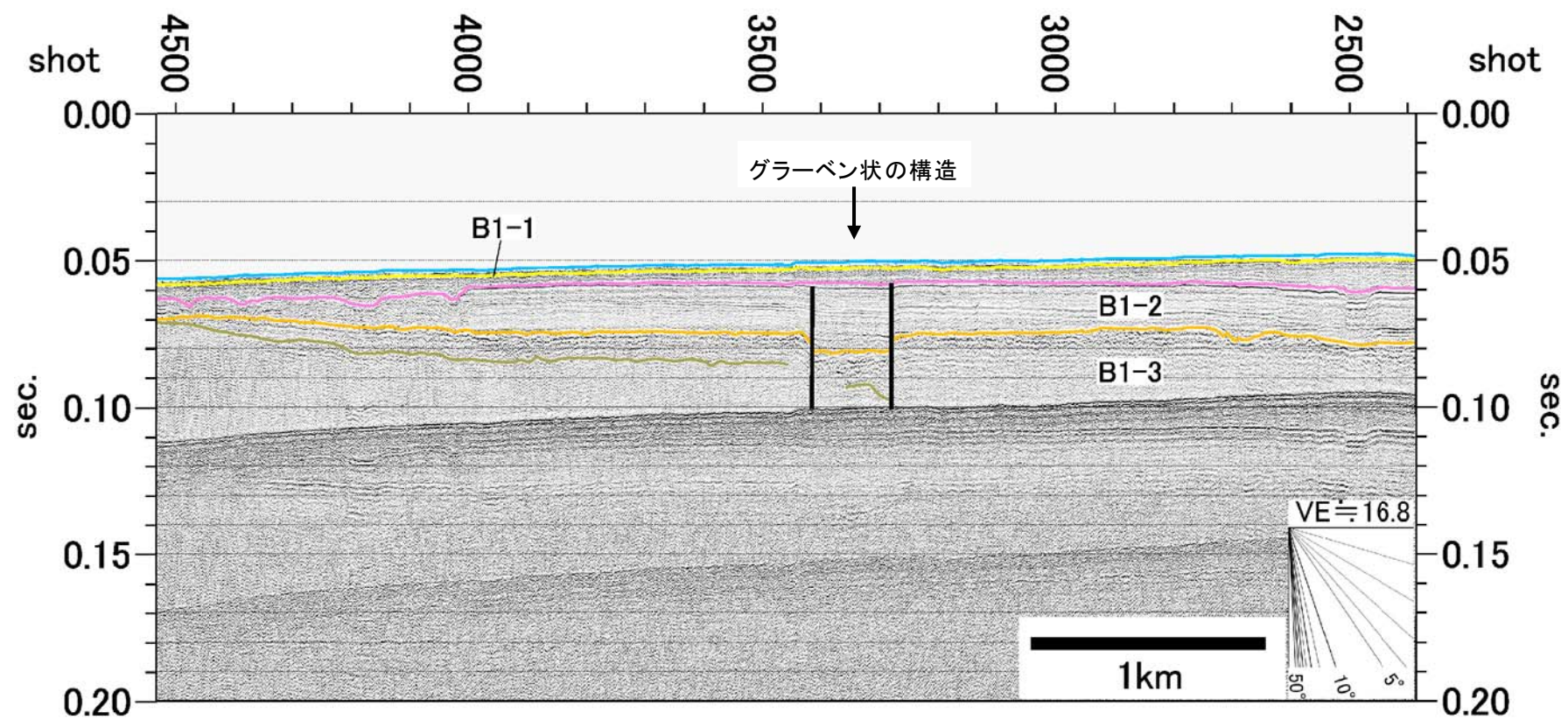
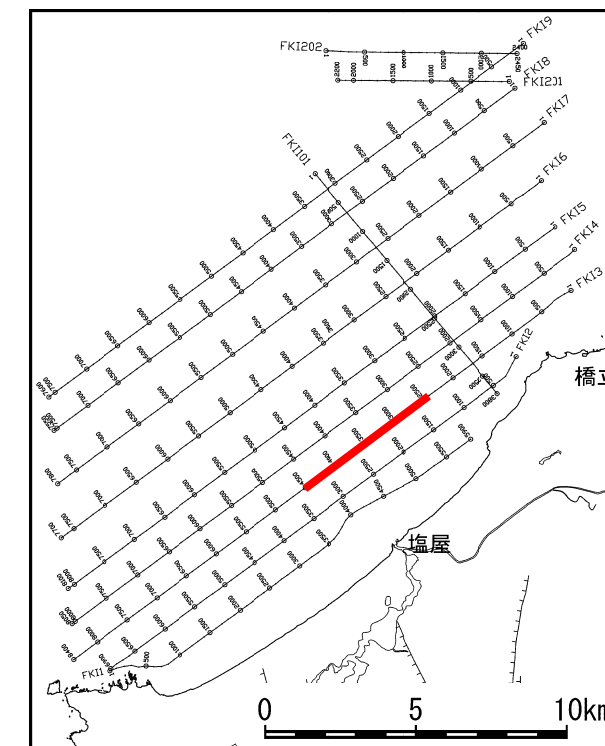
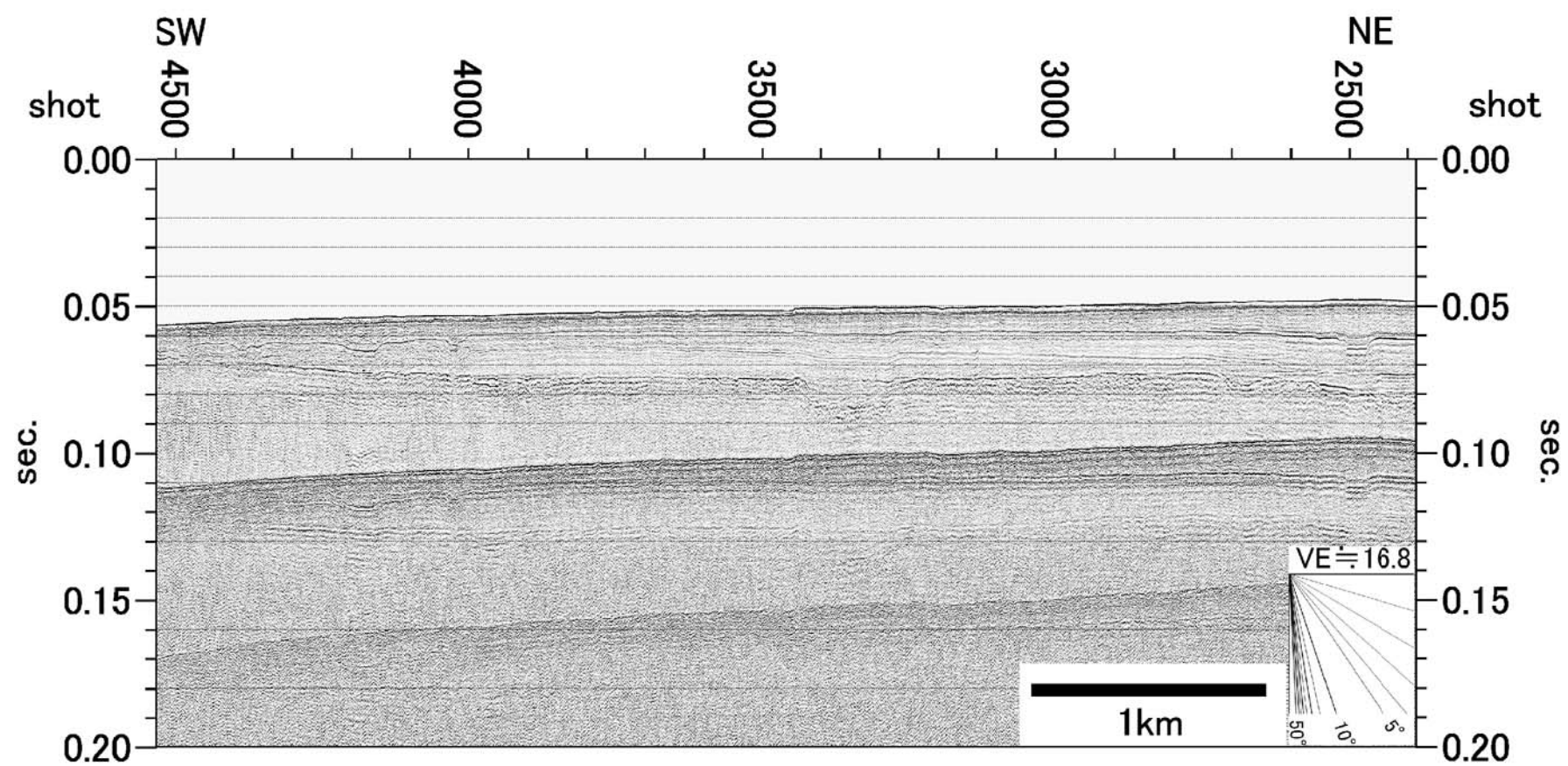


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層 B2-2層
	鮮新世		IV	C層*1
新第三紀	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層	V	D1 層
			VI	D2 層
		山中層 糸生層	VII	D3 層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-8 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 3 測線北東部）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

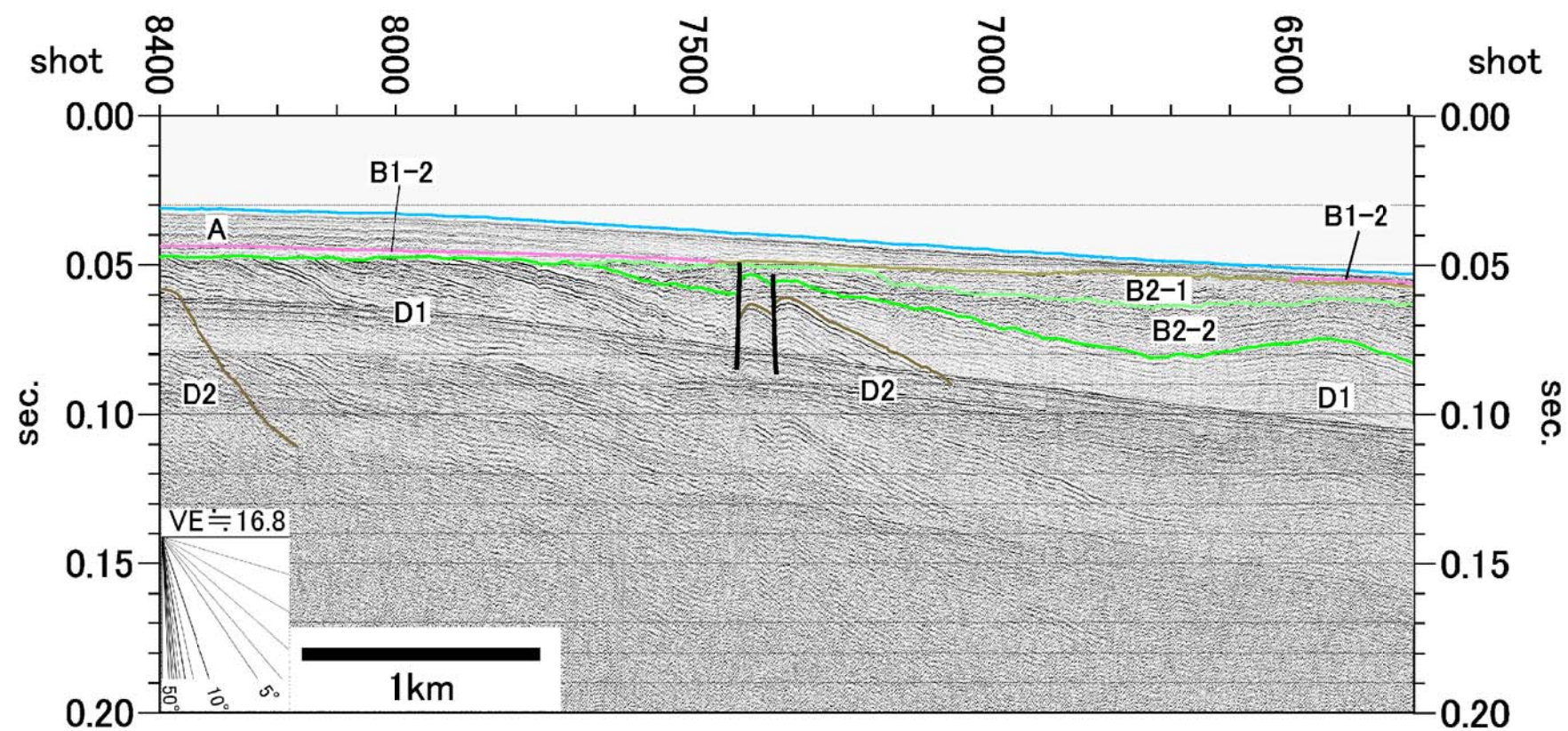
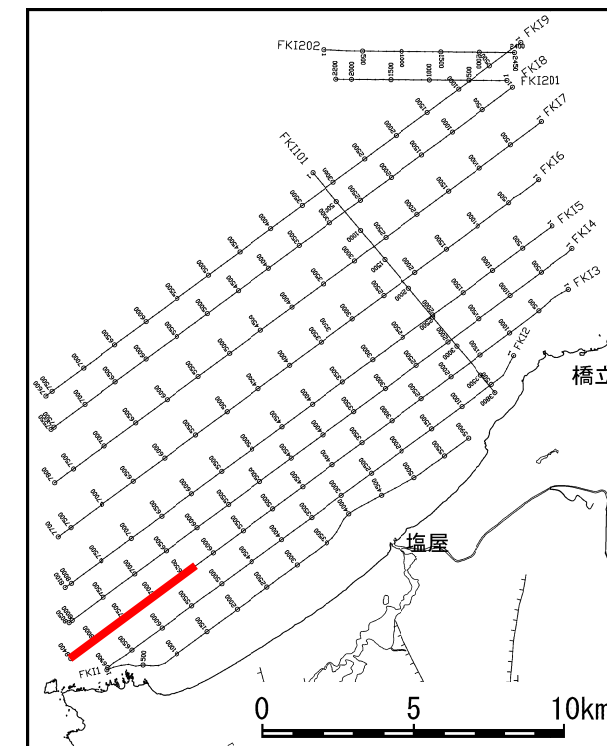
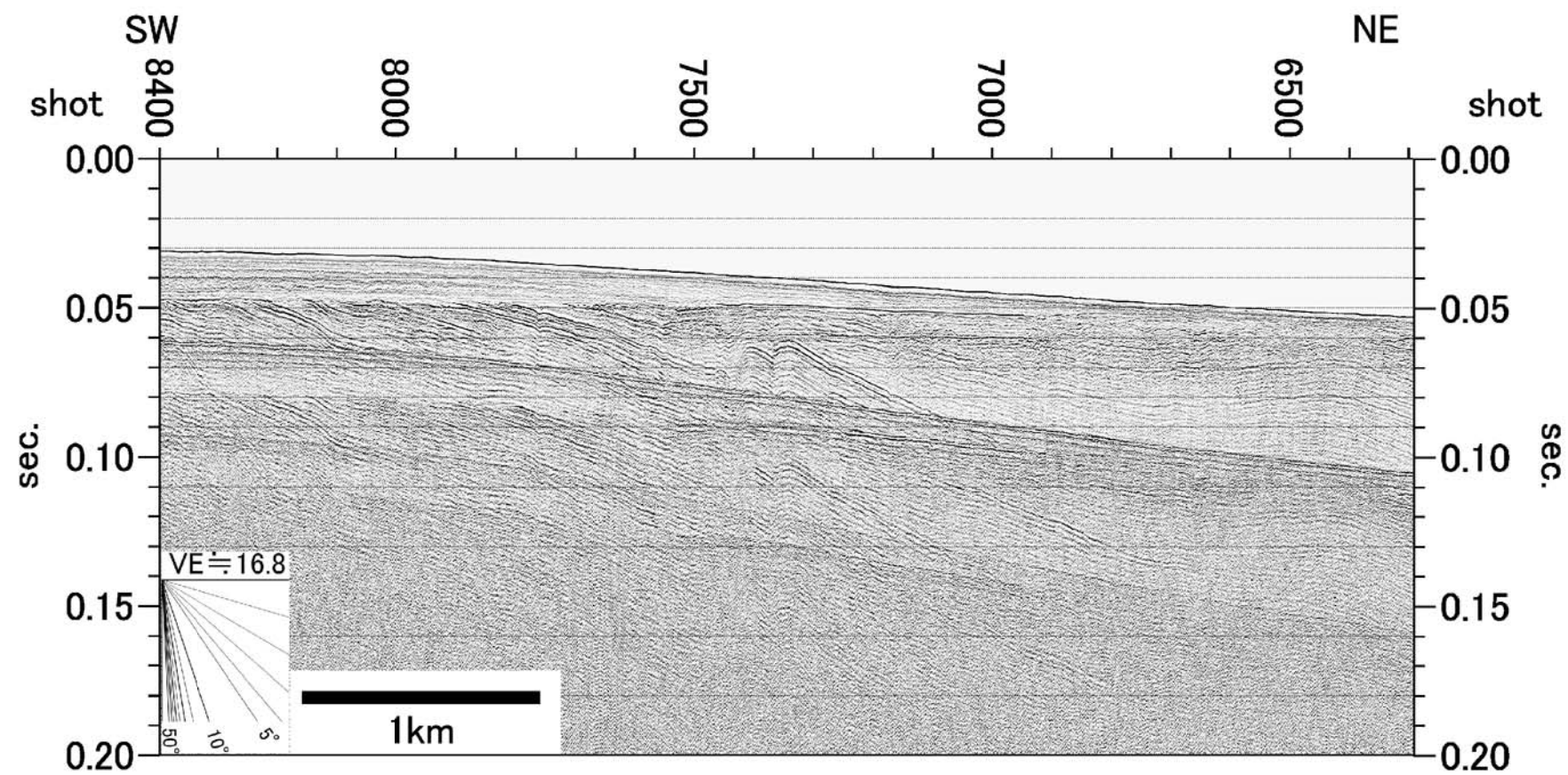


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
			III	B1-3層
				B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層		
		山中層 糸生層	VII	D3層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-8 (c) 福井平野東縁断層帯 (海域部) の高分解能音波探査記録 (FKI 3 測線中央部)。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

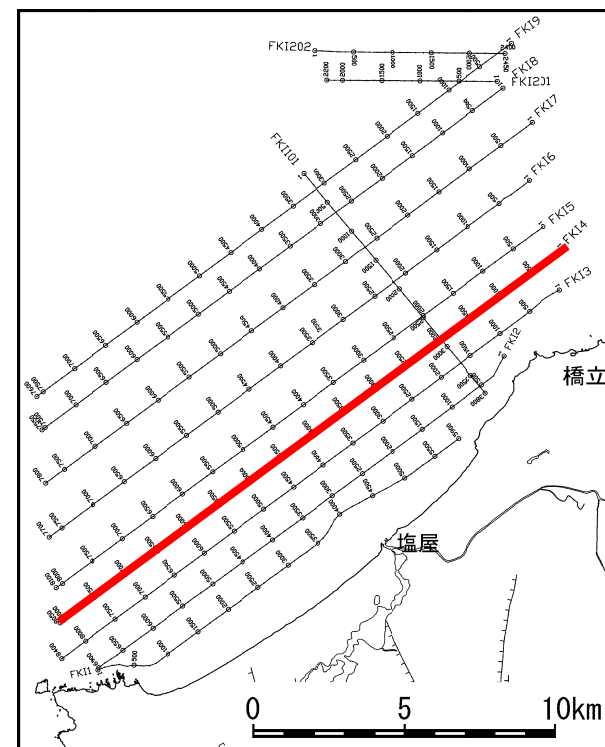


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-8 (d) 福井平野東縁断層帯 (西部) の高分解能音波探査記録 (FKI 3 測線南西部)。

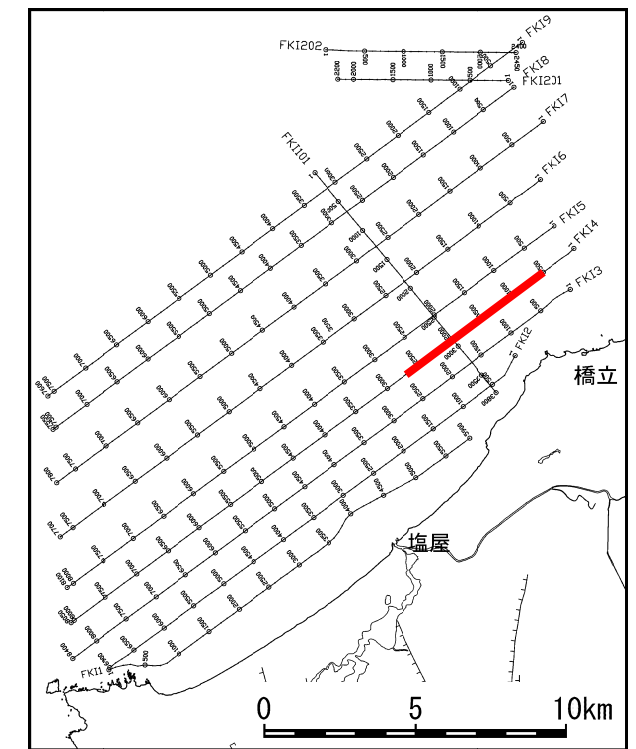
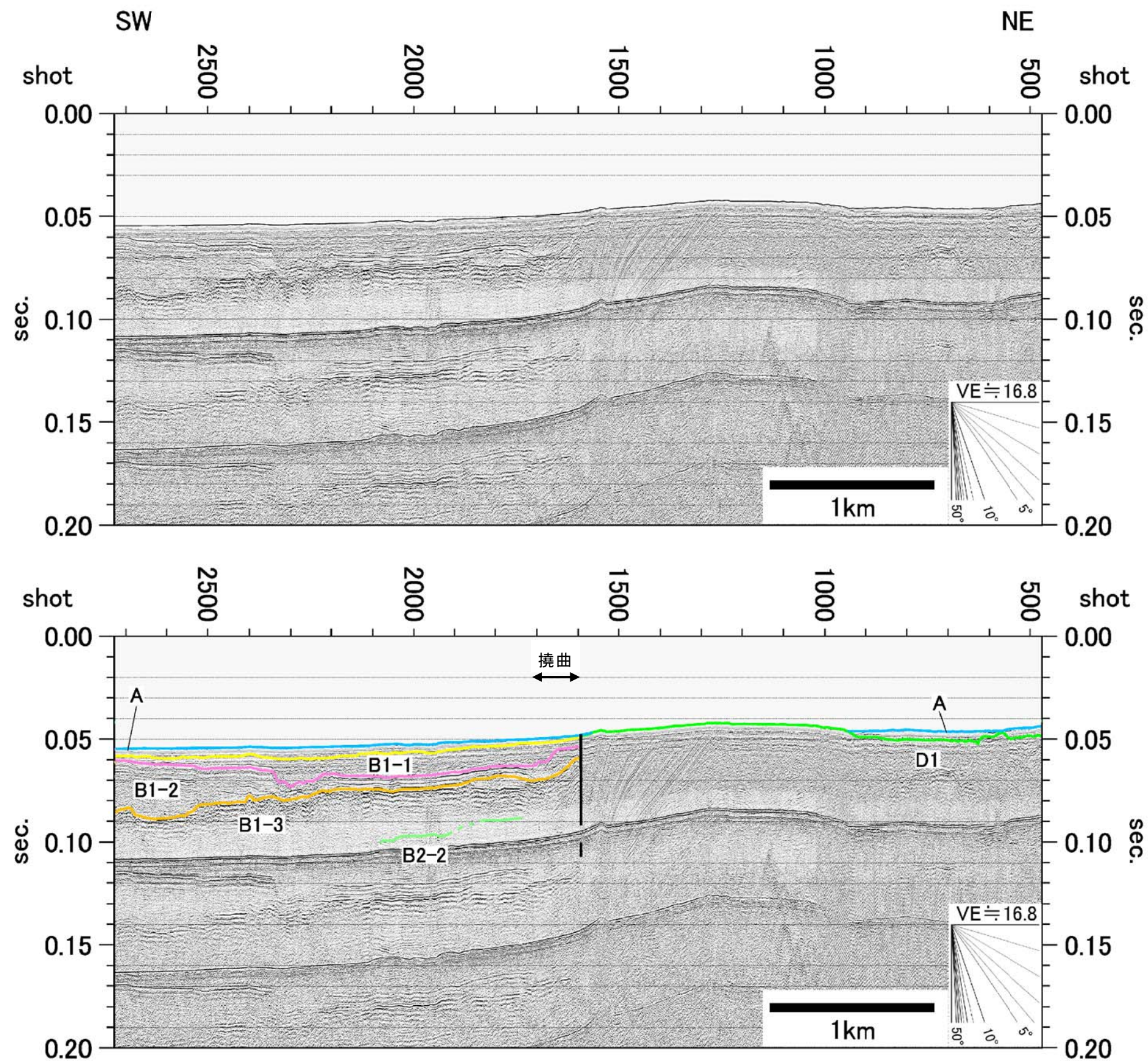
上段：反射断面，下段：解釈断面。



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1 層
		加佐ノ岬累層	VI	D2 層
		国見累層		
			山中層 糸生層	VII

図 2-9 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 4 測線）.

—46—

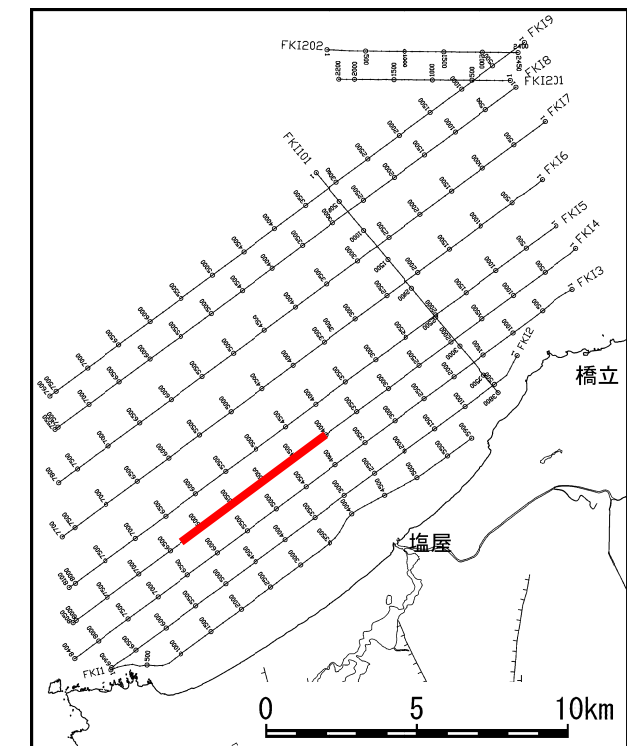
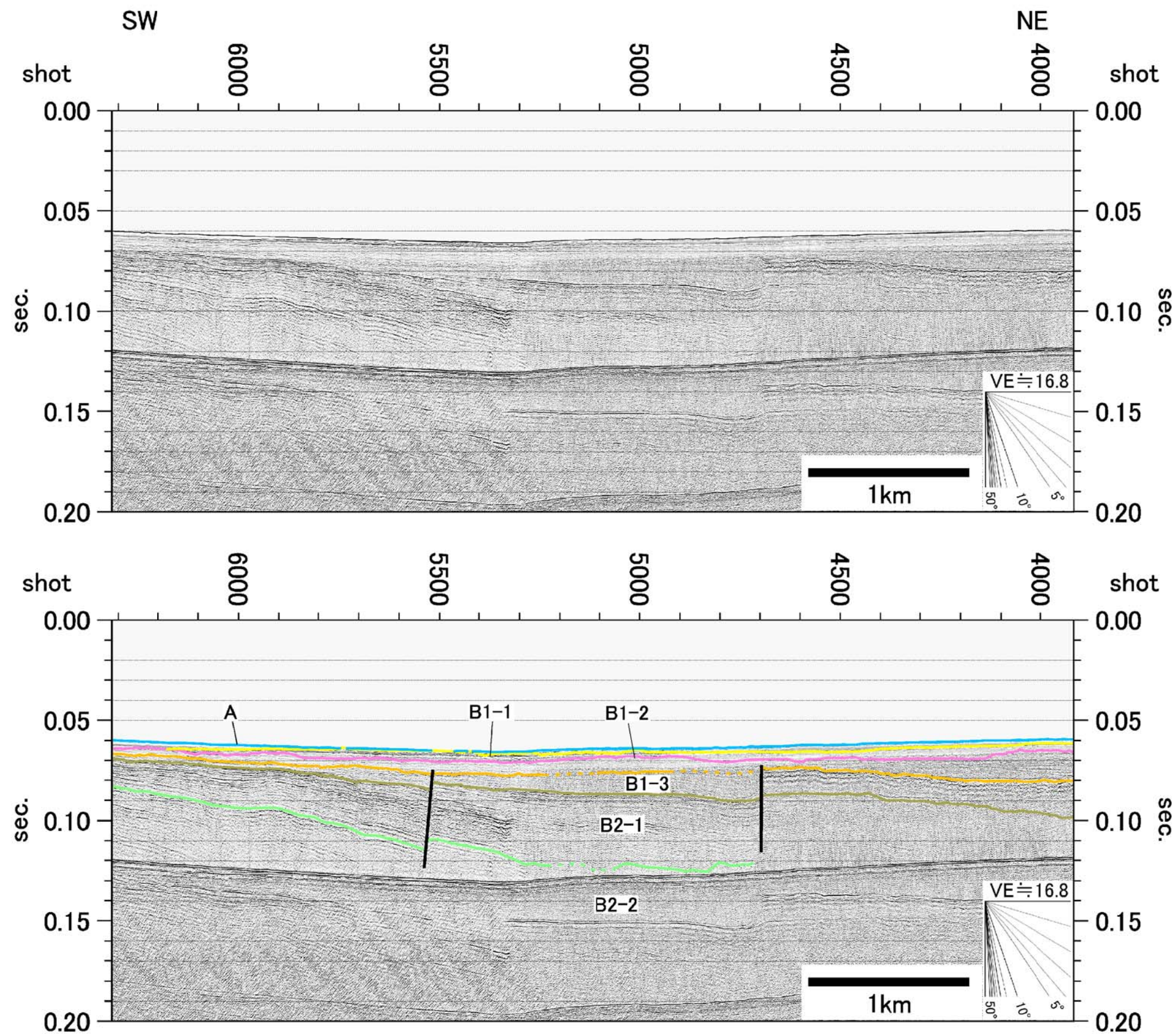


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層 山中層 糸生層	IV	C層 ^{*1}
	中新世		V	D1 層
			VI	D2 層
			VII	D3 層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-9 (b) 福井平野東縁断層帯 (主部) の高分解能音波探査記録 (FKI 4 測線北東部)。

上段: 反射断面, 下段: 解釈断面。

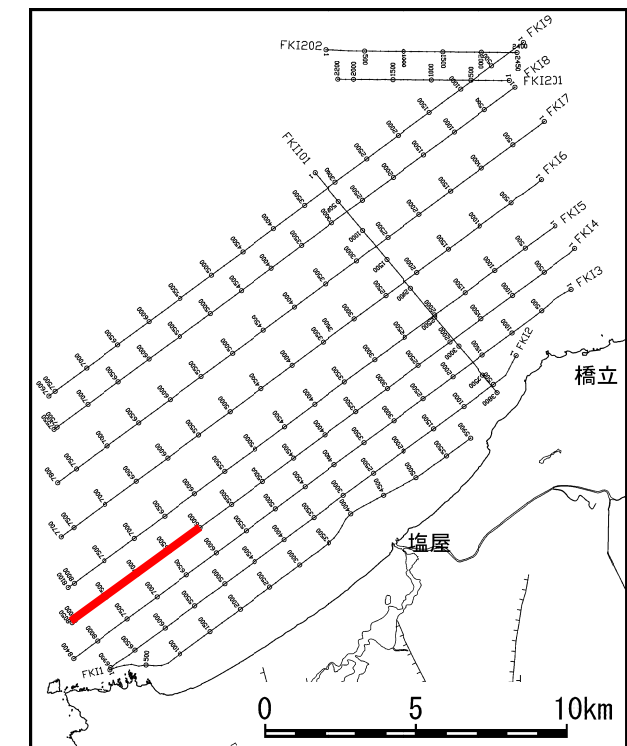
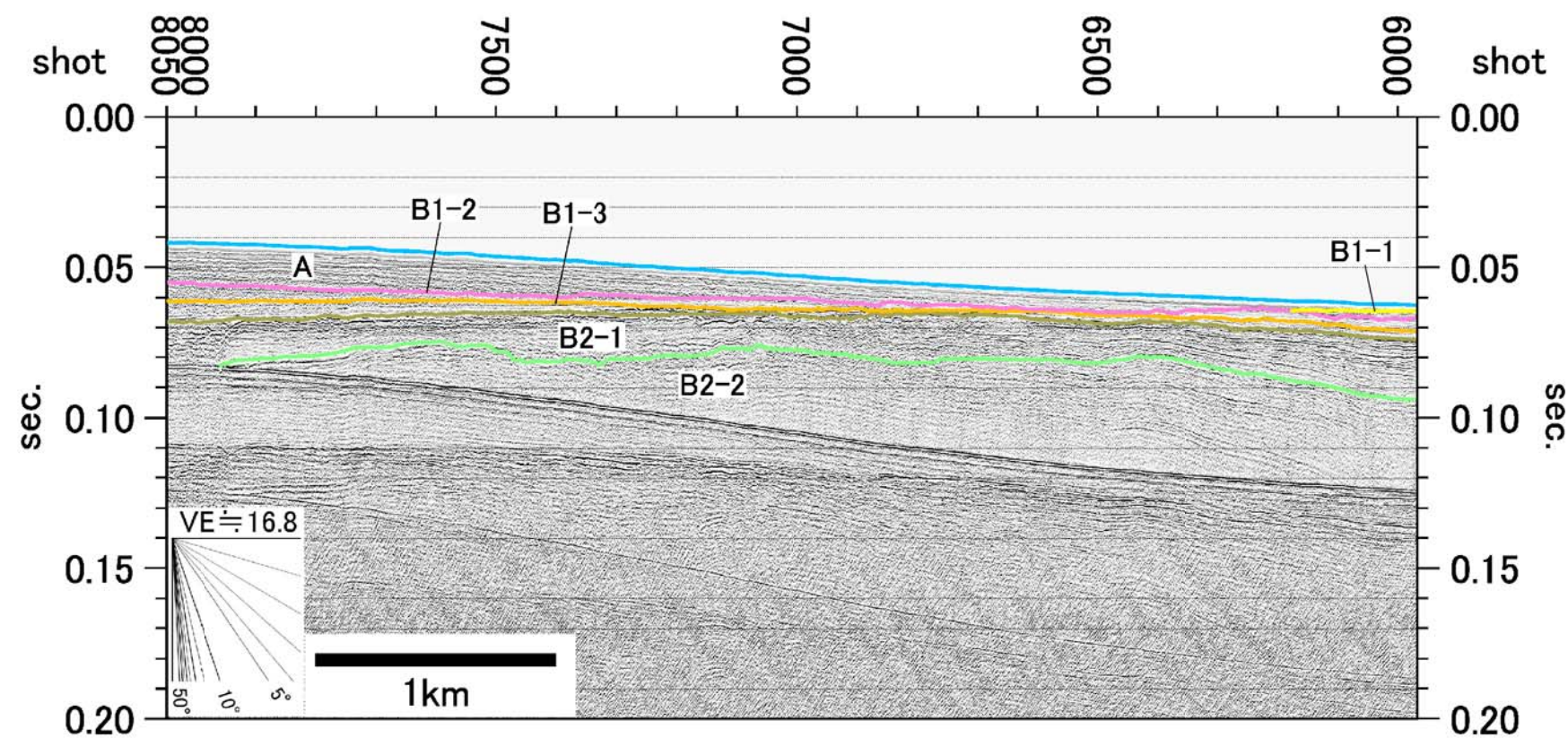
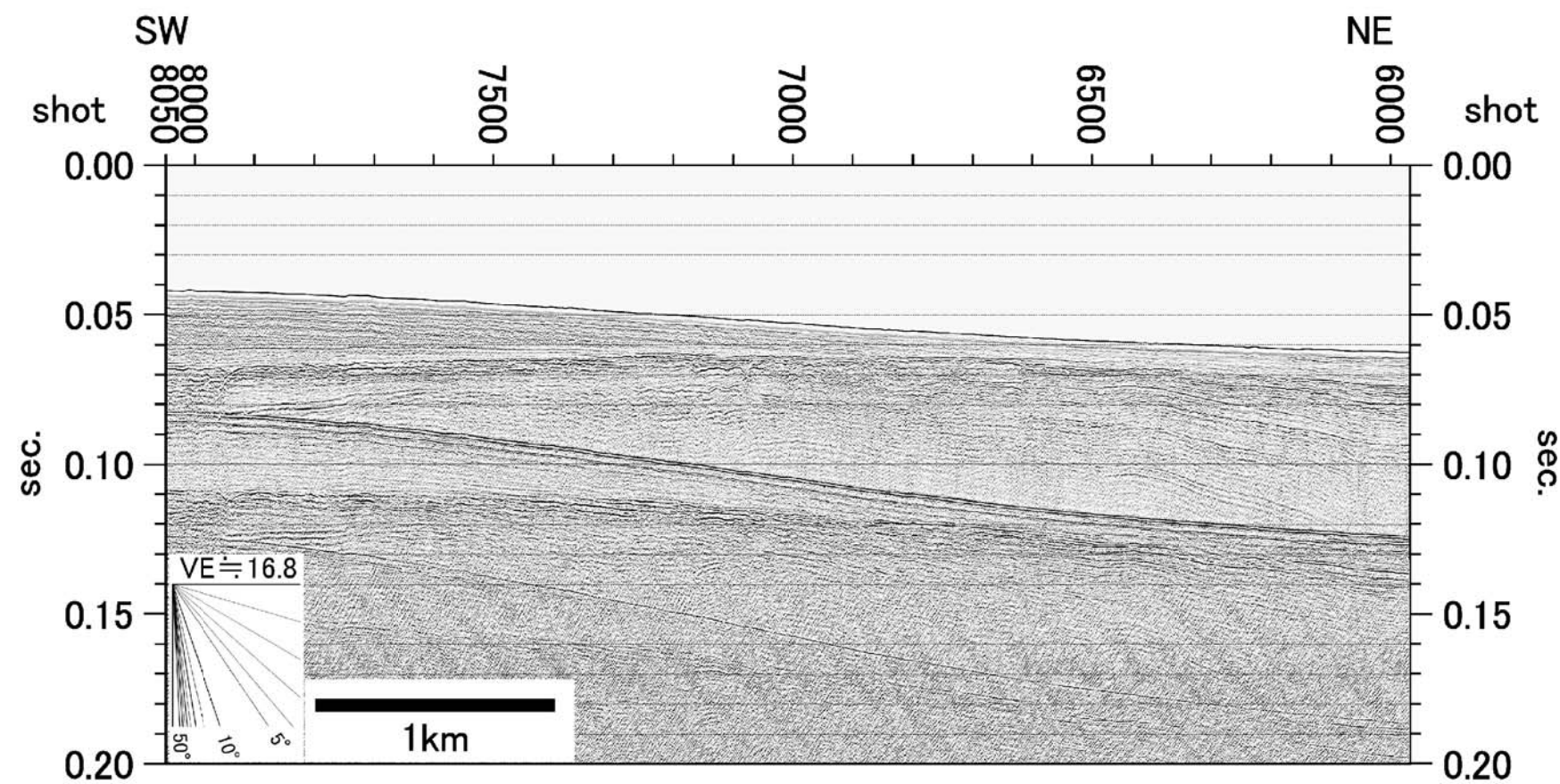


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層		
		山中層 糸生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-9 (c) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 4 測線中央部）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。



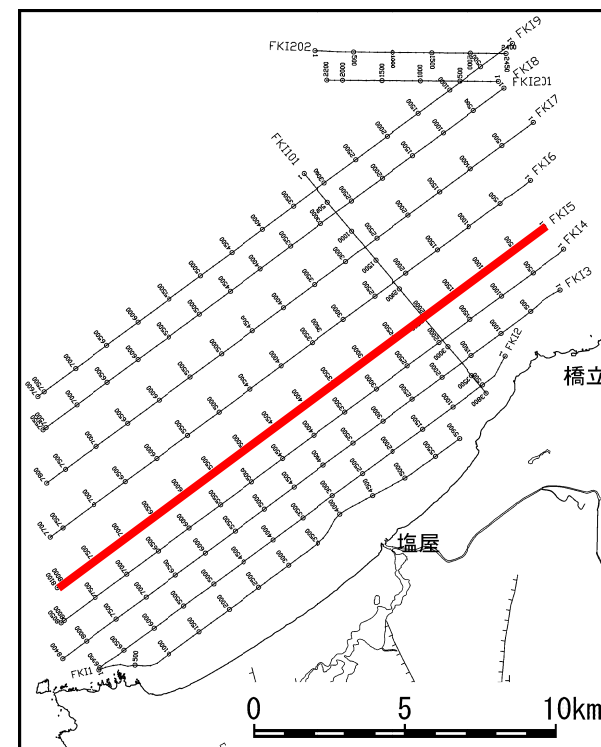
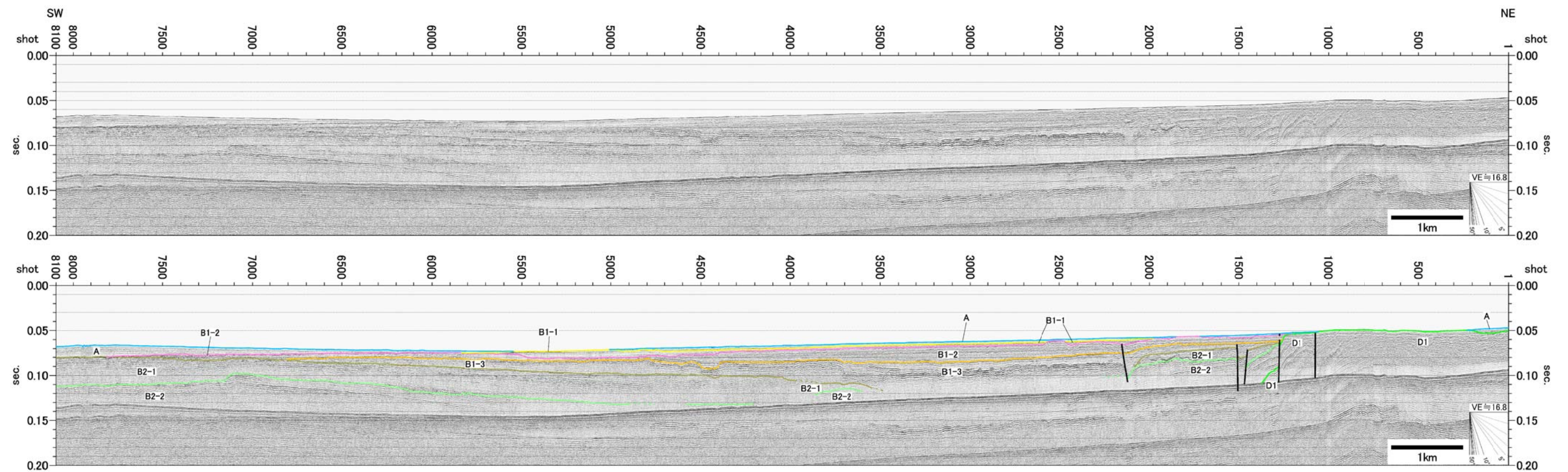
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層	VII	D3層 ^{*1}
		山中層 糸生層		

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-9 (d) 福井平野東縁断層帯 (西部) の高分解能音波探査記録 (FKI 4 測線南西部)。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

FKI 5

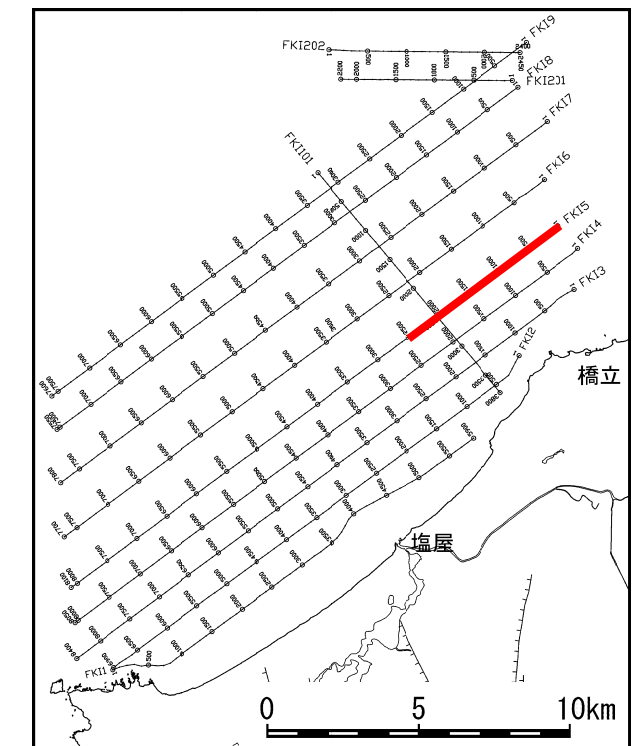
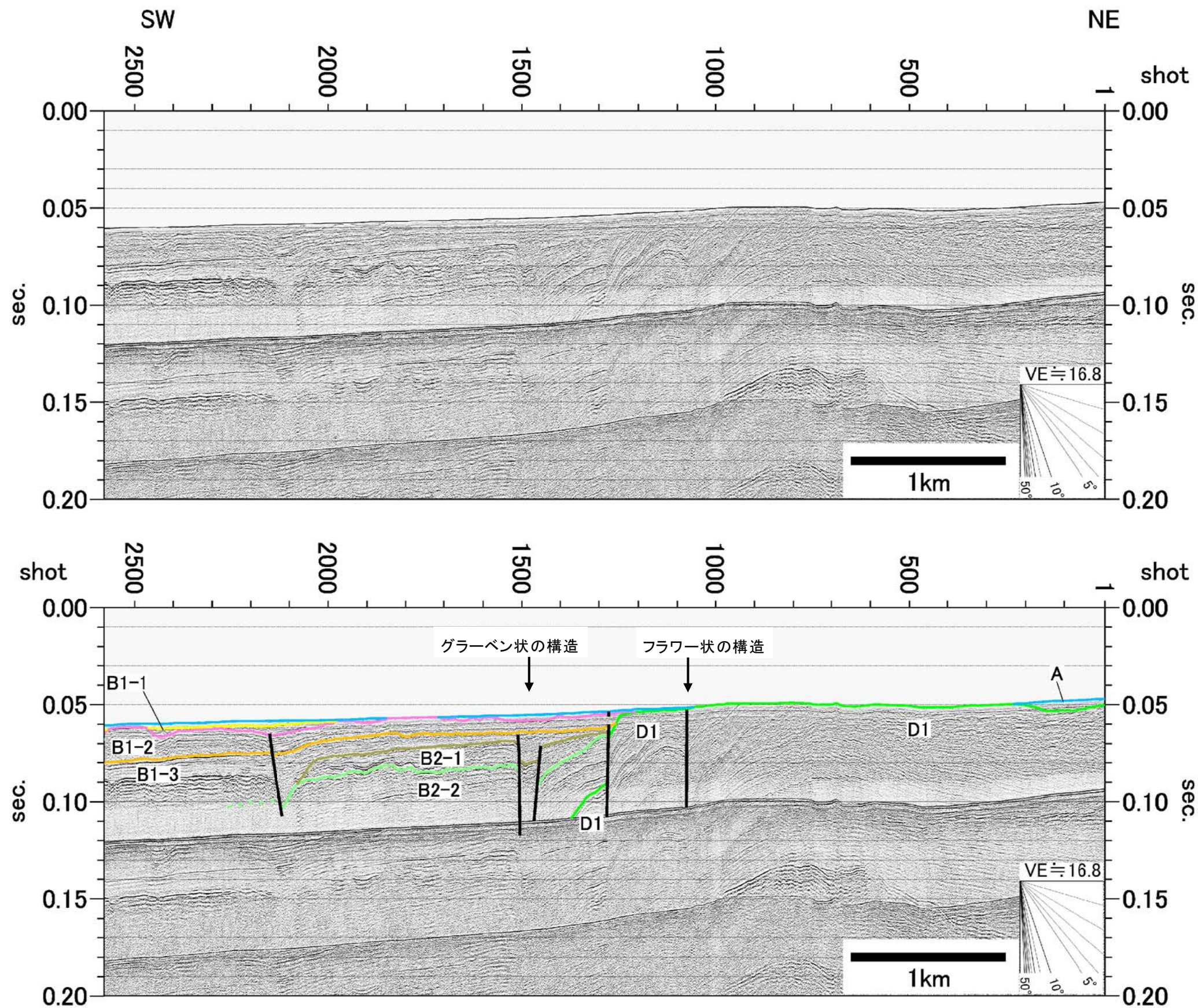


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層	V	D1層
		山中層 糸生層	VI	D2層
			VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-10 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 5 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。



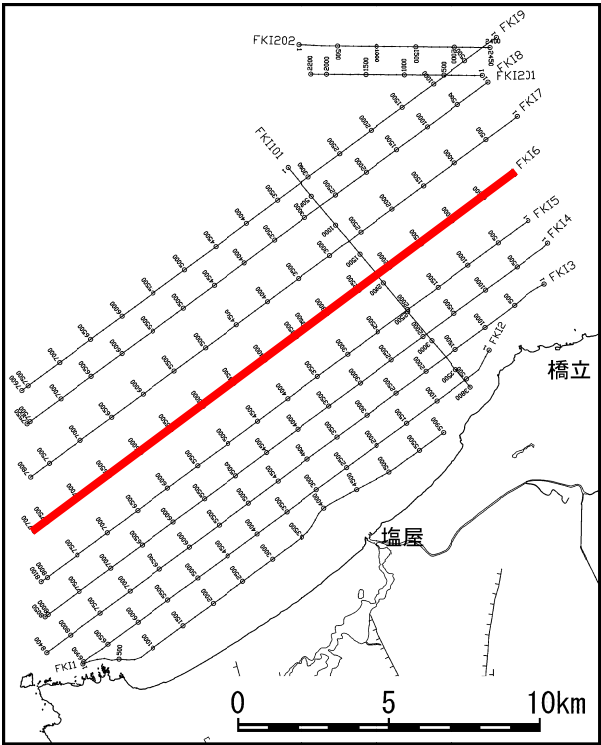
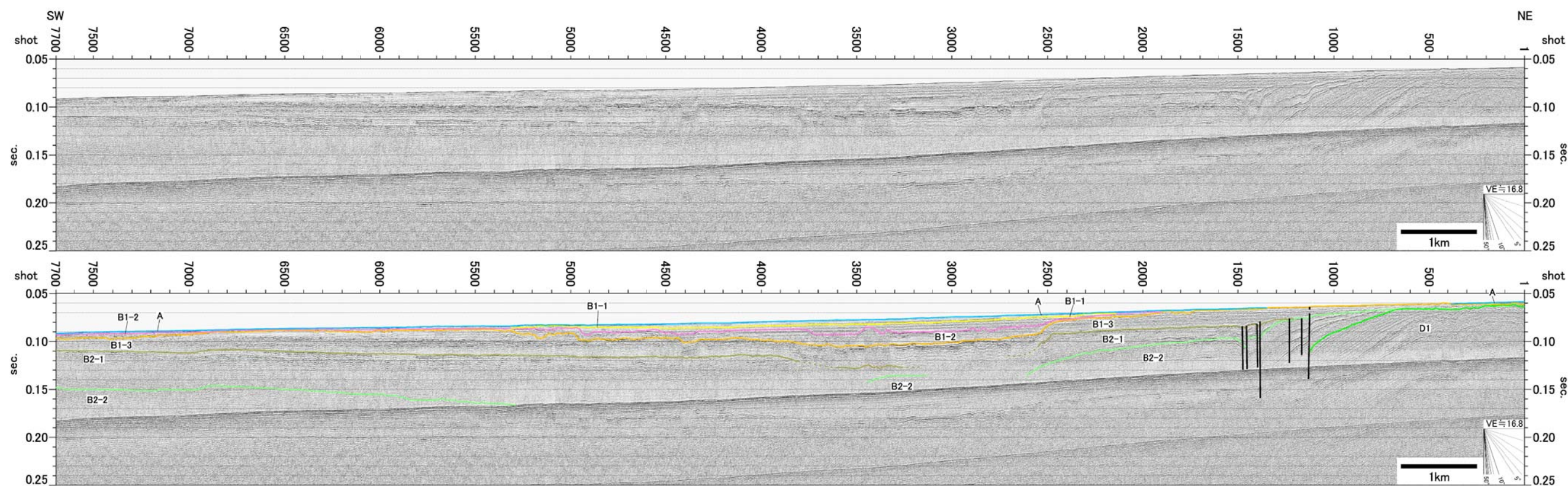
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層	V	D1 層
			VI	D2 層
			VII	D3 層 ^{*1}
			山中層 糸生層	

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-10 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 5 測線北東部）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

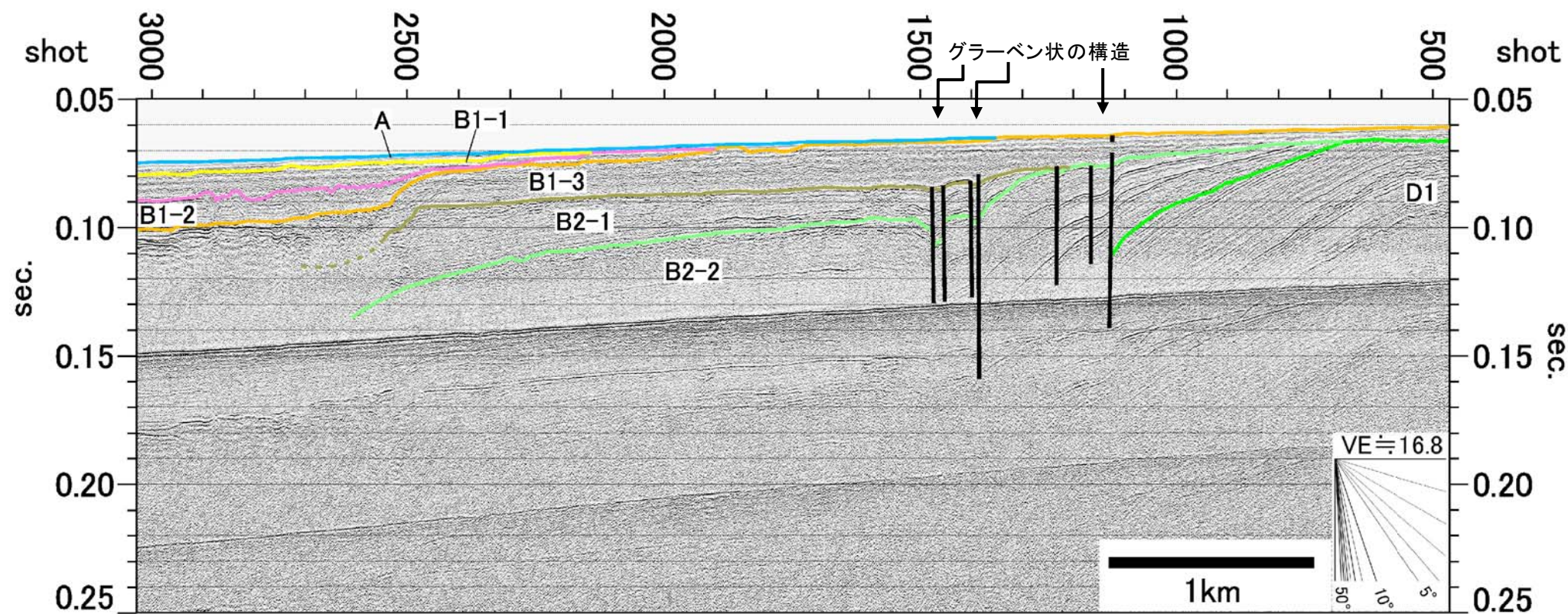
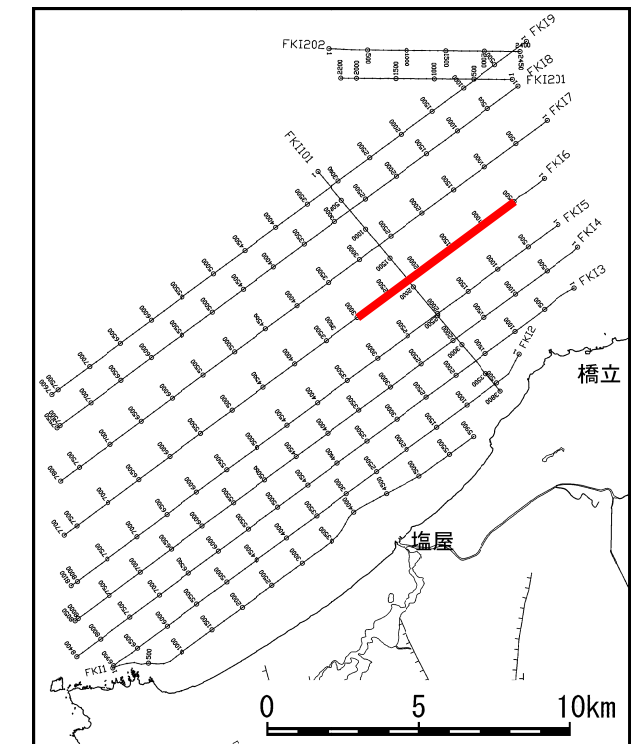
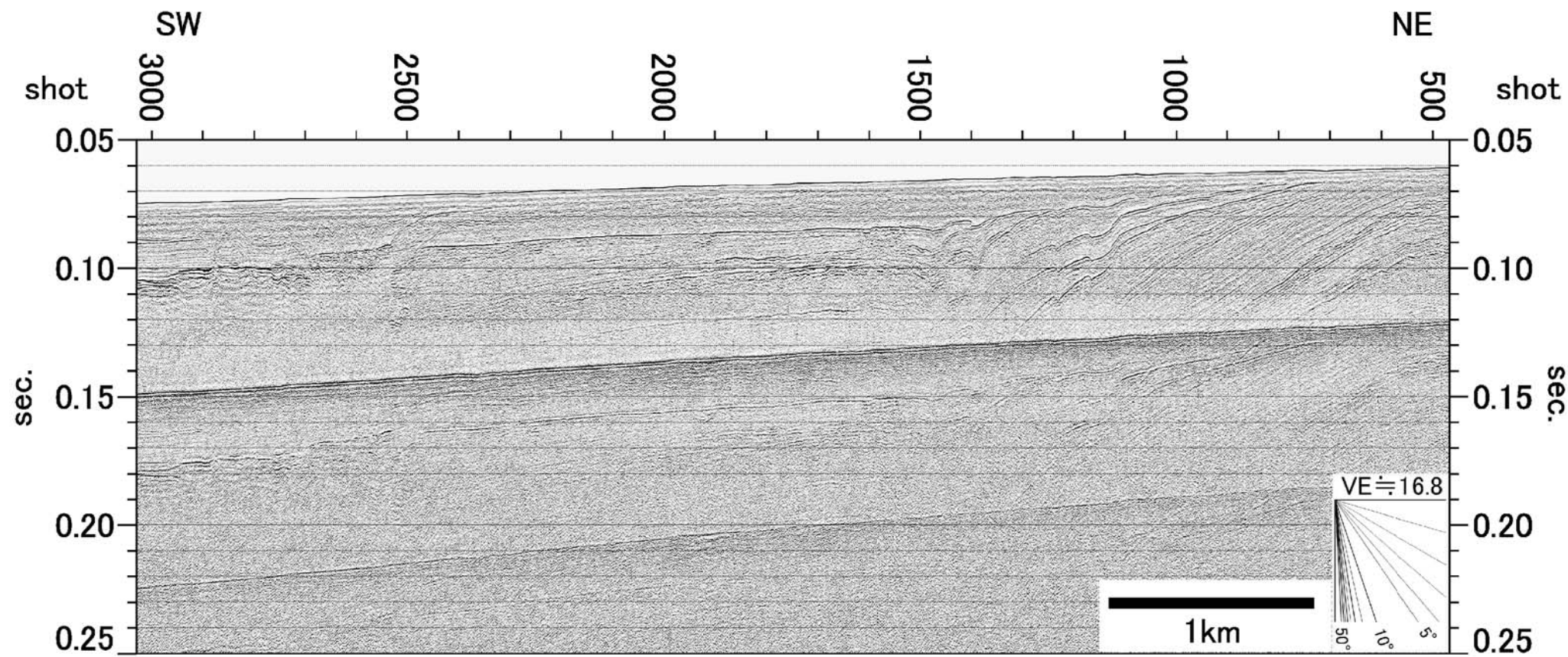
FKI 6



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層	VII	D3層*1
		山中層		
		糸生層		

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-11 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 6 測線）。
上段：反射断面，下段：解釈断面。



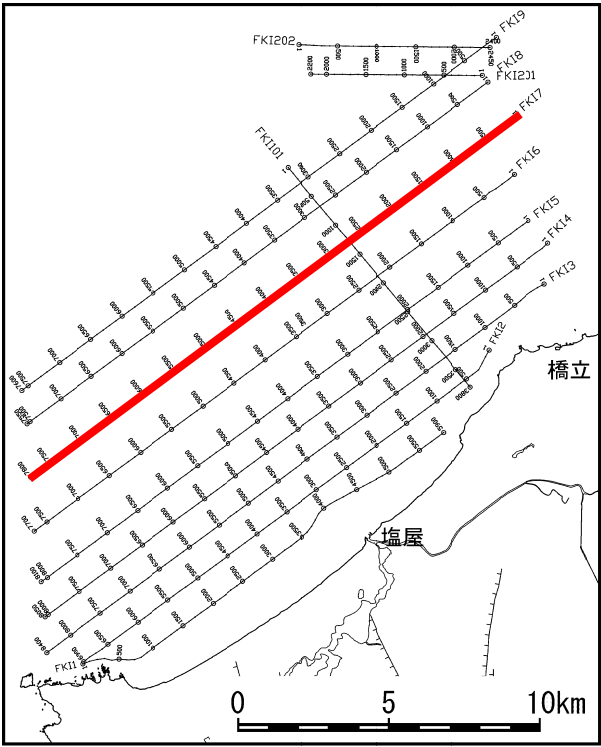
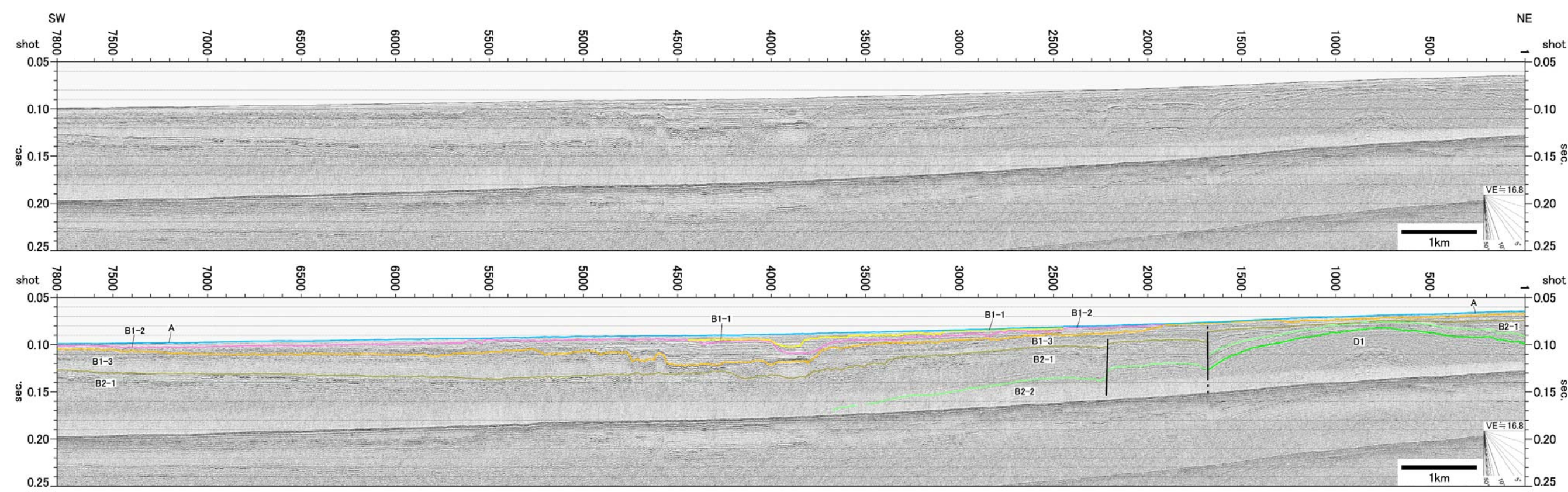
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
			III	B1-3層
				B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層 山中層 糸生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-11 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 6 測線北東部）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

FKI 7

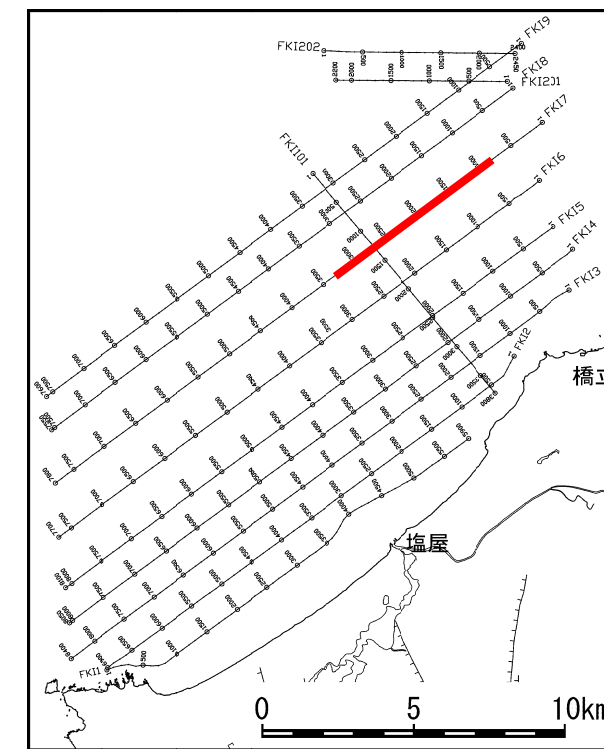
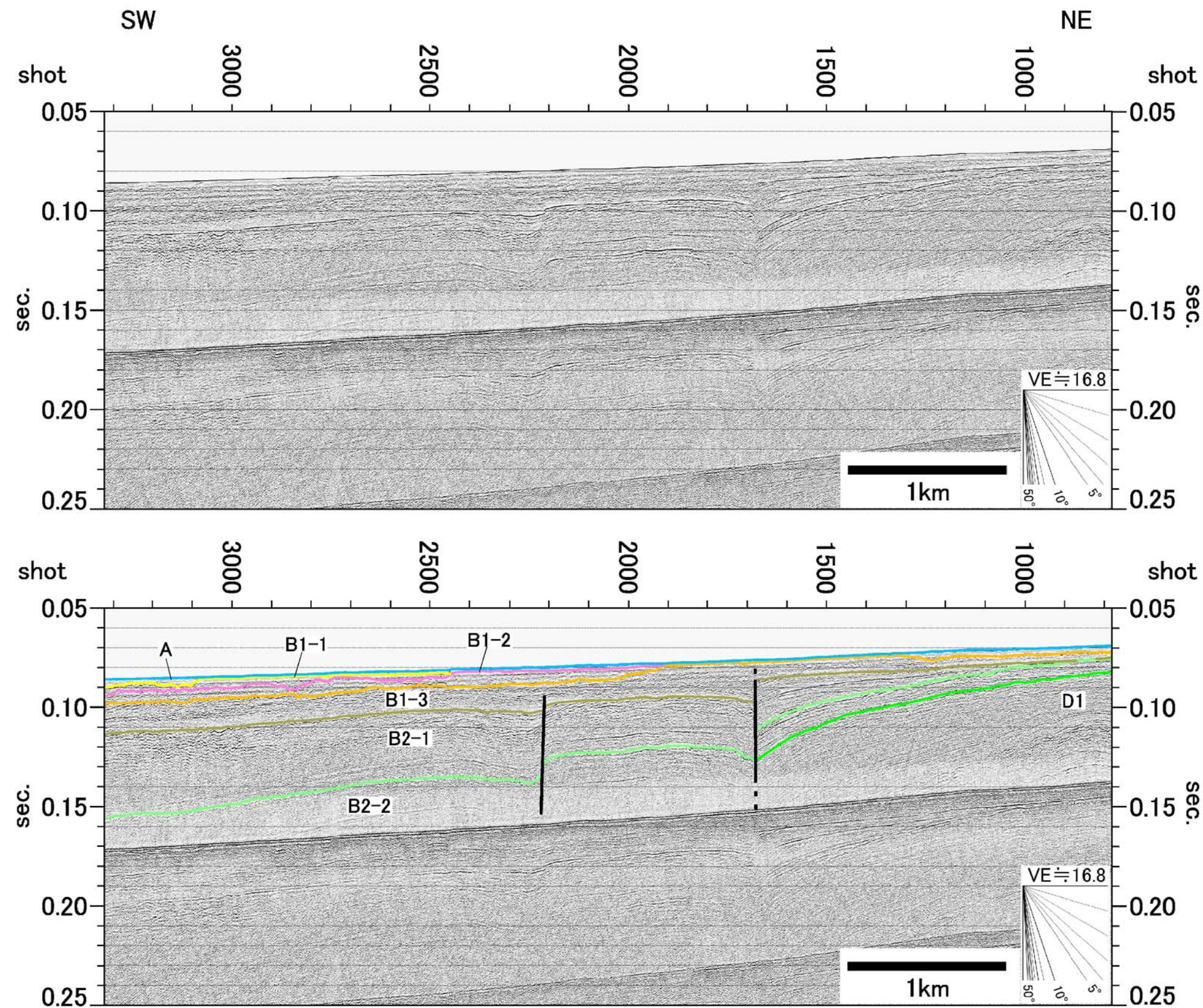


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層		
		山中層 糸生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-12 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 7 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。



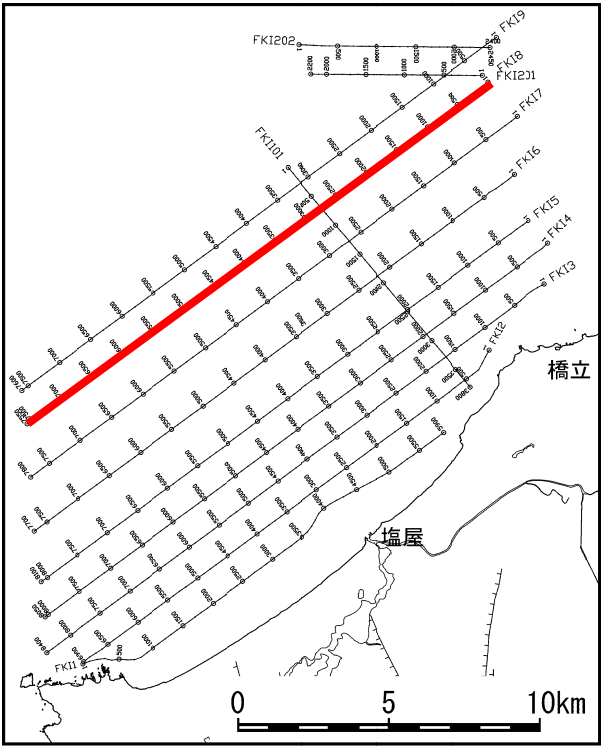
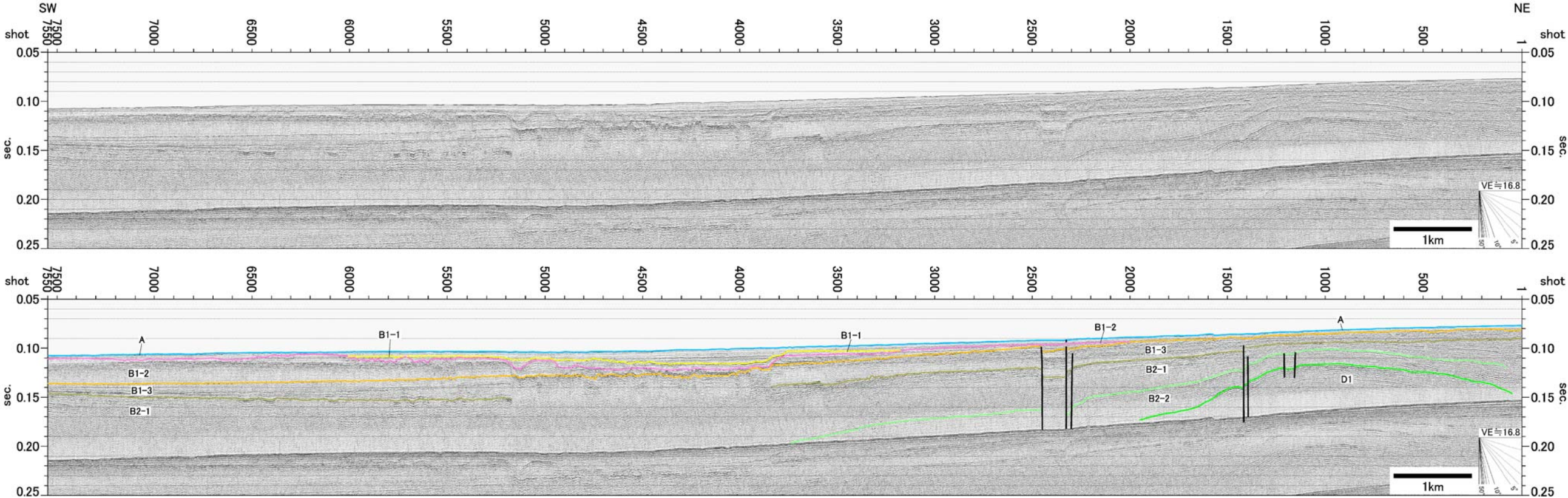
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層 山中層 糸生層	IV	C層 ^{*1}
	中新世		V	D1 層
			VI	D2 層
			VII	D3 層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-12 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 7 測線北東部）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

FKI 8

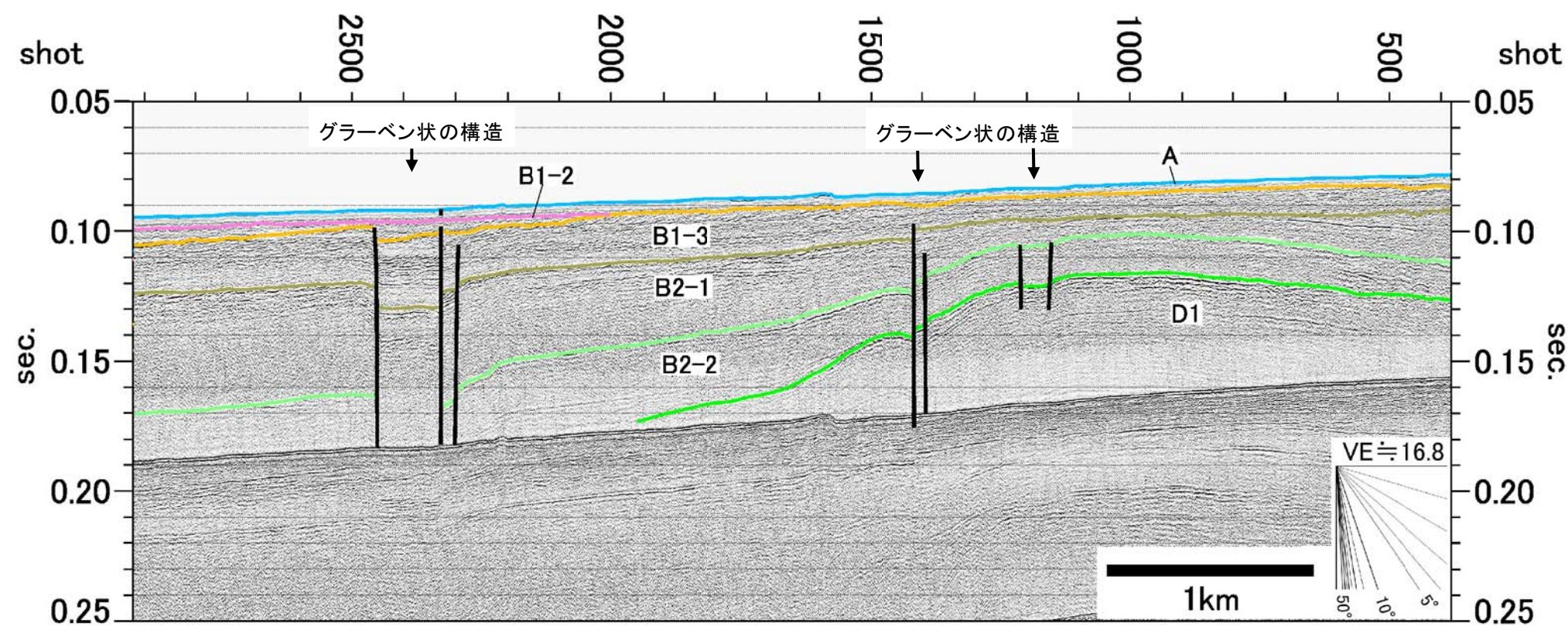
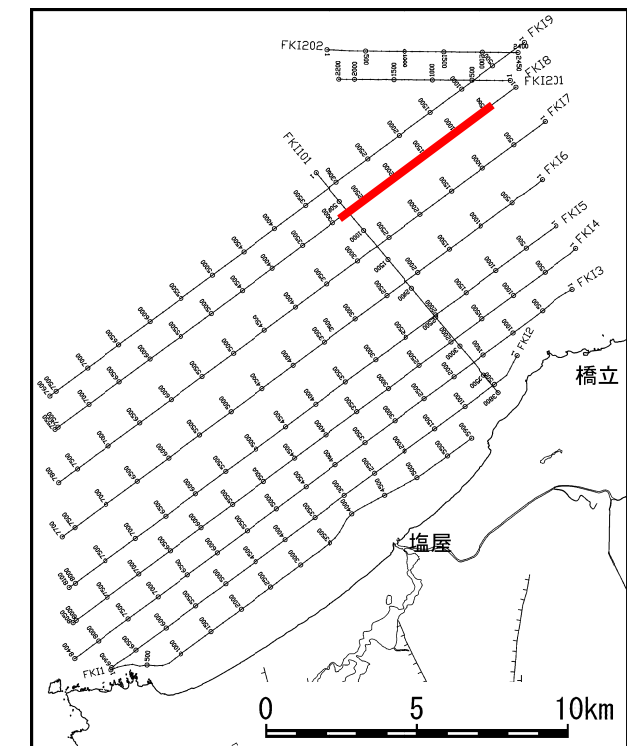
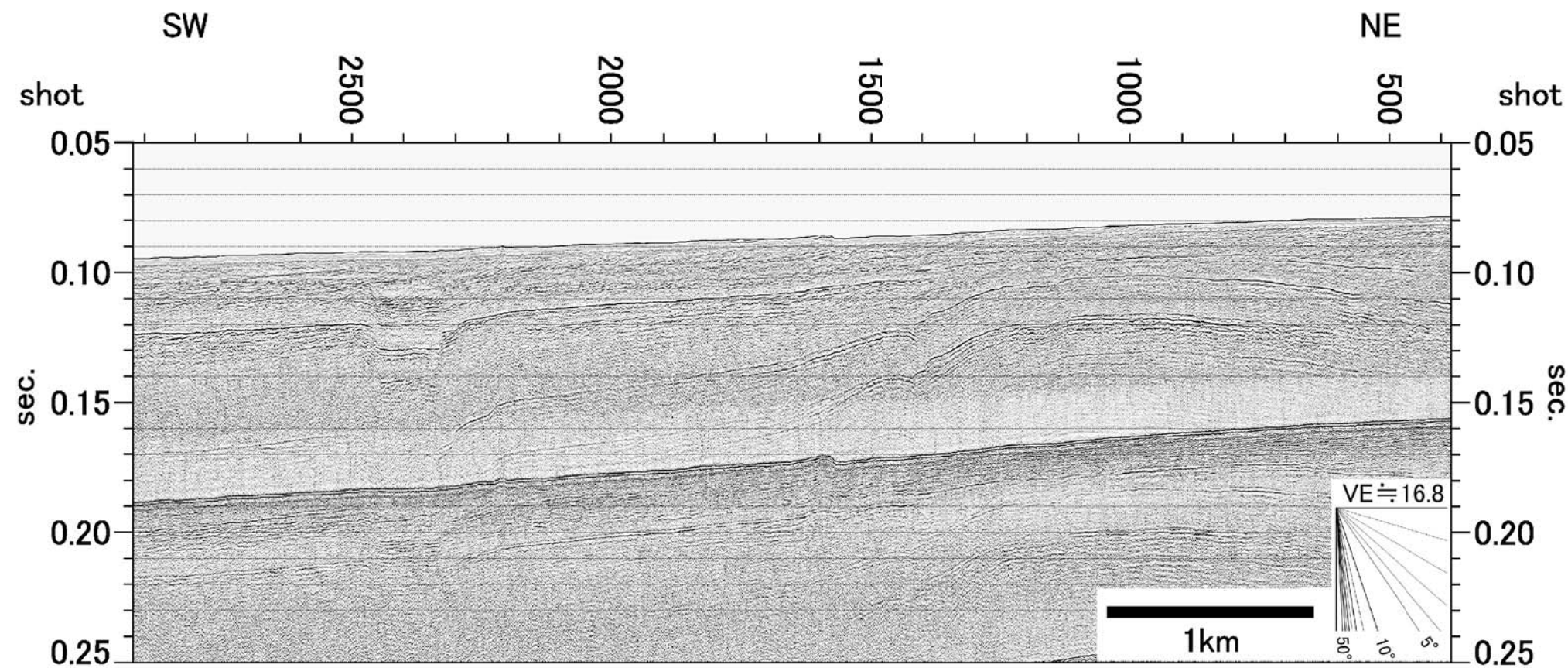


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層 山中層 糸生層	V	D1 層
			VI	D2 層
			VII	D3 層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-13 (a) 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 8 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。



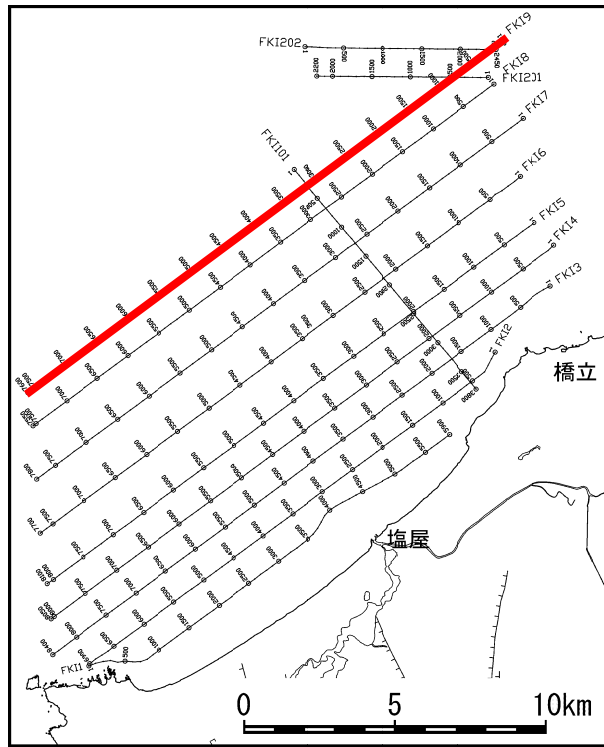
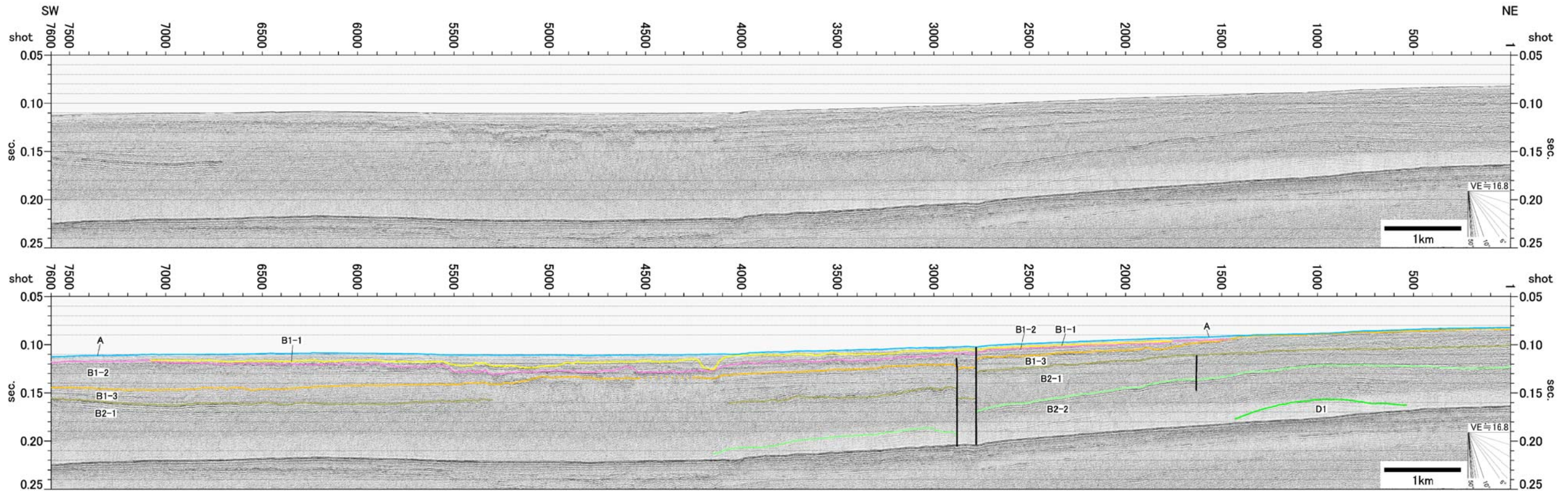
時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
			III	B1-3層
				B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層 山中層 糸生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-13 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 8 測線北東部）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

FKI 9

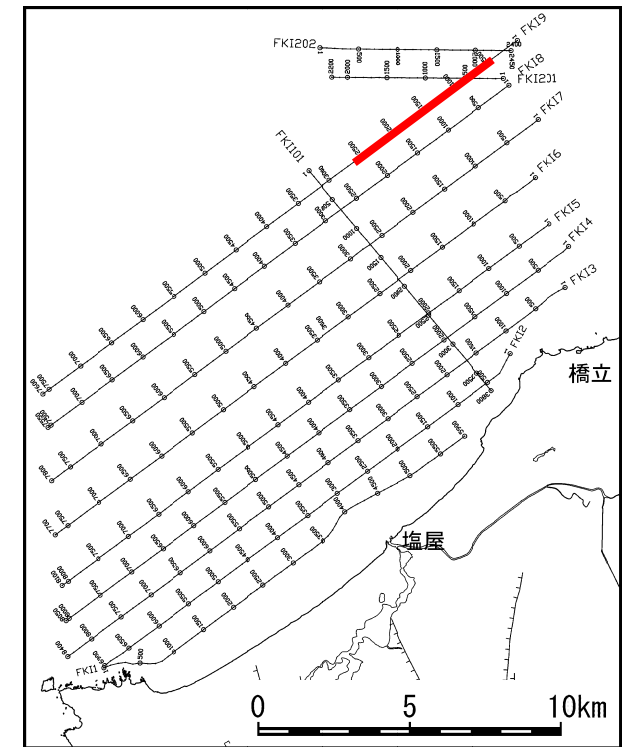
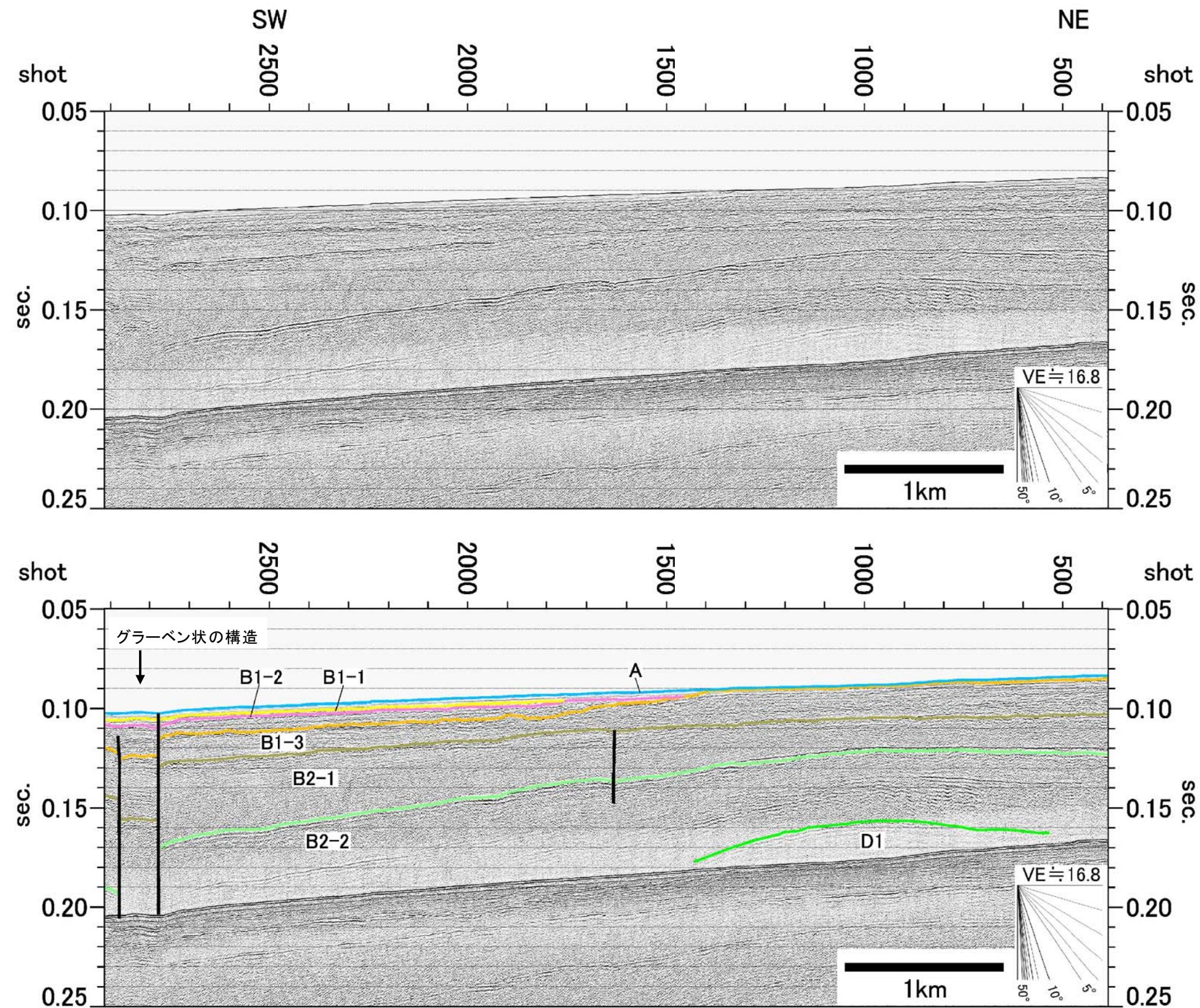


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層 加佐ノ岬累層 国見累層	V	D1 層
			VI	D2 層
			山中層 糸生層	VII

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-14 (a) 福井平野東縁断層帯 (海域部) の高分解能音波探査記録 (FKI 9 測線).

上段：反射断面，下段：解釈断面.

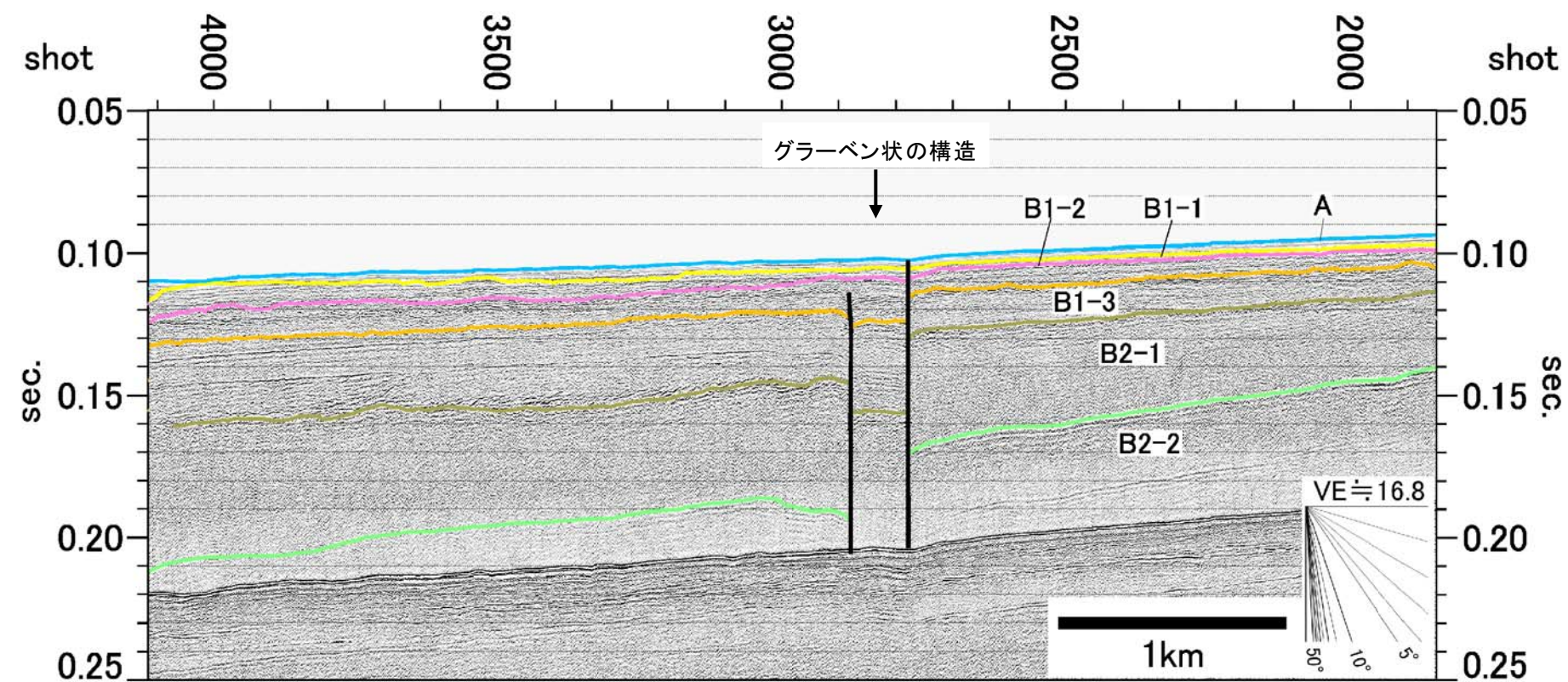
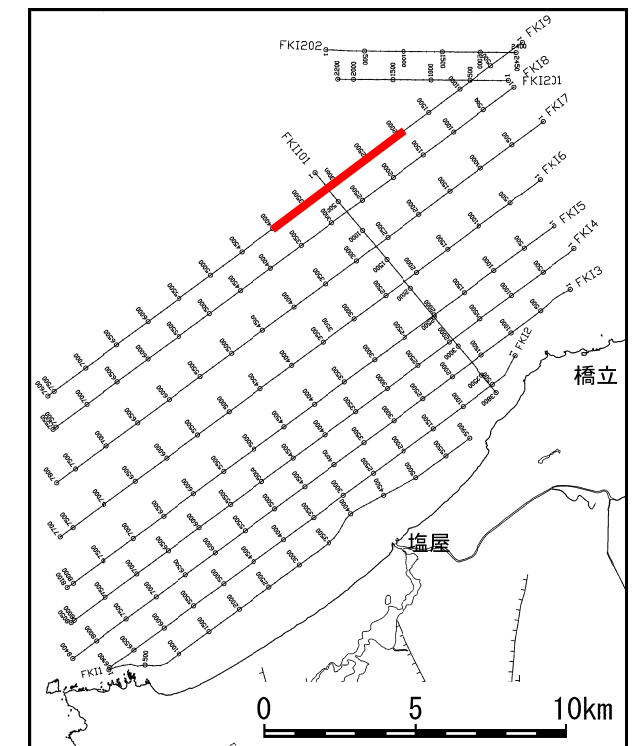
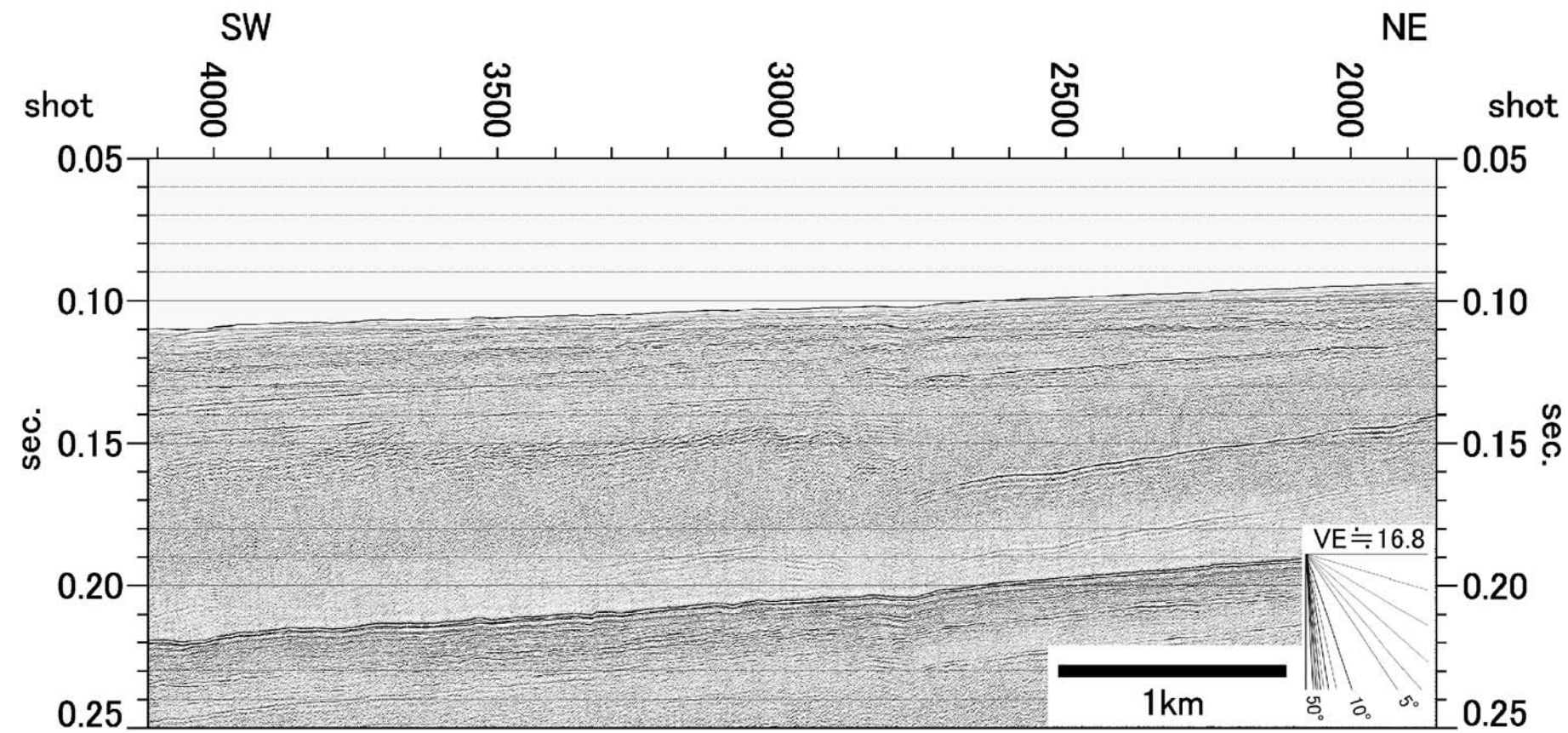


時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
			III	B1-3層
				B2-1層
			IV	B2-2層
新第三紀	鮮新世		V	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	VI	D1層
		加佐ノ岬累層	VII	D2層
		国見累層		
		山中層		
		糸生層		D3層 ^{*1}

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-14 (b) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 9 測線北東部）（その 1）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層*1
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		山中層系生層	VII	D3層*1

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-14 (c) 福井平野東縁断層帯（主部）の高分解能音波探査記録（FKI 9 測線北東部）（その 2）。

上段：反射断面，下段：解釈断面。

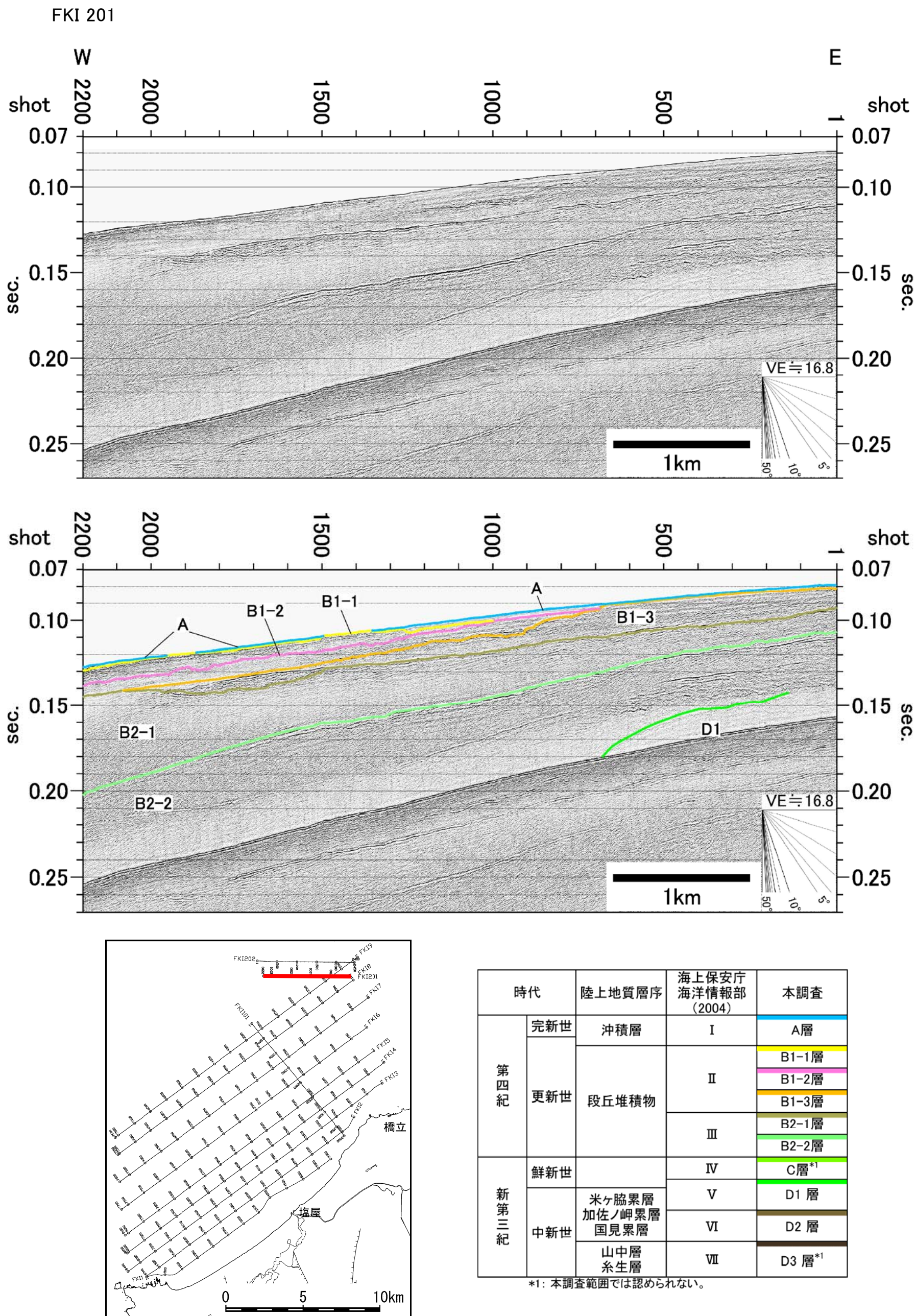
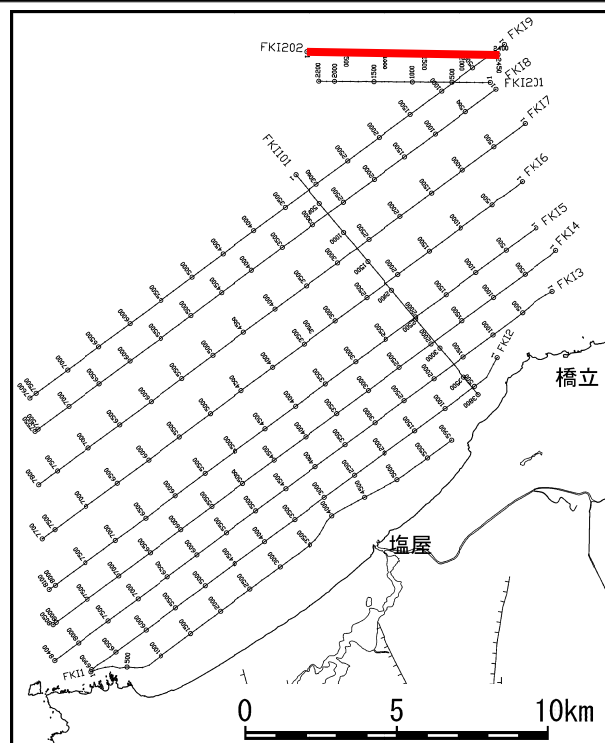
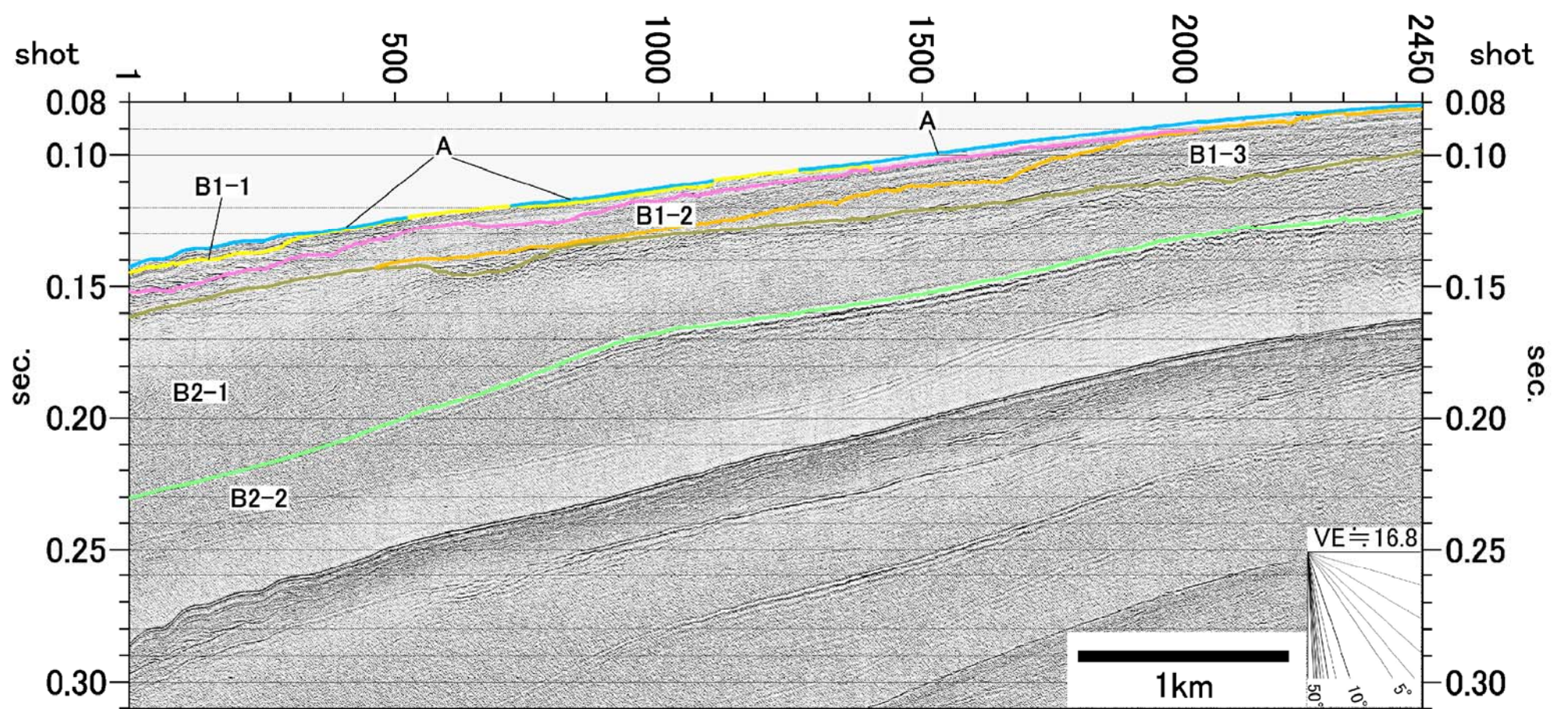
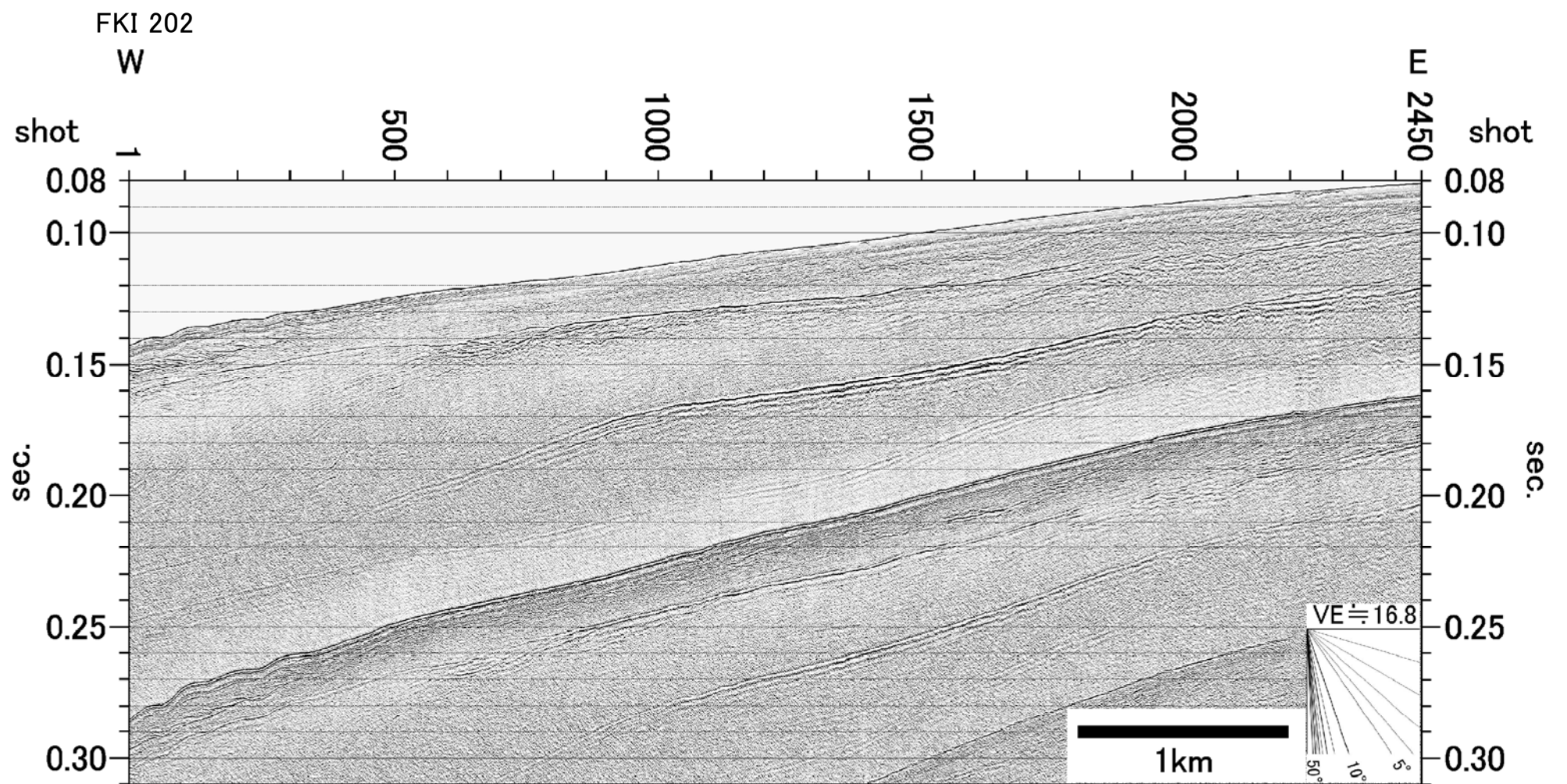


図 2-15 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 201 測線）。 上段：反射断面，下段：解釈断面。



時代		陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I	A層
	更新世	段丘堆積物	II	B1-1層
				B1-2層
				B1-3層
			III	B2-1層
				B2-2層
新第三紀	鮮新世		IV	C層 ^{*1}
	中新世	米ヶ脇累層	V	D1層
		加佐ノ岬累層	VI	D2層
		国見累層		
		山中層	VII	D3層 ^{*1}
		糸生層		

*1: 本調査範囲では認められない。

図 2-16 福井平野東縁断層帯（海域部）の高分解能音波探査記録（FKI 202 測線）。上段：反射断面，下段：解釈断面。

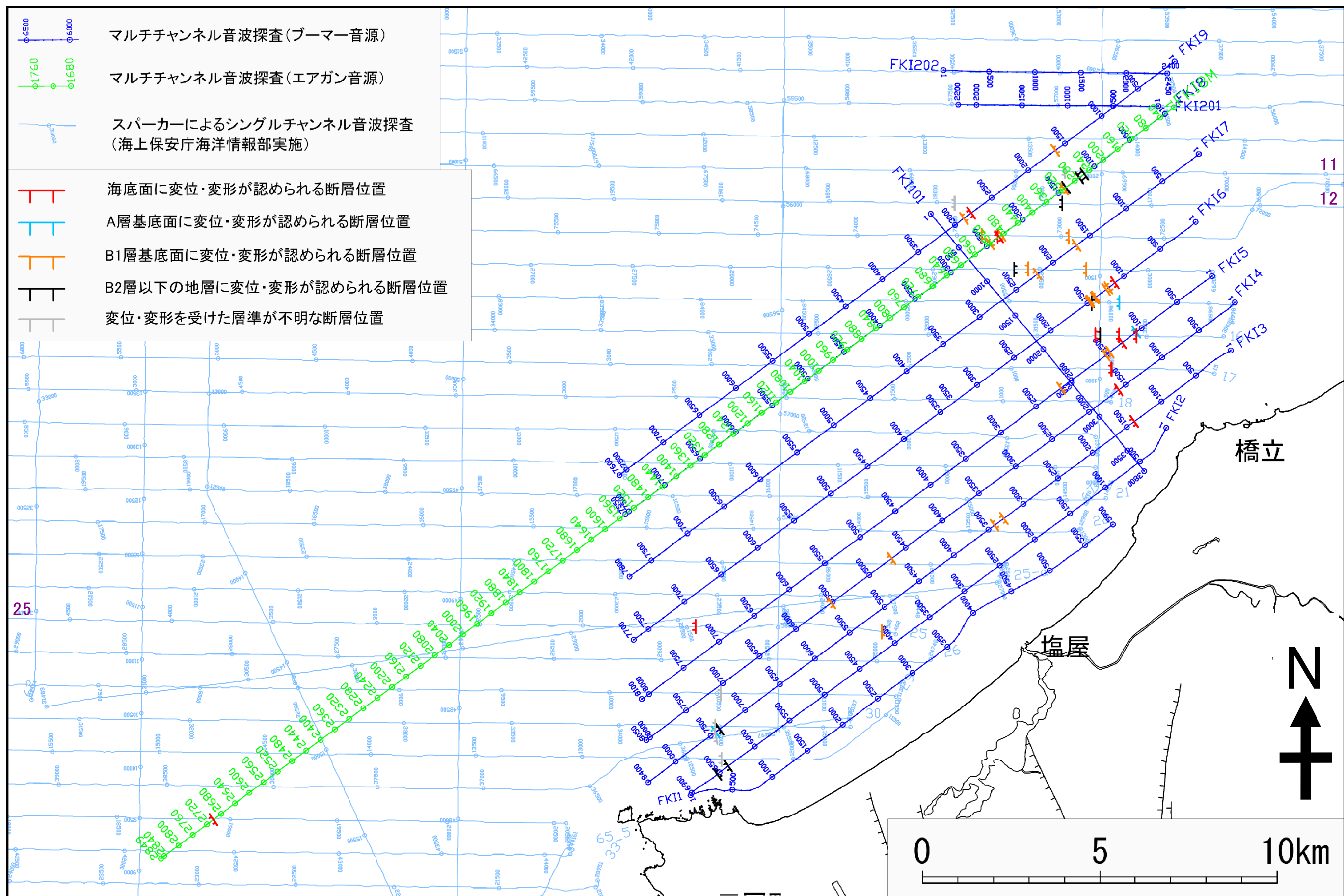


図 2-17 福井平野東縁断層帯(海域部)の断層位置図.

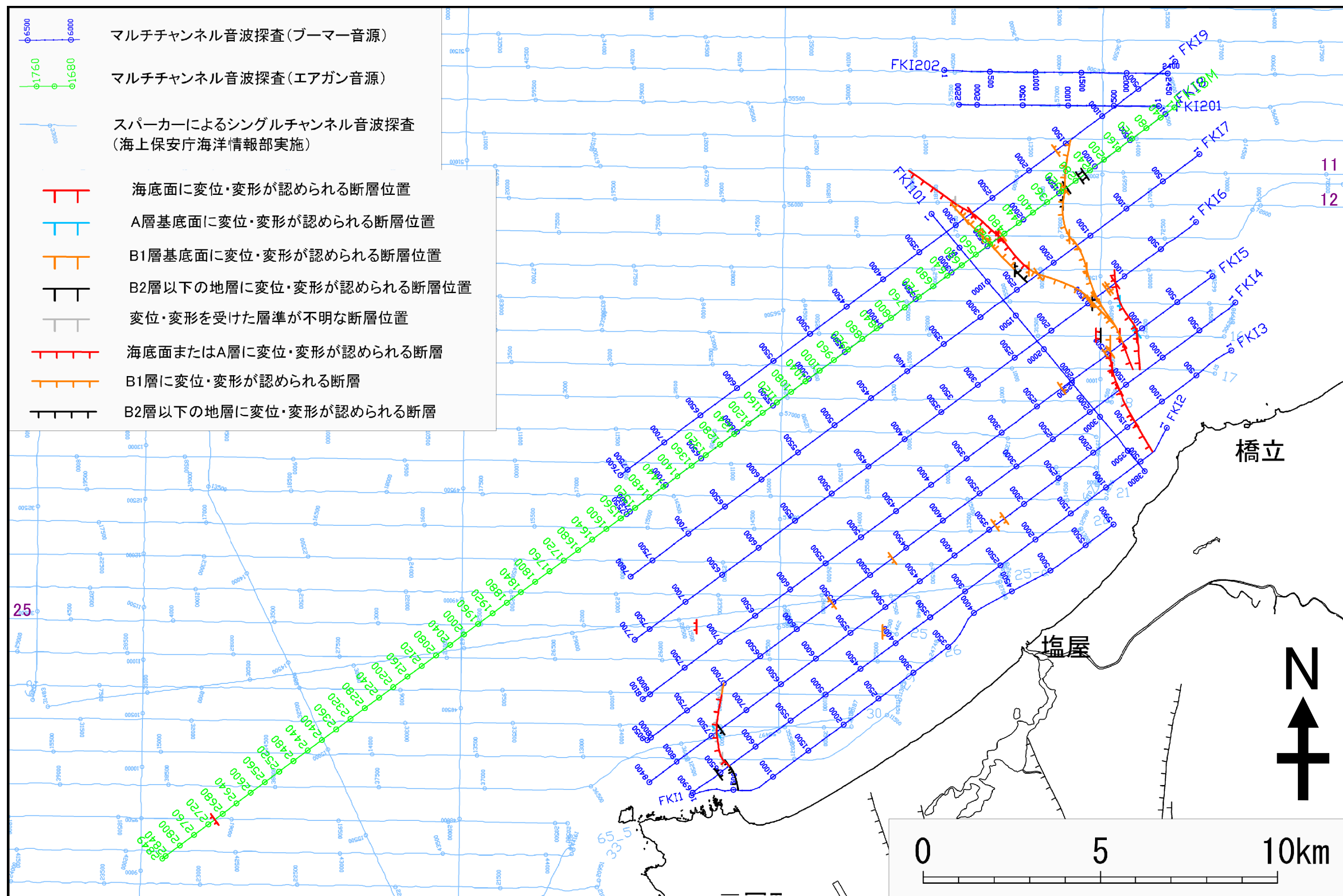


図 2-18 福井平野東縁断層帯(海域部)の断層分布図。

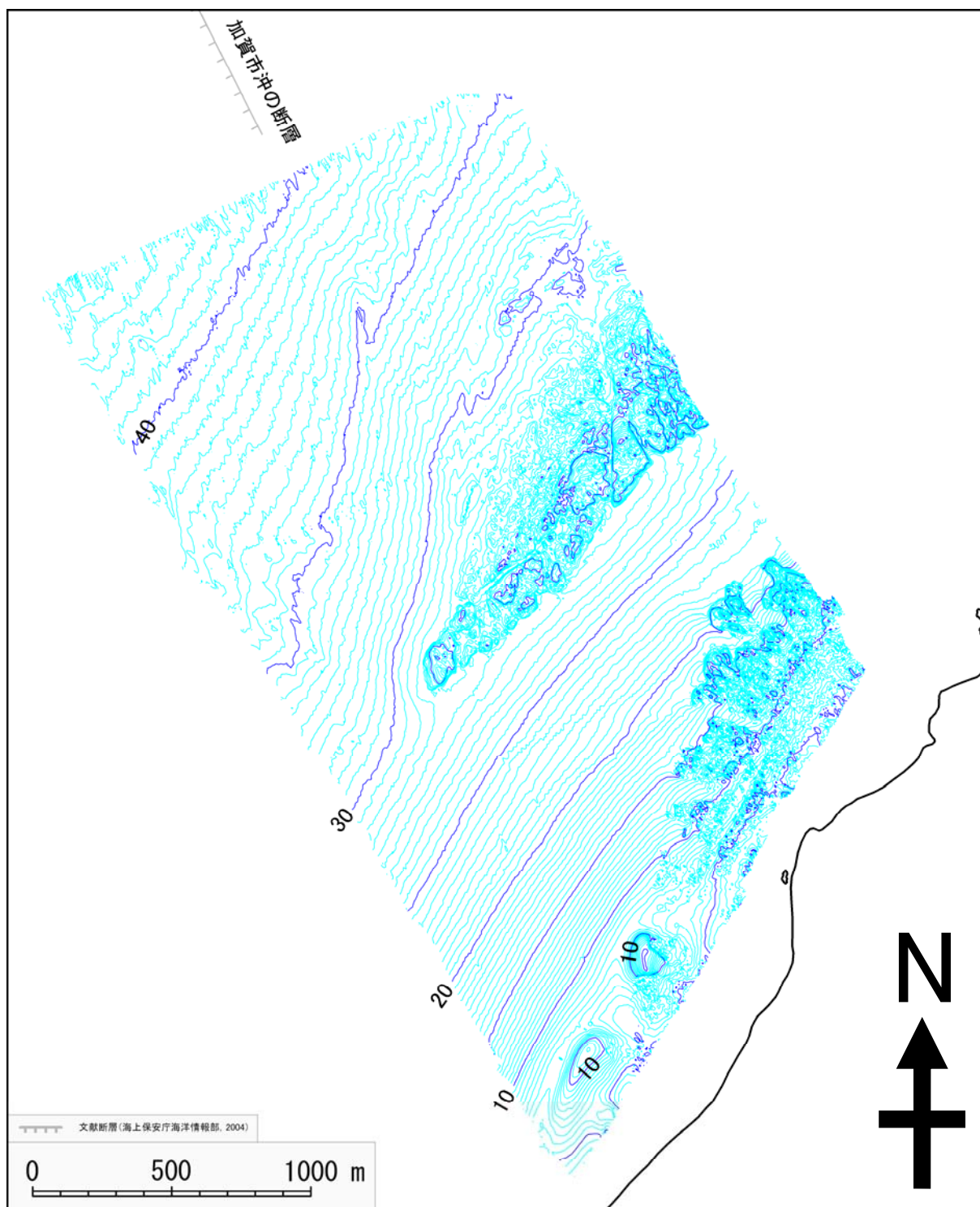


図 2-19 精密地形調査による海底地形図.

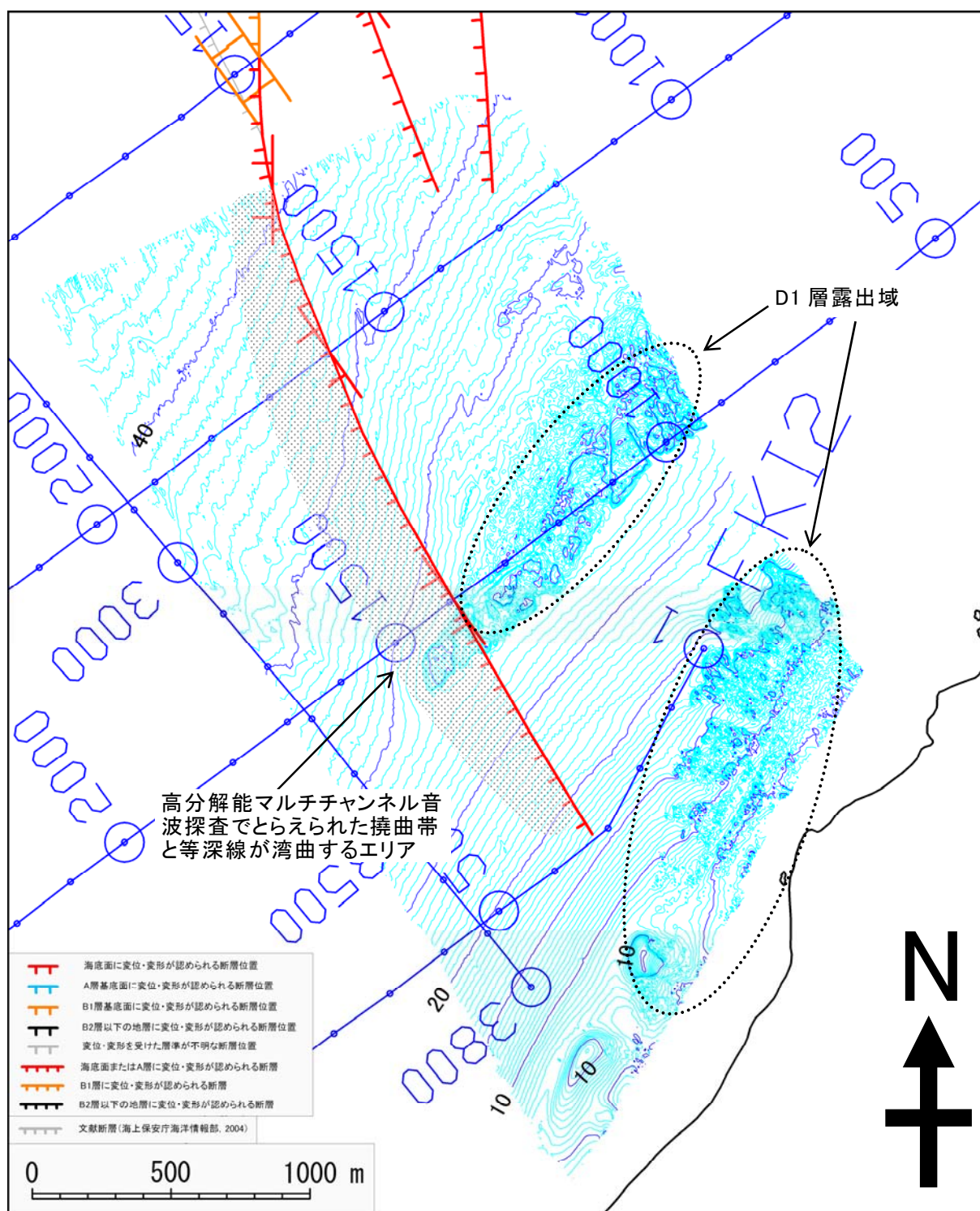


図 2-20 海底地形と断層の関係.

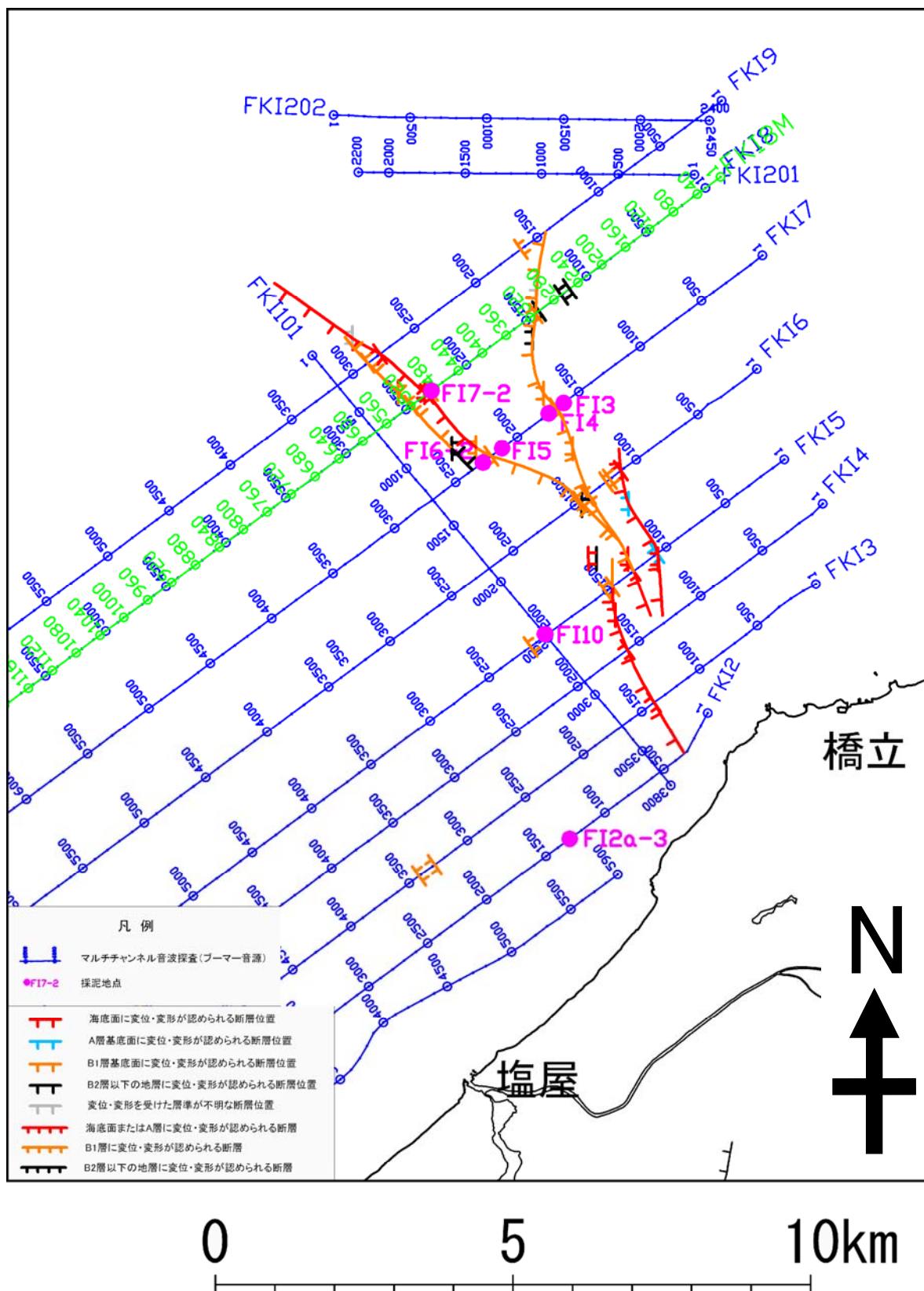


図 2-21 底質採取位置図.

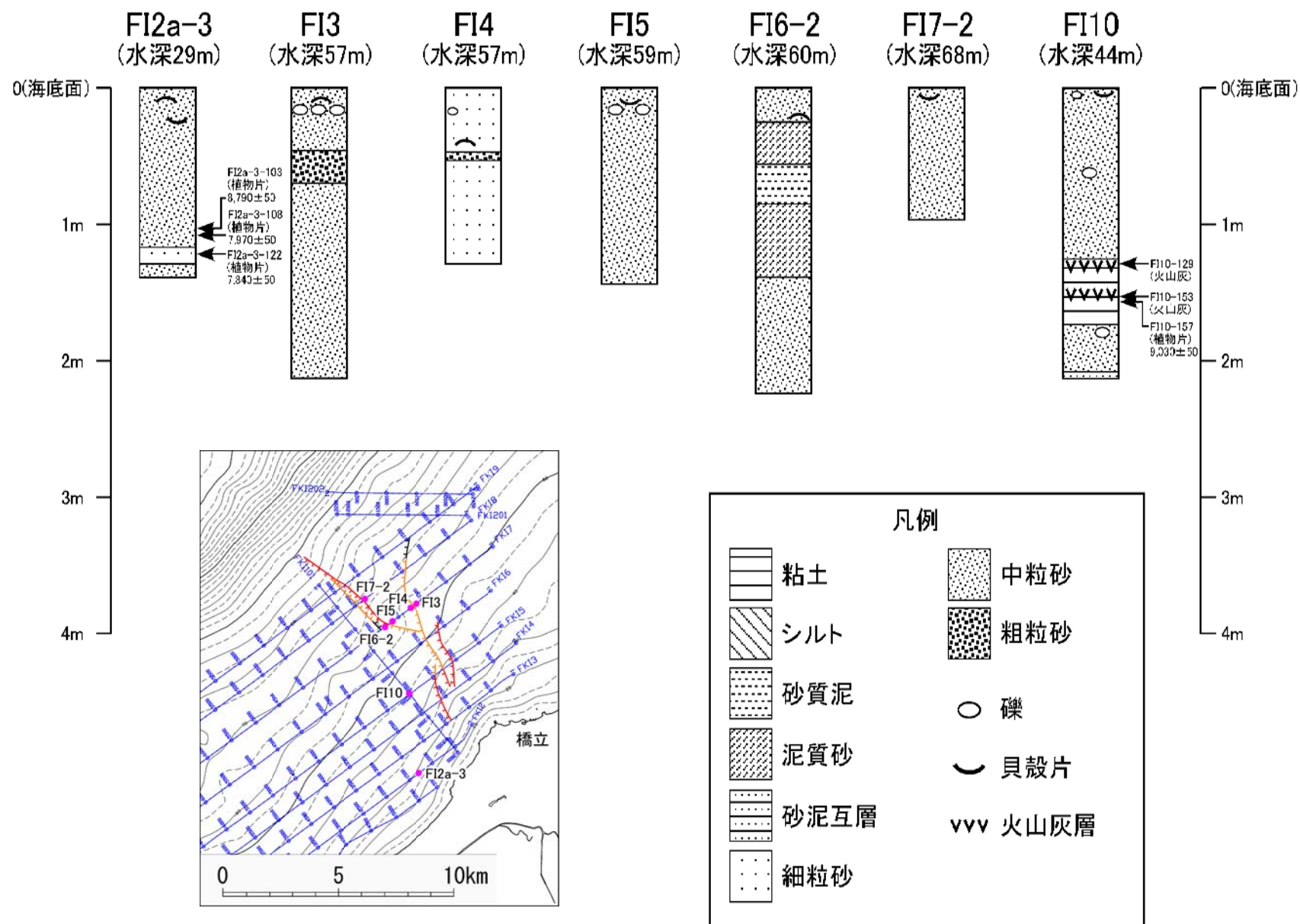
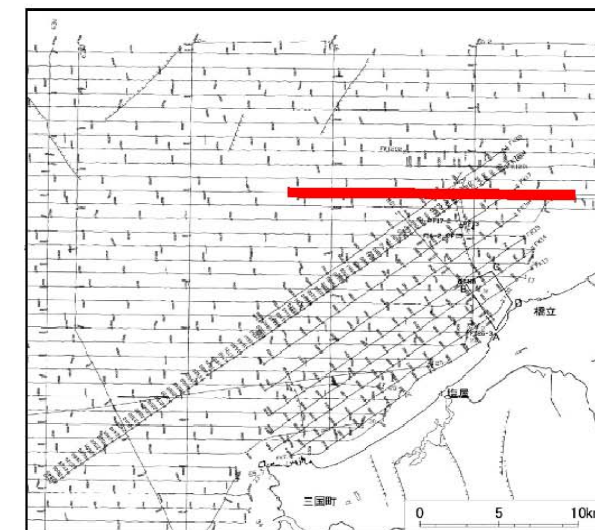
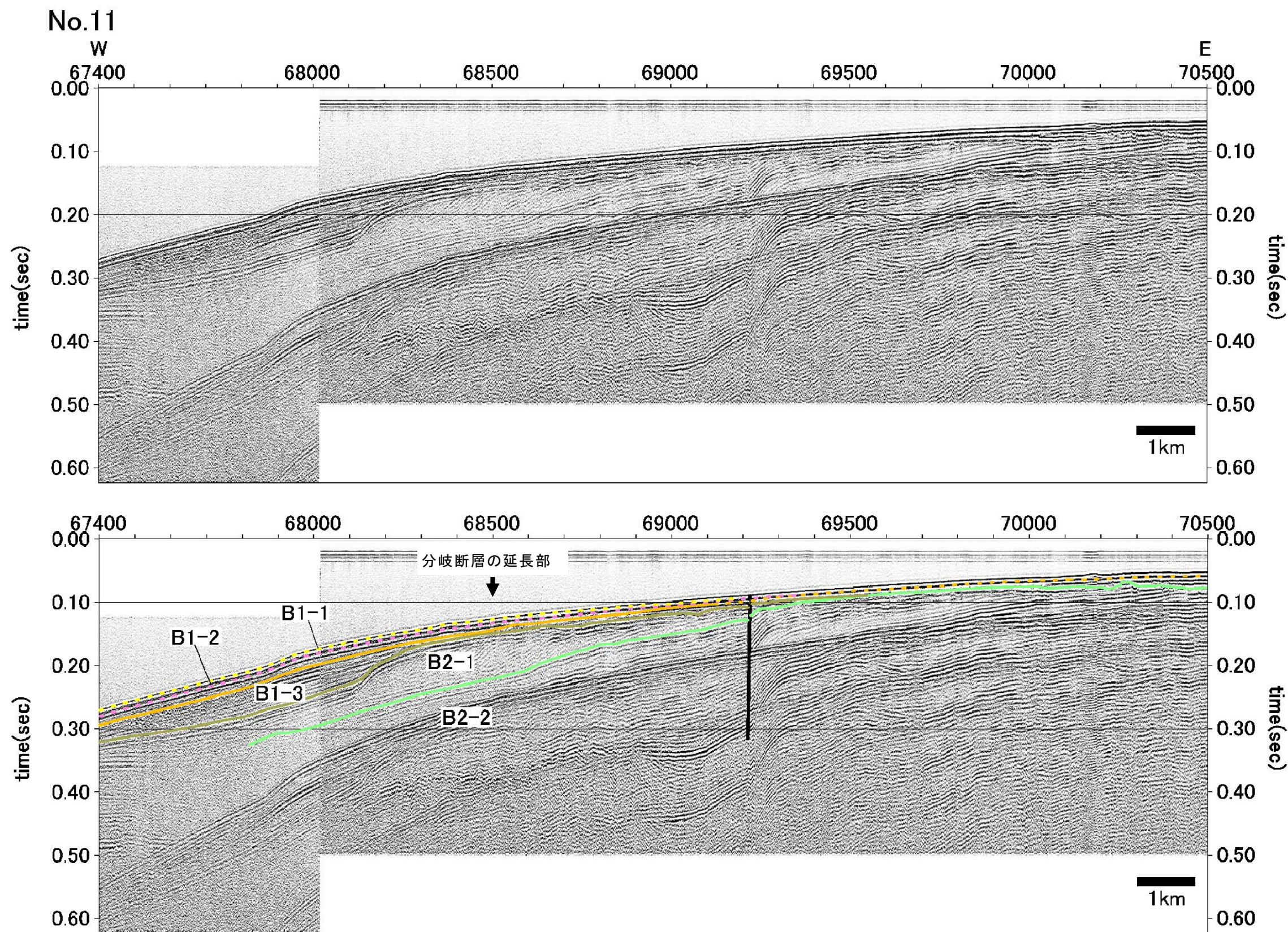


図 2-22 底質採取コアの柱状図.



時代	陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I A層
	更新世	段丘堆積物	II B1-1層
			B1-2層
			B1-3層
			B2-1層
新第三紀	鮮新世	米ヶ崎累層 加佐ノ岬累層	III B2-2層
			IV C層*
	中新世	山中層 糸生層	V D1層
			VI D2層
			VII D3層*

*1: 本調査範囲では認められない。

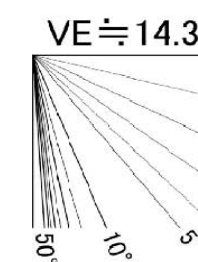
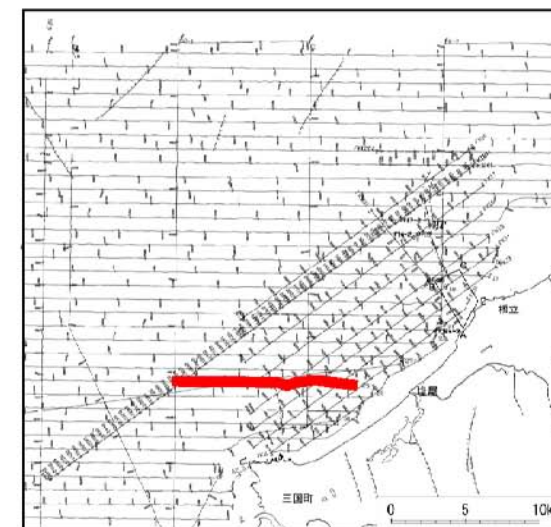
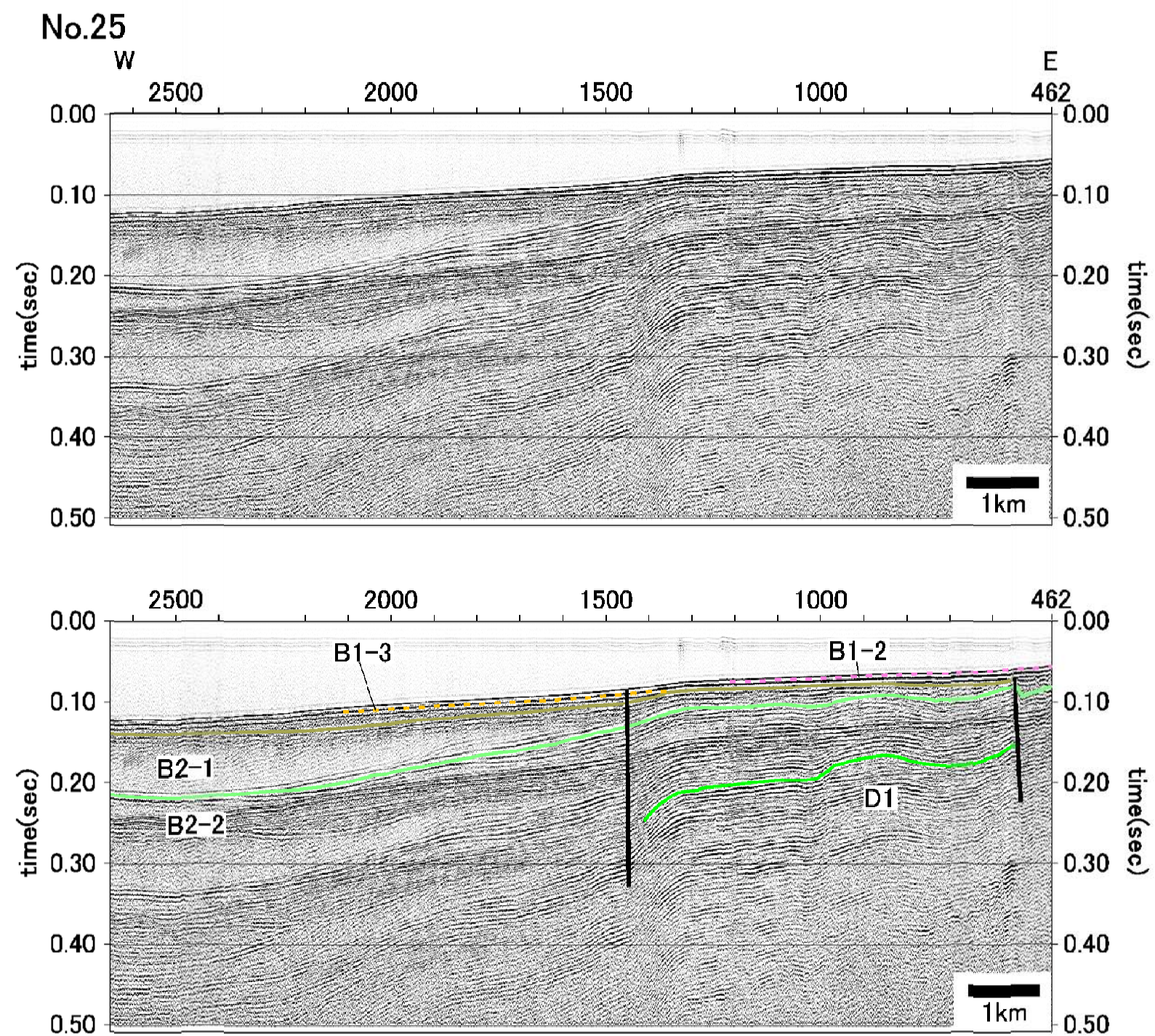


図 3-1 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録（海上保安庁海洋情報部の No. 11 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面



時代	陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I
			A層
	更新世	段丘堆積物	II
			B1-1層
			B1-2層
			B1-3層
新第三紀	鮮新世	米ヶ脇累層 加佐ノ峠累層 匠見累層	III
			B2-1層
	中新世	山中層 糸生層	B2-2層
			C層 ^{※1}
			IV
			D1層
			V
			D2層
			VI
			D3層 ^{※1}
			VII

※1: 本調査範囲では認められない。

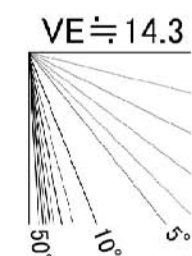
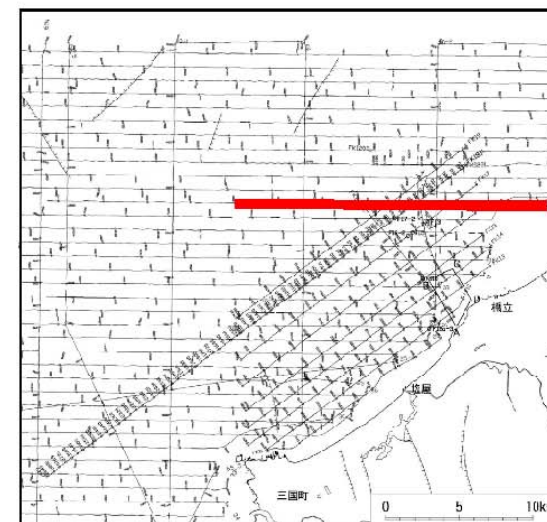
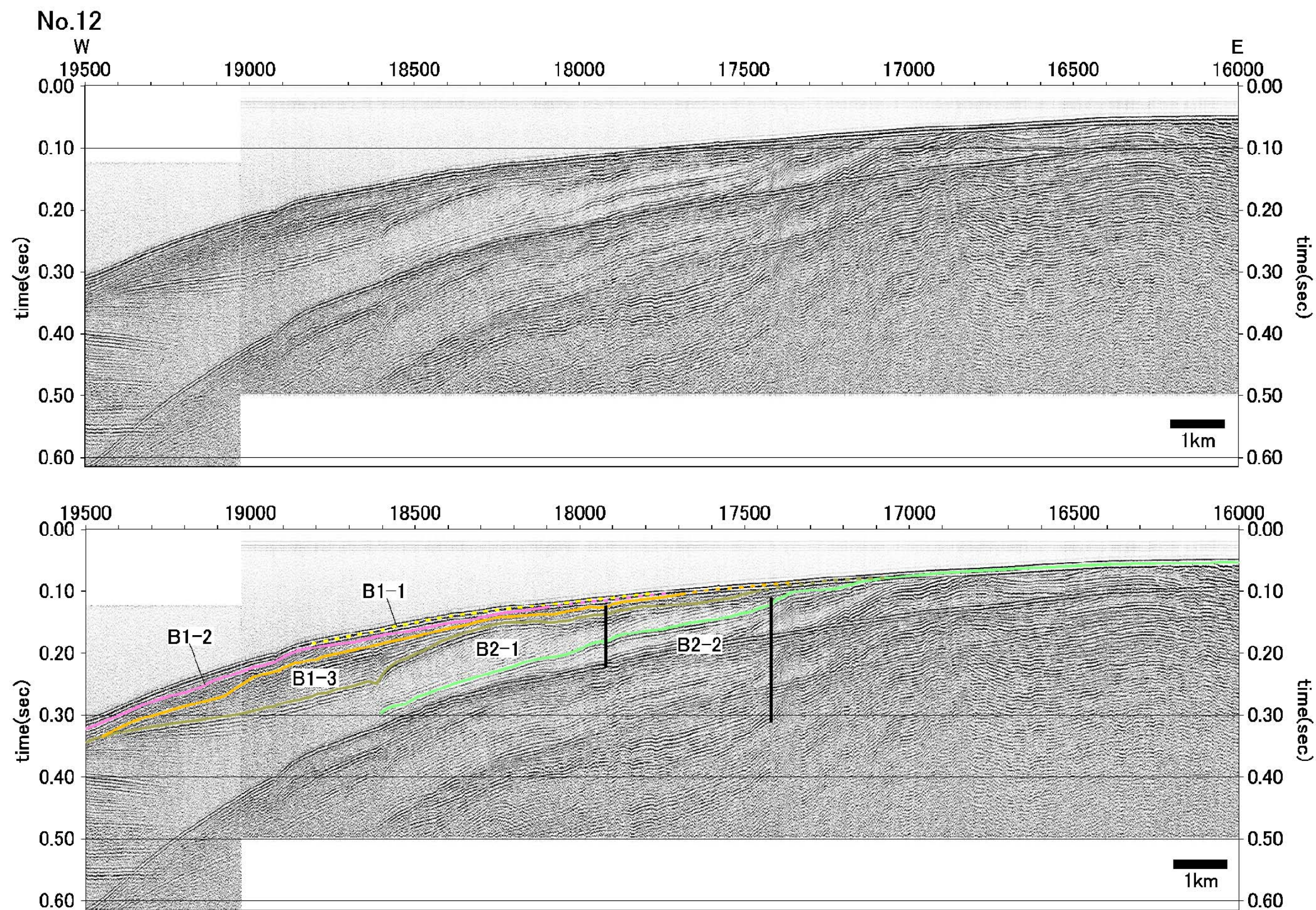


図 3-2 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録（海上保安庁海洋情報部の No. 25 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面



時代	陸上地質層序	海上保安庁 海洋情報部 (2004)	本調査
第四紀	完新世	沖積層	I
	更新世	段丘堆積物	II
			III
			IV
			V
新第三紀	鮮新世	米ヶ脇累層	VI
	中新世	加佐ノ岬累層	VII
		山牛層 糸生層	

*1: 本調査範囲では認められない。



図 3-3 福井平野東縁断層帯周辺の音波探査記録（海上保安庁海洋情報部の No. 12 測線）。

上段：反射断面，下段：解釈断面